



第517図 E面天端 5T南壁断面(北から)



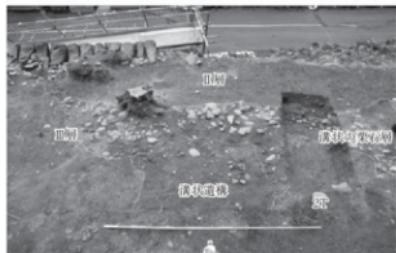
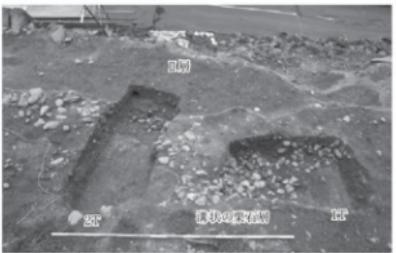
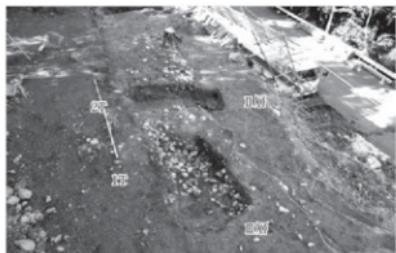
第518図 E面天端 5T土層断面(北東から)



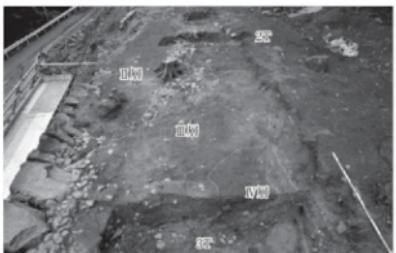
第519図 E面天端 5T土層断面(南から)



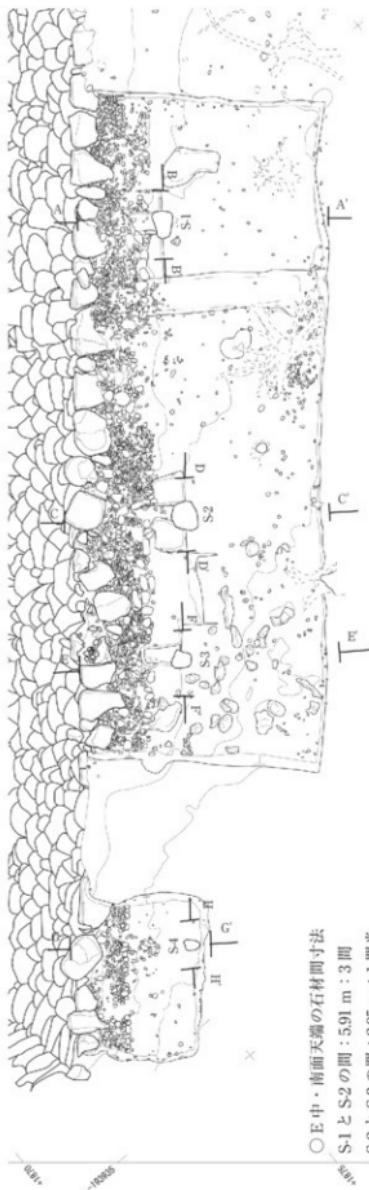
第520図 E面天端 5T(東から)

第521図 E面天端 2T付近(東から)  
満状の築石層の上に黒色土の満状遺構第522図 E面天端 1・2T付近(東から)  
築石層が手前で満状になる

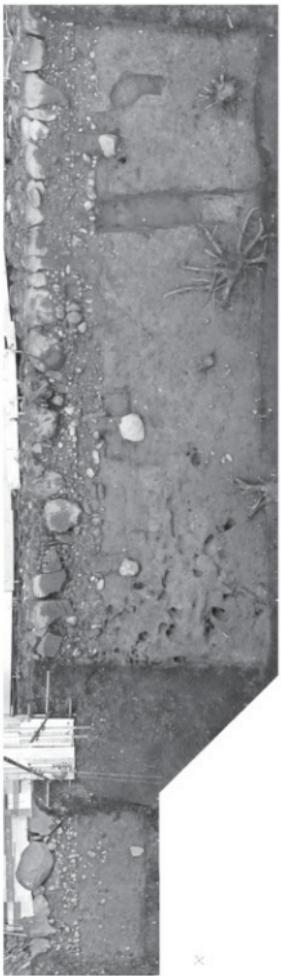
第523図 E面天端 1・2T付近(北から)



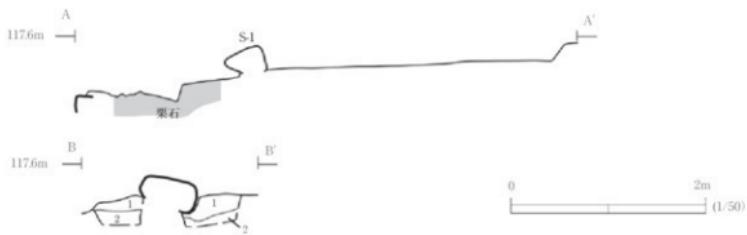
第524図 E面天端 2・3T付近(南から)



第525図 E面天端 石列平面図(1/100)



第526図 E面天端 石列平面オルソフォト



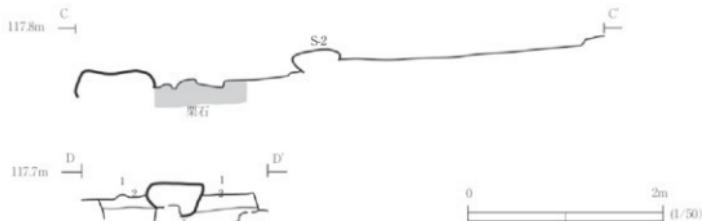
第527図 E中面 天端石列S-1断面図



第528図 E中面 天端石列S-1(西から)



第529図 E中面 天端石列S-1(南から)



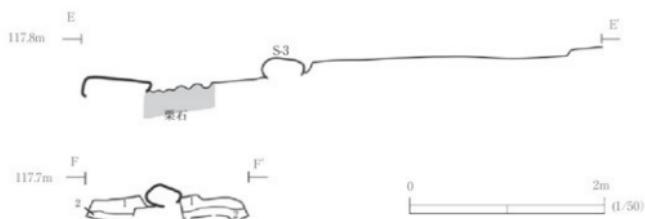
第530図 E中面 天端石列S-2断面図



第531図 E中面 天端石列S-2(西から)



第532図 E中面 天端石列S-2(南から)



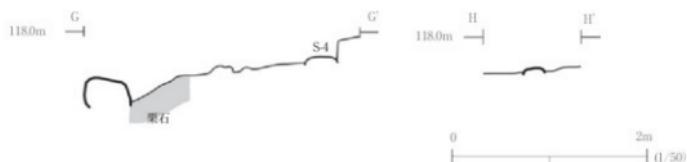
第533図 E中面 天端石列S-3断面図



第534図 E中面 天端石列S-3(西から)



第535図 E中面 天端石列S-3(南から)



第536図 E中面 天端石列S-4断面図



第537図 E中面 天端石列S-4(南から)



第538図 E中面 天端石列全景(南西から)



第539図 E中面 天端石列全景(南から)



第540図 E中面 天端石列全景(南西から)



第541図 E中面 S-1移設前(南から)



第542図 E中面 S-1移設後(南から)  
下に根固め石などはない



第543図 E中面 S-1復旧後(南から)



第544図 E中面 S-2移設前(南から)



第545図 E中面 S-2移設後(南から)  
下に根固め石などはない



第546図 E中面 S-2復旧(南から)



第547図 E面 調査前(北から)



第548図 E面 表土除去後(北から)



第549図 E面 表土除去後(南から)



第550図 E面 II層検出状況(北から)



第551図 E面 天端調査状況(南から)



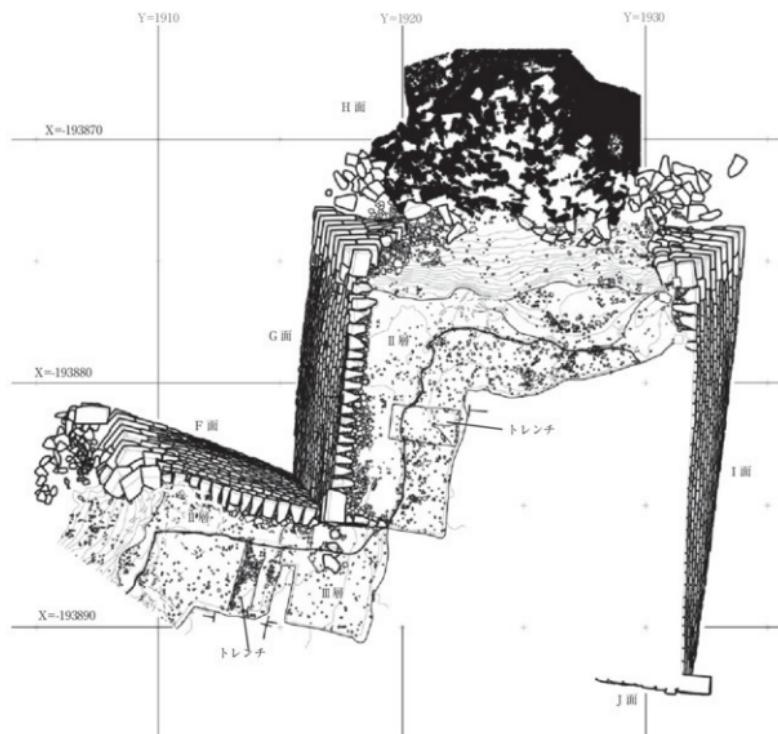
第552図 E面 天端調査状況(北から)



第553図 E面 天端調査状況(北から)



第554図 E面 天端調査状況(南東から)



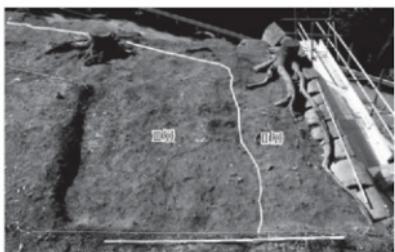
第555図 F・G・H・I面天端平面図(1/200)



第556図 F面天端 調査前(北から)



第557図 F面天端 調査状況(北から)



第558図 F面天端 表土下(東から)



第559図 F面天端 II層掘り下げ(東から)



第560図 F面天端 II層・トレンチ掘り下げ(東から)



第561図 F面天端 II層掘り下げ(西から)  
入角部盛土中に捨石



第562図 F面天端 捨石掘り下げ(西から)



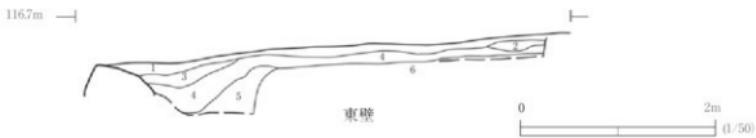
第563図 F面天端 全景(上が北)



第564図 F面天端 調査状況(東から)



第565図 F面天端 調査区の拡張(南から)



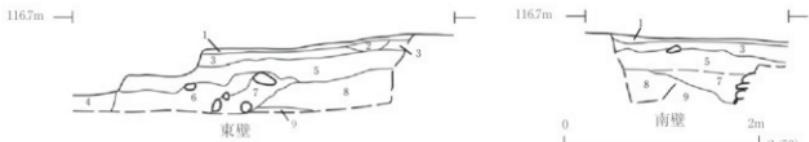
第566図 F面天端 トレンチ断面図-1



第567図 F面天端トレンチ土層断面-1(西から)



第568図 F面天端トレンチ土層断面-1(西から)



第569図 F面天端 トレンチ断面図-2



第570図 F面天端トレンチ土層断面-2(西から)



第571図 F面天端トレンチIV層上面(北から)  
西(E面方向へ傾斜)



第572図 F面天端トレンチ(北東から)



第573図 F面天端全景(北から)



大別層	層名	土色	土性	しまり	粘性	特徴
I	1 黒褐色	10YR3/1	シルト	なし	よわい	
	2 白色		粘土			
II	明褐色	75YR5-6	粘土質シルト	よわい	あり	浅黄褐色(75YR8/4) 土ブロックが混じる
	3 にふり褐色	75YR7/4	粘土質シルト	よわい	あり	白色粘土ブロックが混じる
	灰黃褐色	10YR4/2	粘土質シルト	よわい	あり	
III	4 棕色	10YR4/4	粘土質シルト	やわやわ	あり	白色粘土・黄色粘土の細粒が混じる。径10cm以下の玉石が多く混じる。瓦片混じる
IV?	5 明黄褐色	10YR6-6	粘土質シルト	あり	あり	黄色粘土(10YR5-6) 粘土・白色粘土ブロックが多く混じる。径10cm以下玉石が混じる。瓦片混じる

第574図 G面天端トレンチ断面図



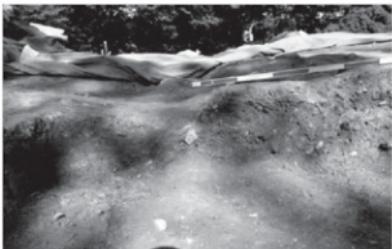
第575図 G面天端トレンチ土層断面上部(南から)



第576図 G面天端トレンチ土層断面上部(南から)



第577図 G面天端トレンチ土層断面下部(南から)



第578図 G面天端トレンチ土層断面下部(南から)



第579図 G面天端トレンチ(東から)  
III層とIV(?)層の境界が石垣の面より斜めになる



第581図 G面天端(北から)



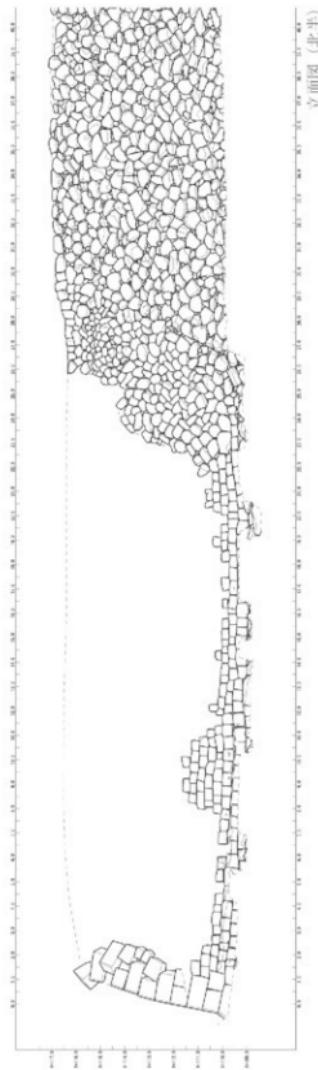
第582図 G面天端II層検出状況(東から)



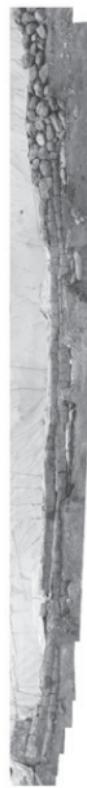
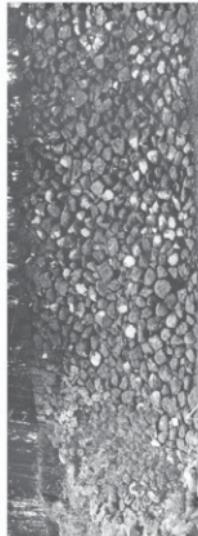
第580図 G面天端調査前(南から)



第583図 G面天端II層掘り下げ状況(東から)

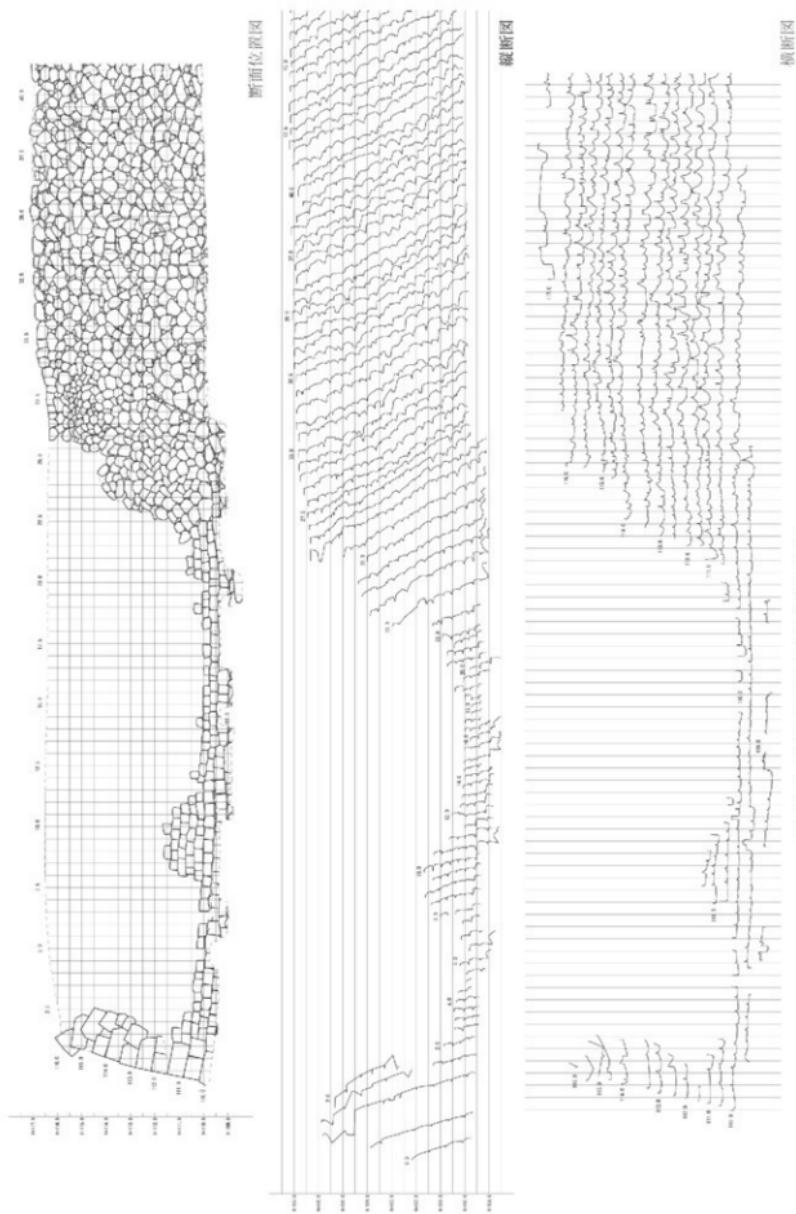


立面図(北半)

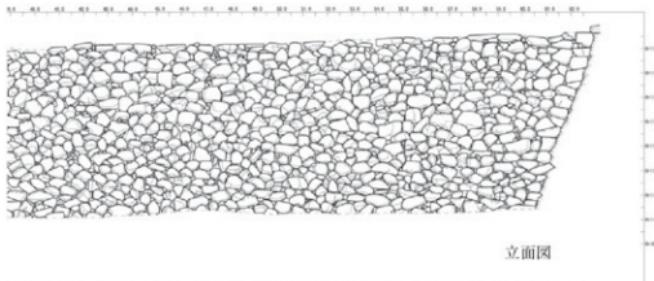


オルソフォト

第584図 E面解体前立面図等(1/200)



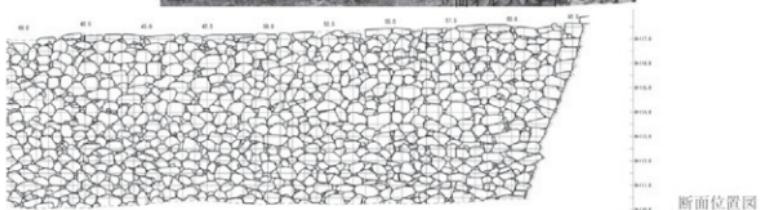
第585図 E面北半解体前断面図等(1/200)



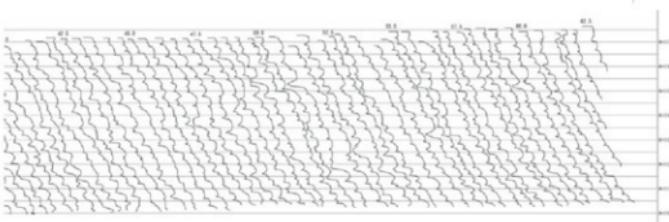
立面図



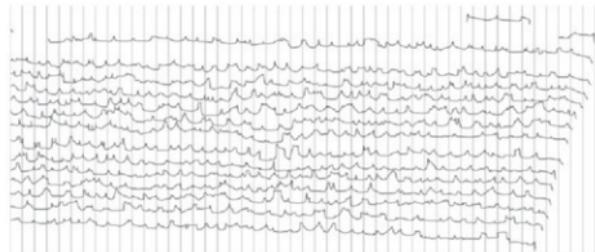
立面オルソフォト



断面位置図



縦断図

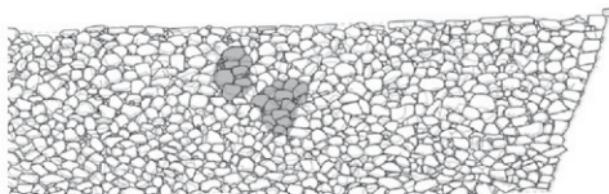


横断図

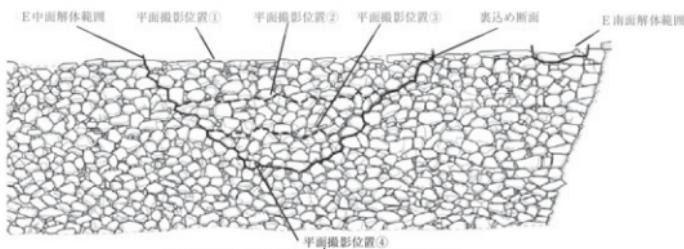
第586図 E面南半 解体前平面図等(1/200)

## ② E 南面・中面の修復

孕み出しが生じた範囲と、天端石がずれた範囲をE中面、E南面として修復した。



第587図 E中面孕み出し範囲



第588図 E面(E中面・E南面)解体範囲

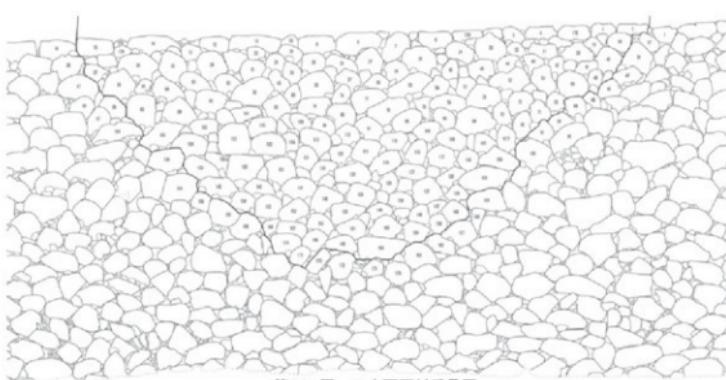


第589図 E南面石材番号図

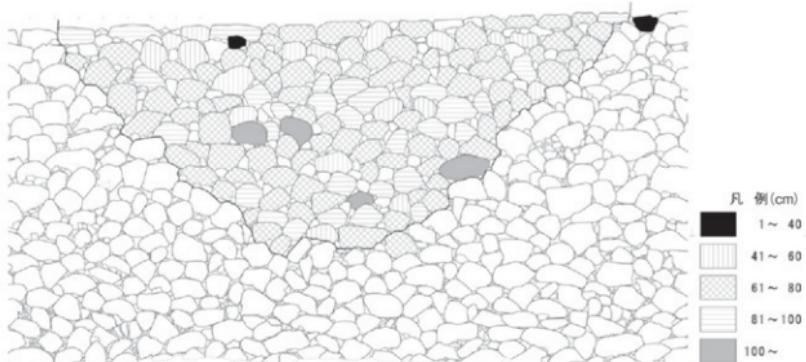


第590図 E南面控え長分布図

凡例(cm)
1 ~ 40
41 ~ 60
61 ~ 80
81 ~ 100
100 ~



第591図 E中面石材番号図



第592図 E中面控え長分布図

E南面の修復状況



第593図 E南面 被災状況(西から)  
天端石がズレている



第594図 E南面 解体前(西から)



第595図 E南面 解体前(南から)



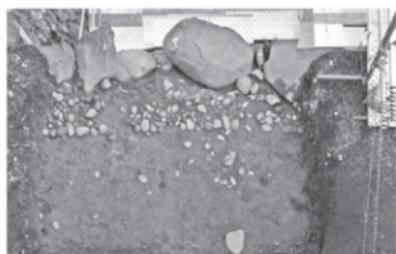
第596図 E南面 解体前(南から)



第597図 E南面 解体前(東から)



第598図 E南面 解体前(北西から)



第599図 E南面 解体前平面オルソフォト(上が西)



第600図 E南面 解体後(西から)



第601図 E南面 石積み後立面(西から)



第602図 E南面 石積み後(東から)

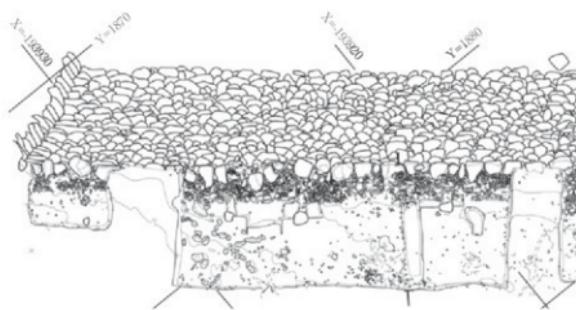


第603図 E南面 石積み後(南から)

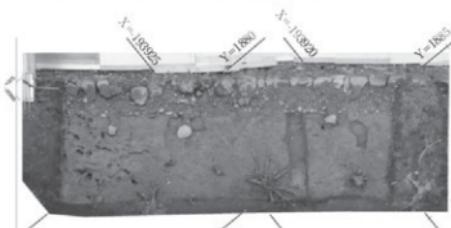


第604図 E南面 接着した石材と補充石

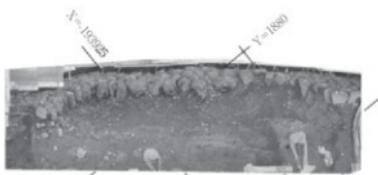
E中面の修復状況



第605図 E中面 天端平面図(1/200)



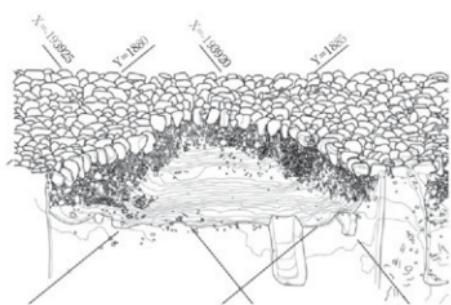
第606図 E中面 天端平面オルソフォト



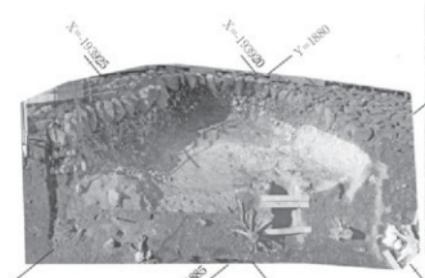
第607図 E中面 解体2回目平面オルソフォト



第608図 E中面 解体3回目平面オルソフォト



第609図 E中面 解体完了平面図



第610図 E中面 解体完了平面オルソフォト



第611図 E中面 最下部平面(上が西)



第612図 E中面 解体前(西から)

第613図 E中面 解体完了状況(西から)  
撮影後、破損石3石を追加解体

第614図 E中面 解体前(北西から)



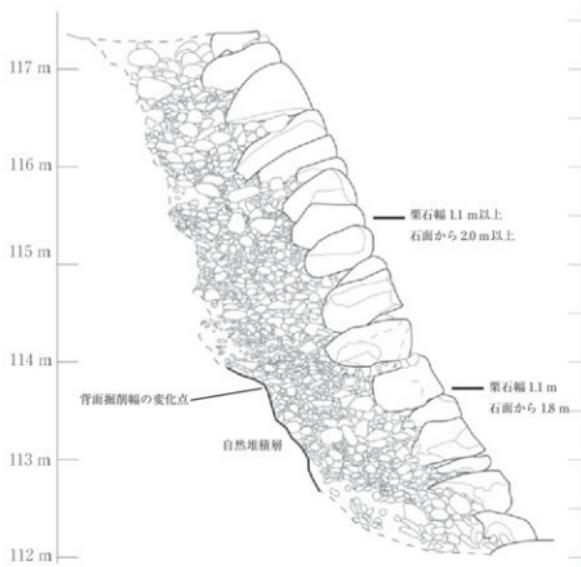
第615図 E中面 解体完了状況(北西から)



第616図 E中面 解体前(南から)



第617図 E中面 解体完了状況(南から)



第618図 E中面 裏込め断面(1/50)



第619図 E中面 天端の裏込め断面

第620図 E中面 裏込め断面オルソフォト



第621図 E中面 裏込め断面上部



第622図 E中面 裏込め断面上部



第623図 E中面 裏込め断面中部



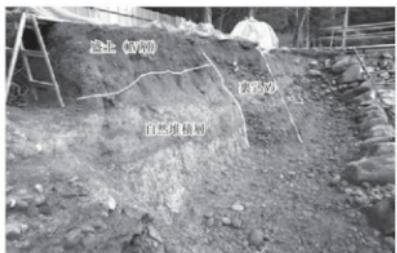
第624図 E中面 裏込め断面下部



第625図 E中面 裏込め断面北側(南から)



第626図 E中面 背後の土層(南から)  
天端付近は築石幅が下より狭い



第627図 E中面 背後の土層(北から)



第628図 E中面 背後の土層(北から)



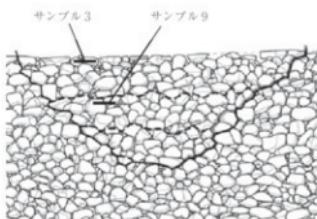
第629図 E中面 背後の土層(南西から)



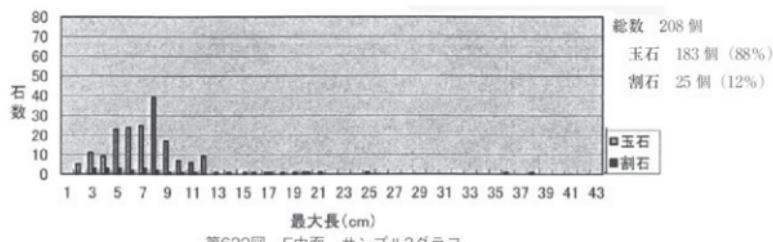
第630図 E中面 背後の土層(南西から)  
背面掘削幅が変化する

#### E中面栗石の粒径

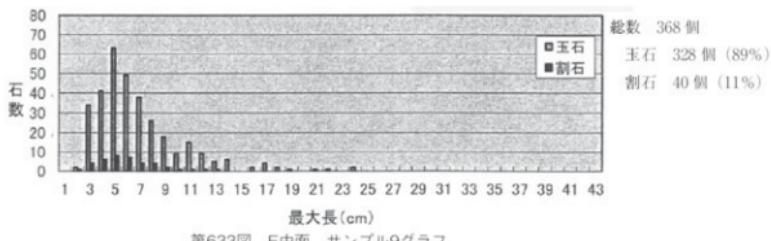
2箇所で粒径を計測した。小さめの玉石が主体である。



第631図 E中面 栗石サンプル位置

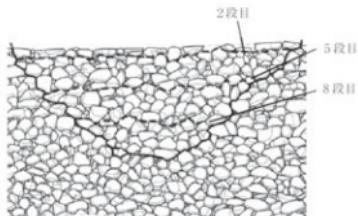


第632図 E中面 サンプル3グラフ



第633図 E中面 サンプル9グラフ

E 中面の解体・石積み状況



第634図 E中面 平面撮影位置



第635図 E中面 8段解体前平面(上が西)



第636図 E中面 8段石積み平面(上が西)



第637図 E中面 8段解体前状況(南から)



第638図 E中面 7段石積み状況(南から)



第639図 E中面 5段解体前状況(南から)



第640図 E中面 5段石積み状況(南から)



第641図 E中面 5段解体前平面(上が西)



第642図 E中面 5段石積み平面(上が西)



第643図 E中面 5段復旧裏込め(南から)



第644図 E中面 5段復旧裏込め(東から)  
主に粒径の小さい栗石を敷設、石材周囲は割栗石を使用



第645図 E中面 5段復旧裏込め(南から)  
背面土と栗石の境には碎石層(幅約20cm)を設ける



第646図 E中面 北壁断面(南から)  
天端付近の栗石幅は狭かったので、2段目より上の栗石幅を復旧した



第647図 E中面 2段解体前(南から)



第648図 E中面 2段裏込め復旧状況(南から)



第649図 E中面 2段裏込め幅の復元(南から)  
天端付近の築石幅は狭いので、盛土を入れ幅を復元した



第650図 E中面 2段裏込め幅の復元(南から)



第651図 E中面 天端裏込め幅の復元(南から)



第652図 E中面 天端復旧状況(南から)



第653図 E中面 不織布の敷設



第654図 E中面 盛土の施工  
発生土に石灰を混ぜた三和土を使用



第655図 E中面 盛土の施工



第656図 E中面 天端の盛土完了(南から)



第657図 E中面 天端の盛土完了(北から)



第658図 E中面 石積み作業状況



第659図 E中面 石列復旧状況  
測量値に基づき元の位置に戻した



第660図 E中面 石積み完了(西から)



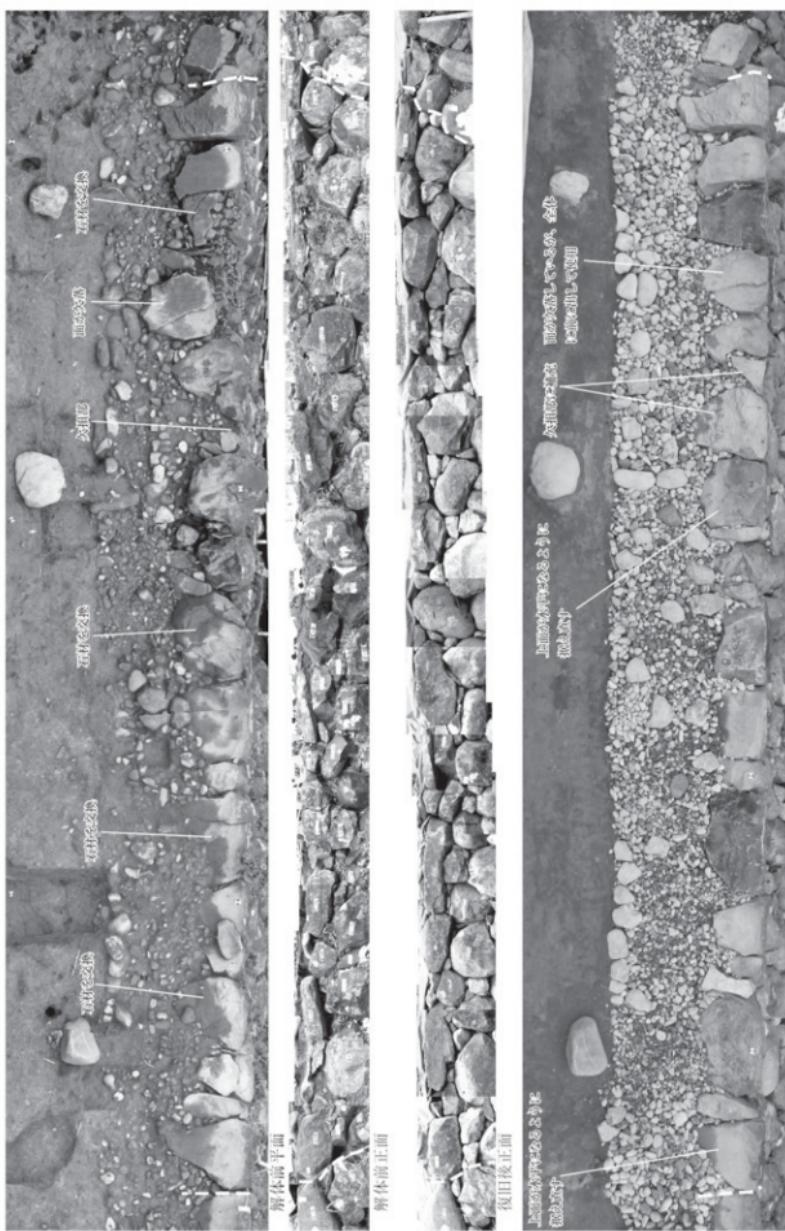
第661図 E中面 石積み完了(南西から)



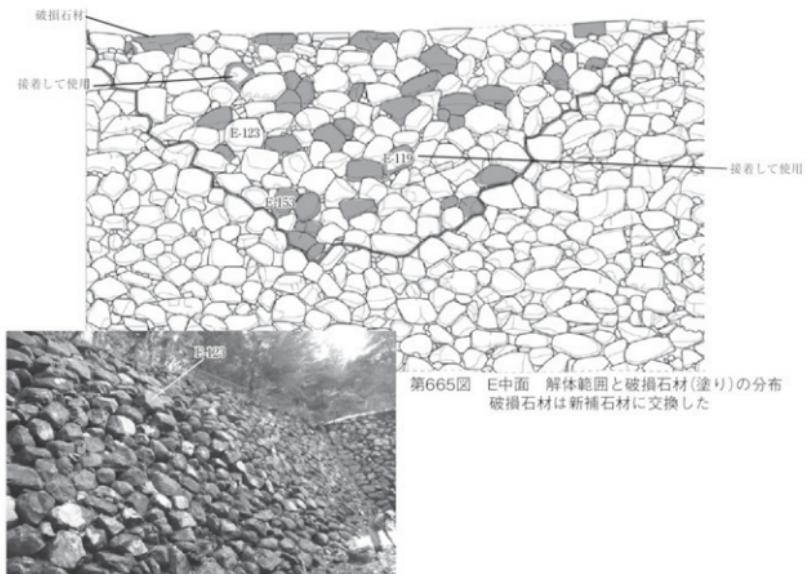
第662図 E中面 石積み完了(北西から)



第663図 E中面 石積み完了(南から)



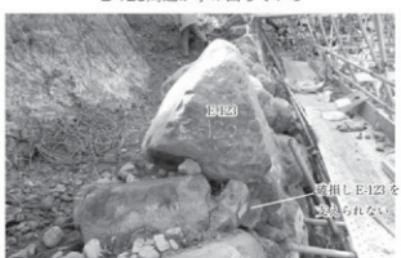
第664回 E中面天端の復旧状況



第665図 E中面 解体範囲と破損石材(塗り)の分布  
破損石材は新捕石材に交換した

第666図 E中面 孕み出しの状況(北西から)

E-123周辺が孕み出している



第667図 E中面 E-123解体前(北から)

下の石が破損し、前にせり出している



第668図 E中面 E-123石積み後(北西から)

下の石を交換し、確実に支える



第669図 E中面 E-123付近解体前(上が西)  
周囲に破損した石材が多い



第670図 E中面 E-123付近石積み後(上が西)  
破損した石材を交換



第671図 E中面 E-153破損状況(正面)



第672図 E中面 E-153破損状況(上面)



第673図 E中面 E-153交換後(正面)



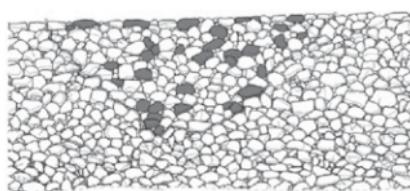
第674図 E中面 E-153交換後(正面)



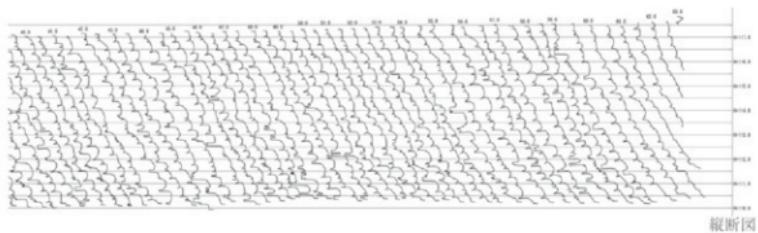
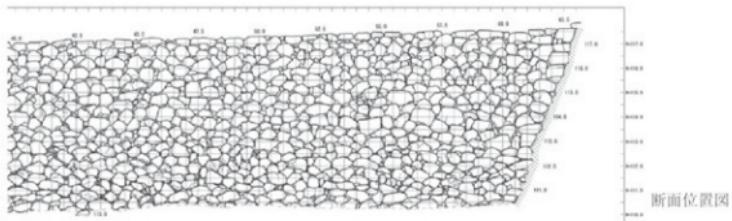
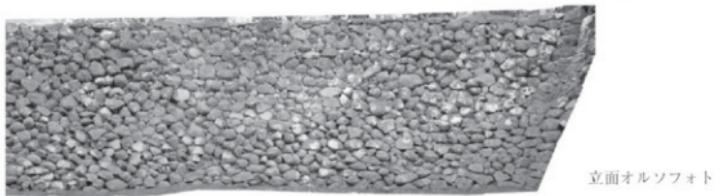
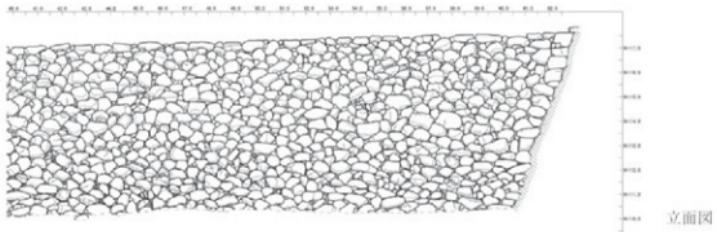
第675図 E中面 E-119破損状況  
面が剥落しているが、上の石の加重がかからないで接着して再利用



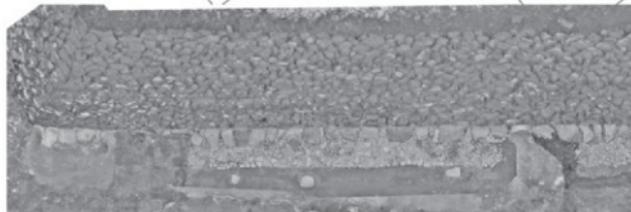
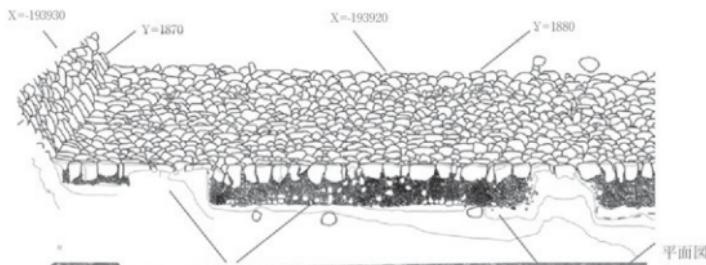
第676図 E中面 E-119接着後



第677図 E中面 新補石材の位置



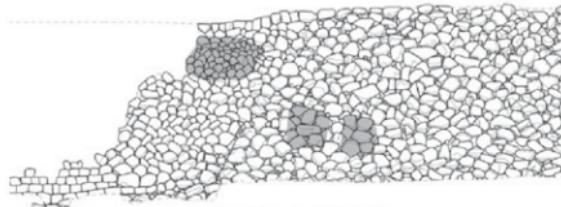
第678図 E中面・南面付近石積み立面図等(1/200)



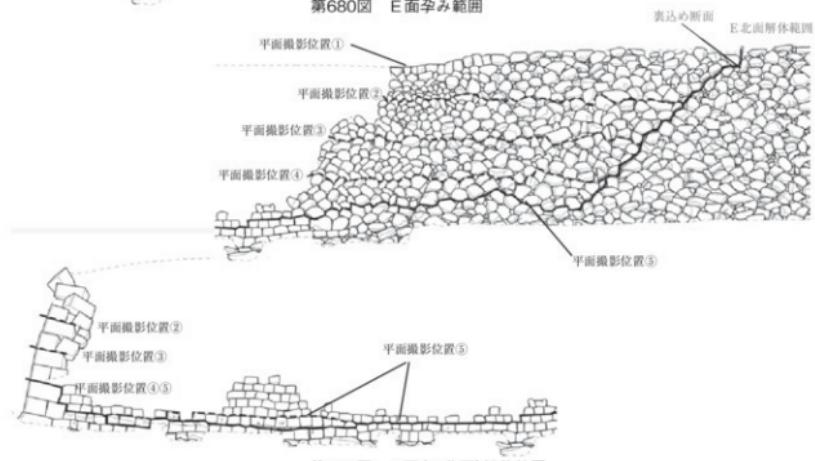
平面オルソフォト

第679図 E中面 石積み平面図等(1/200)

(3) E北面の修復



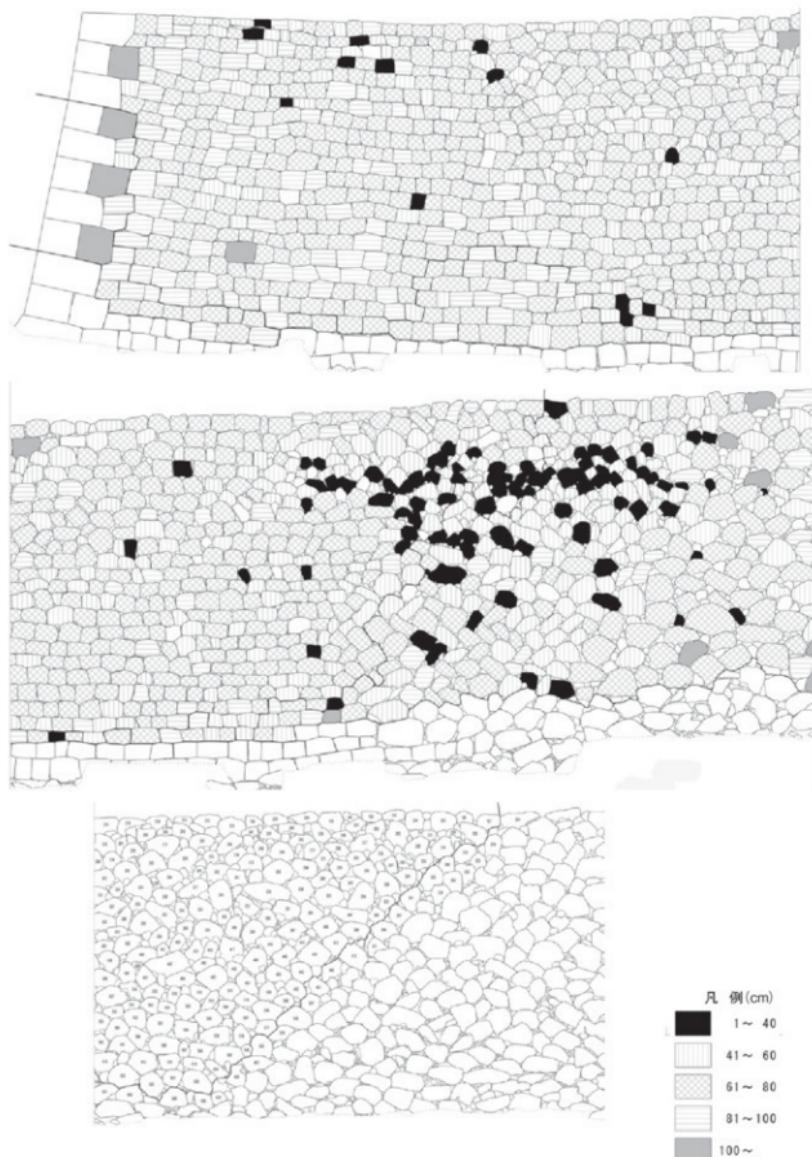
第680図 E面孕み範囲



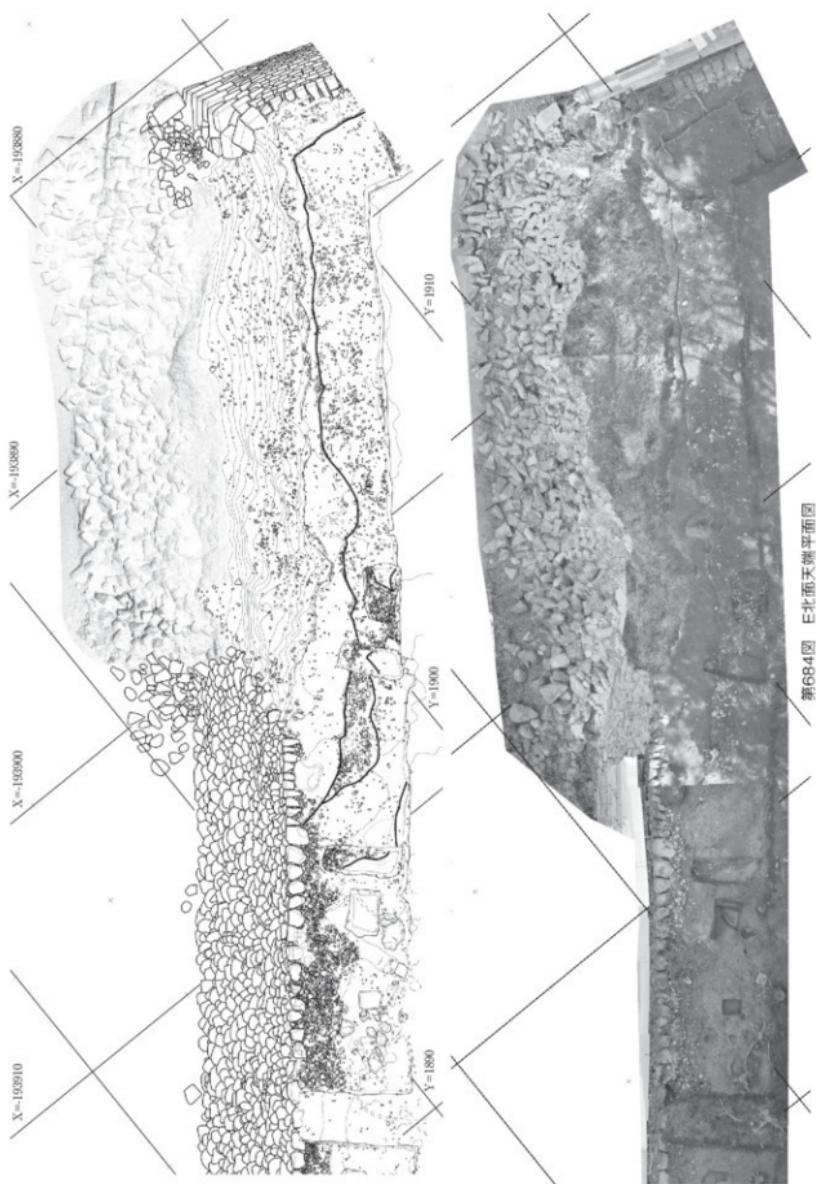
第681図 E面(E北面)解体範囲

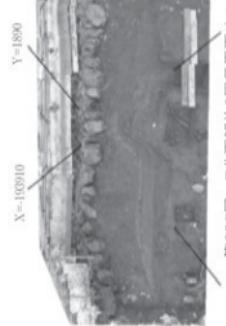


第682図 E北面石材番号図



第683図 E北面石材控え長分布図





第685図 E北面解体2回目平面オルソフォト



第686図 E北面解体3回目平面オルソフォト

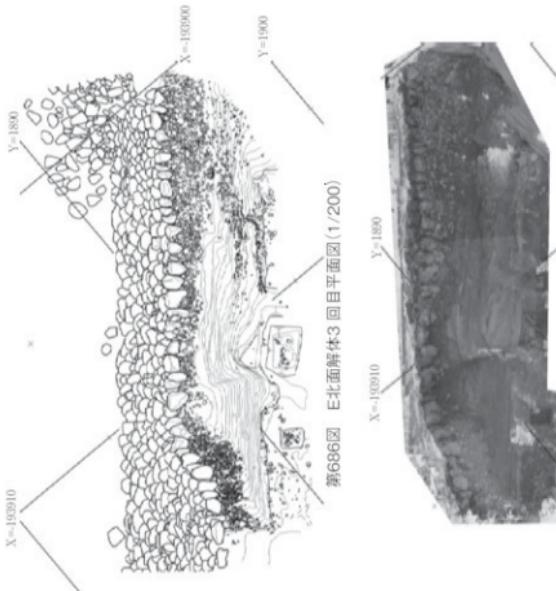
第687図 E北面解体3回目平面オルソフォト



第688図 E北面解体4回目平面オルソフォト



第689図 E北面解体完了平面オルソフォト(1)

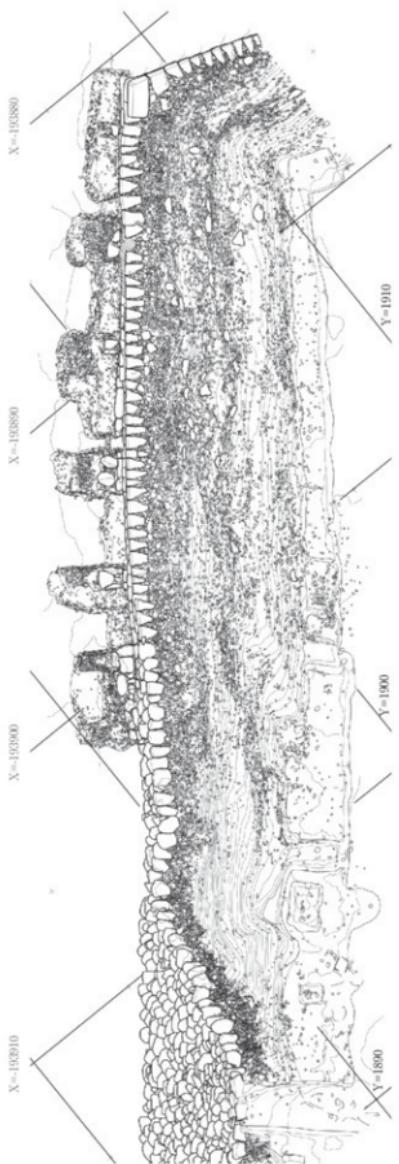


第686図 E北面解体3回目平面オルソフォト

第687図 E北面解体3回目平面オルソフォト

第688図 E北面解体4回目平面オルソフォト

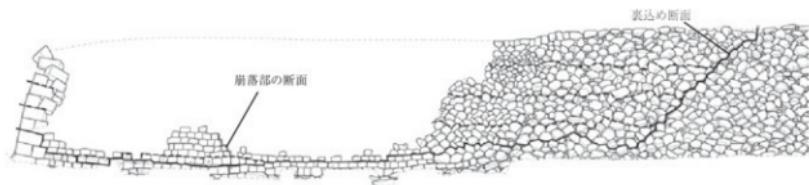
第689図 E北面解体完了平面オルソフォト(1)



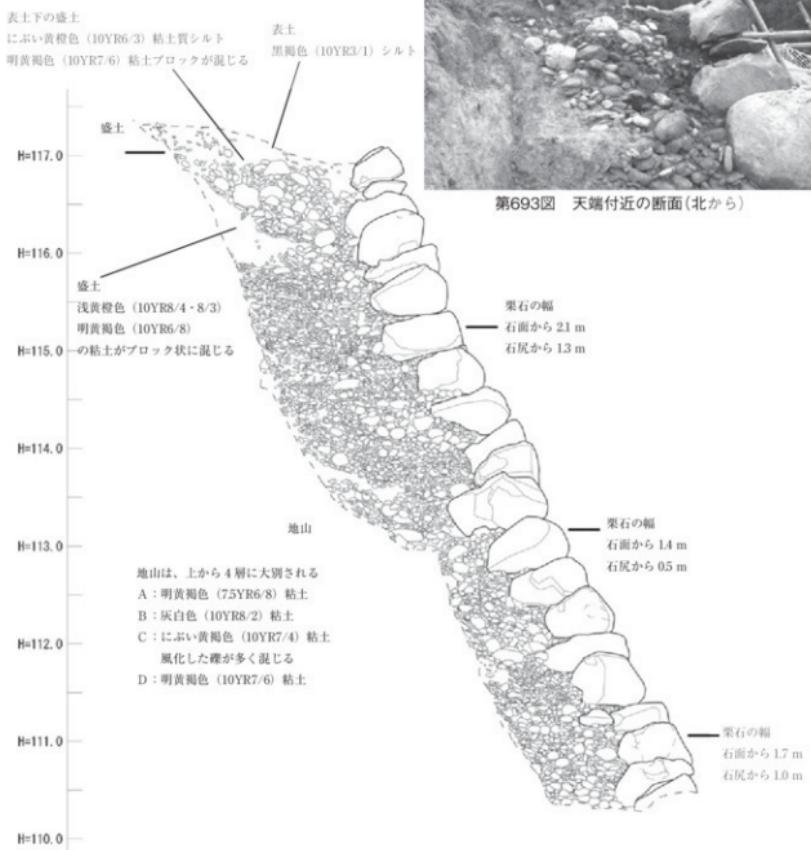
第690図 E北面解体完了平面図



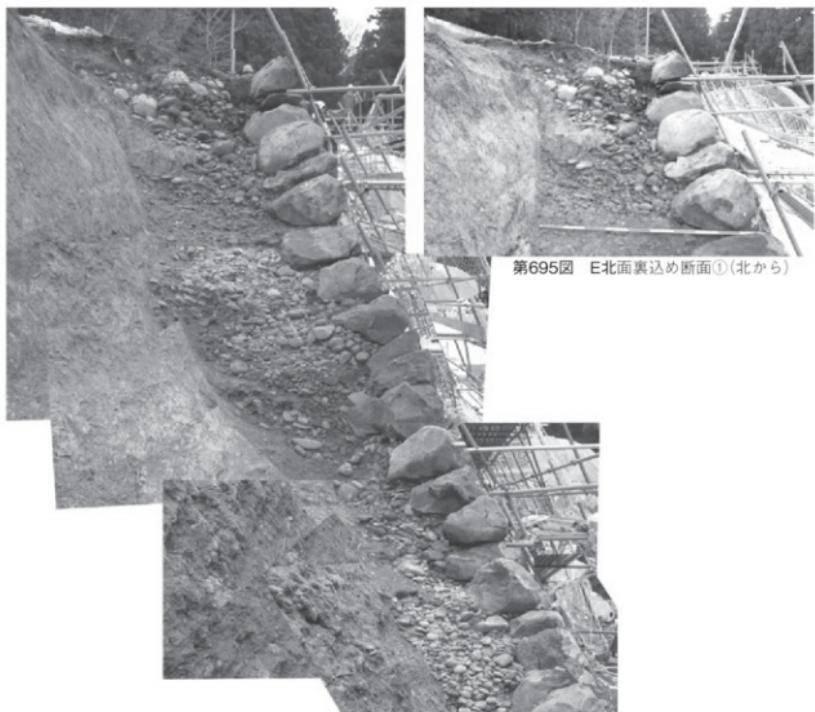
第691図 E北面解体完了平面オルソフォト(2)



第692図 E北面裏込め断面計測位置



第694図 E北面裏込め断面図(1/50)



第695図 E北面裏込め断面①(北から)

第696図 E北面裏込め断面オルソフォト(1/50)



第697図 E北面裏込め断面①細部(北から)



第698図 E北面裏込め断面②(北から)



第699図 E北面裏込め断面②細部(北から)



第700図 E北面裏込め断面③(北から)



第701図 E北面裏込め断面③細部(北から)



第702図 E北面裏込め断面④(北から)



第703図 E北面裏込め断面④細部(北から)



第704図 E北面裏込め断面⑤(北から)



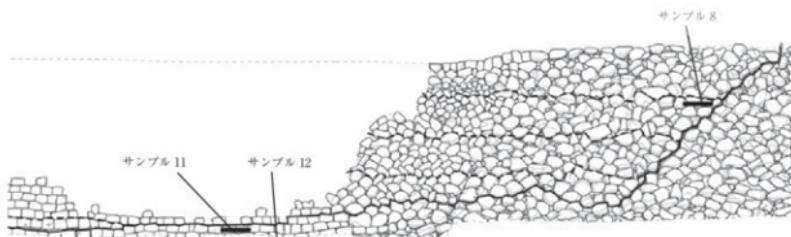
第705図 E北面裏込め断面⑤細部(北から)



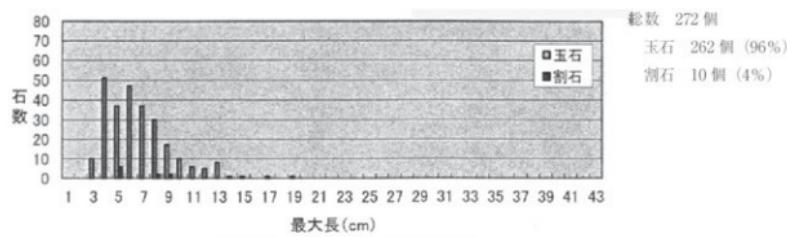
第706図 E北面崩落部裏込め断面(南から)

## E北面栗石の粒径

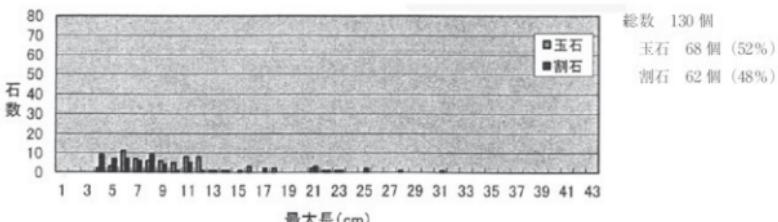
裏込め2箇所でサンプルを計測した。野面石・割石の背後のサンプル8のほうが粒径が小さく、玉石が主体である。サンプル12は、石垣基部の旧石材間のものであり、割石が多い。



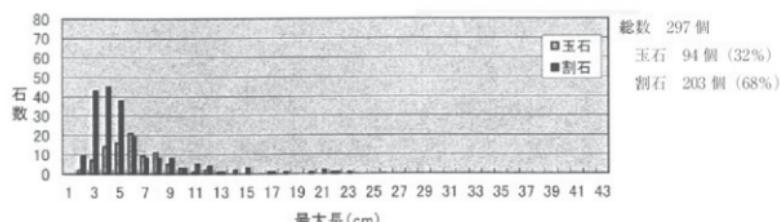
第707図 E北面 栗石サンプル位置



第708図 E北面 サンプル8グラフ

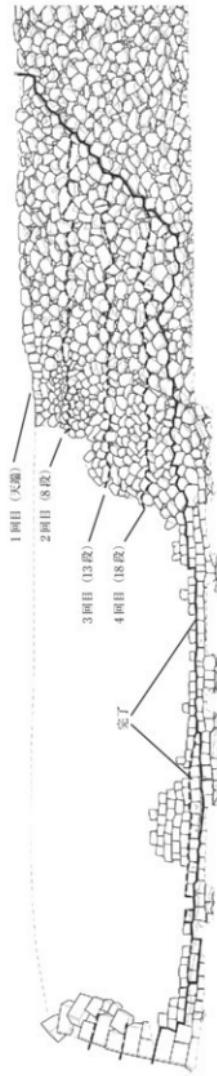


第709図 E北面 サンプル11グラフ



第710図 E北面 サンプル12グラフ

使用される石材の種い



第711図 東北面解体平面撮影の位置



第712図 東北面解体前正面



第713図 東北面3段目解体前正面



第714図 東北面8段目解体前正面



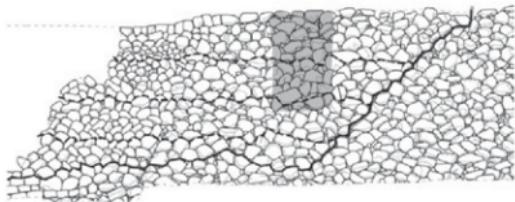
第715図 東北面14段目解体前正面



第716図 東北面1段目解体前正面

E 北面裏込め幅の狭い部分

地山が張り出した形で、裏込め幅の狭い部分がある。



第717図 E北面裏込め幅の狭い範囲



第718図 E北面解体3段目(南から)  
裏込め幅の変化部分



第719図 E北面解体8段目(南から)  
裏込め幅の変化部分



第720図 E北面解体8段目(東から)  
裏込め幅の変化部分



第721図 E北面解体8段目裏込めの幅(南から)



第722図 E北面解体9段目(東から)  
裏込め幅の変化部分



第723図 E北面解体12段目(南から)



第724図 E北面解体12段目(北から)  
狭い部分では、石材が背後の層に接している



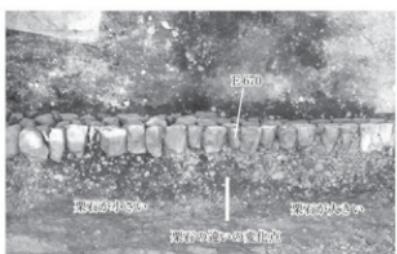
第725図 E北面解体13段目(南から)



第726図 E北面解体完了全景(南から)



第727図 E北面解体完了全景(南西から)



第728図 E北面解体完了平面(上が西)



第729図 E北面基部立面(西から)  
裏込め・石材の様相の違い



第730図 E北面基部の裏込め幅(南から)  
栗石が小さい部分



第731図 E北面基部の裏込め幅(南から)  
栗石が大きい部分



第732図 E北面8段目背後の土層(西から)



第733図 E北面8段目背後の土層(西から)



第734図 E北面背後の土層（北部・西から）



第735図 E北面背後の土層(中部・西から)



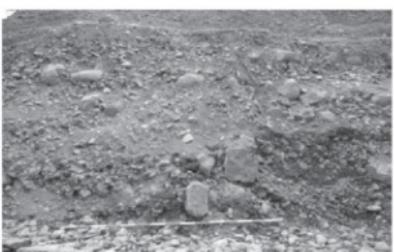
第736図 E北面背後の土層(南部・西から)



第737図 E北面背後の土層(西から)



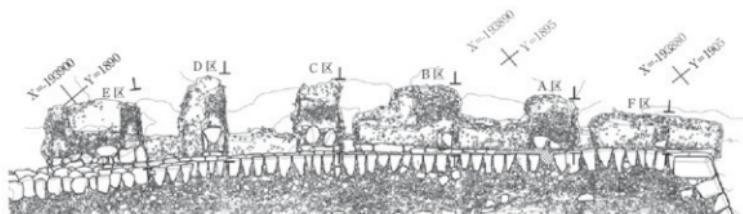
第738図 E北面背後の捨石(西から)



第739図 E北面背後の捨石(西から)

## E北面基部の調査

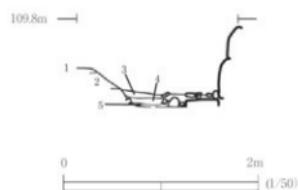
石垣基部のトレンチ調査を行った。切石の下部に割石・野面石が据えられていることが確認された。これらは、旧石垣の一部と推測される。切石は、旧石垣より内側に据えられており、また、1ないし2回の積み直し痕跡（セットバック）が確認される。



第740図 E面基部トレンチ配置図



第741図 E面基部トレンチ平面オルソフォト



第742図 E面基部 F区の土層断面(南から)

大別層	層名	土色	土性	しまり	粘性	特徴
前Ⅱ	1	黒褐色	10YR3/1 シルト	よわい	ややあり	玉石が少量混じる
前Ⅲ	2	に赤い黄褐色	10YR6/4 粘土	あり	あり	径10cm以下の玉石・割石が多く混じる
	3	褐色	10YR4/1 粘土質シルト	ややあり	あり	径10cm以下の玉石・割石が少く混じる
前Ⅴ	4	明黄褐色	10VR7/6 粘土	あり	あり	径20cm以下の玉石が多く混じる
	5	灰黄褐色	10VR5/2 粘土質シルト	ややあり	あり	瓦片が多く混じる

第743図 E面基部 F区土層断面図



第744図 E北面基部 F区盛土(西から)



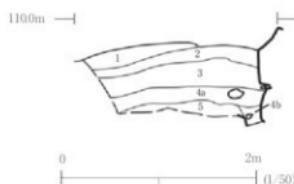
第745図 E北面基部 F区旧石材検出状況(西から)



第746図 E北面基部 F区旧石材検出状況(西から)



第747図 E北面基部 A区土層断面(南から)



第748図 E北面基部 A区土層断面(南から)

大別解	層名	土色	土性	しまり	粘性	特徴
前Ⅱ	1	黒褐色	10YR3/1	シルト	よわい	ややあり 黄色・白色粘土ブロックが混じる、径10cm以下の玉石が混じる
前Ⅲ	2	明黄褐色	10YR7-6	粘土	あり	あり 径10cm以下の玉石・鈍石が多く混じる
	3	灰黄褐色	10YR5-2	粘土質シルト	ややあり	あり 径10cm以下の玉石・鈍石が混じる
前V	4a	明黄褐色	10YR5-6	粘土	あり	あり 径10cm以下の玉石・鈍石が多く混じる
	4b	灰黄褐色	10YR5-2	粘土	ややあり	あり 径10cm以下の玉石・鈍石が混じる
	5	褐灰色	10YR4/1	粘土質シルト	ややあり	あり 瓦片が多く混じる

第749図 E北面基部 A区土層断面図



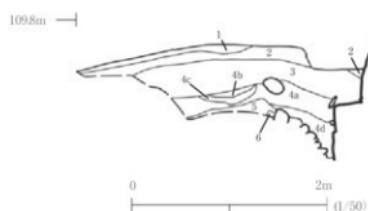
第750図 E北面基部 A区盛土(西から)



第751図 E北面基部 A区旧石材検出状況(西から)



第752図 E北面基部 A区旧石材検出状況(上が南)

第753図 E北面基部 A区旧石材と切石  
旧石材の上に切石が乗る

第754図 E北面基部 B区土層断面(南から)

大別等	解名	土色	土性	しまり	粘性	特徴
前Ⅲ	1 黒褐色	10YR3/1	シルト	よわい	あり	
前Ⅲ	2 明黄褐色	10YR6-6	粘土	あり	あり	白色粘土ブロックが混じる
3	灰黄褐色	10YR5-2	粘土質シルト	ややあり	あり	径10cm以下の玉石・削石が多く混じる
4a	明黄褐色	10YR6-6	粘土	あり	あり	径11cm以下の玉石・削石が少量混じる
4b	明黄褐色	10YR6-6	粘土	あり	あり	にい・黄橙色(10YR7/4)土が多く混じる
4c	明黄褐色	10YR6-6	粘土	あり	あり	褐色(10YR4/1)土が多く混じる
4d	灰黄褐色	10YR5-2	粘土	あり	あり	径10cm以下の玉石・削石が多く混じる
5	湖灰色	10YR4/1	粘土質シルト	ややあり	あり	瓦片が多量に混じる、炭片が混じる
6	にい・黄橙色	10YR6-4	粘土	あり	あり	

第755図 E北面基部 B区土層断面図



第756図 E北面基部 B区土層断面(南から)



第757図 E北面基部 B区土層断面(北から)



第758図 E北面基部 B区盛土(西から)



第759図 E北面基部 B区旧石材検出状況(西から)



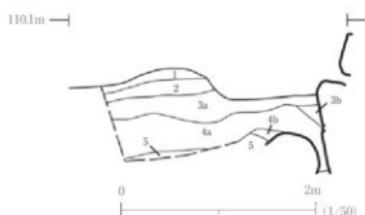
第760図 E北面基部 B区旧石材検出状況(上が西)



第761図 E北面基部 B区旧石材検出状況(南から)



第762図 E北面基部 B区旧石材検出状況(上が南)  
旧石材下に玉石



第763図 E北面基部 C区土層断面(南から)

大別層	層名	土色	土性	しまり	粘性	特徴
前Ⅱ	1	黒褐色	10YR3/1	シルト	よわい	ややあり
前Ⅲ	2	明黄褐色	10YR6/6	粘土	あり	あり
	3a	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり
	3b	にぶい黄褐色	10YR5/3	粘土質シルト	あり	にぶい黄褐色(10YR6/4)粘土プロックが混じる
前V	4a	明黄褐色	10YR6/6	粘土	あり	あり
	4b	にぶい黄褐色	10YR6/3	粘土	あり	あり
	5	緑灰色	10YR5/1	粘土質シルト	ややあり	瓦片多く混じる、炭片混じる

第764図 E北面基部 C区土層断面図



第765図 E北面基部 C区土層断面(南から)



第766図 E北面基部 C区盛土(西から)



第767図 E北面基部 C区旧石材検出状況(西から)



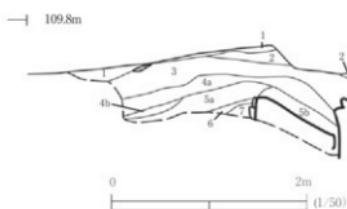
第768図 E北面基部 C区旧石材検出状況(上から)



第769図 E北面基部 C区旧石材検出状況(北から)



第770図 E北面基部 D区土層断面(南から)



第771図 E北面基部 D区土層断面(南から)

大別解	番号	土色	土性	しまり	粘性	特徴
前Ⅲ	1	黒褐色	10YR3/1	シルト	よわい	ややあり 下部に黄色・白色粘土ブロックが混じる
前Ⅲ	2	明黄褐色	10YR6/6	粘土	あり	あり 白色粘土ブロックが混じる
前V	3	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり 深10cm以下の玉石・削石が多く混じる
前V	4a	明黄褐色	10YR6/6	粘土	あり	あり 深10cm以下の玉石・削石が少量混じる
前V	4b	明黄褐色	10YR6/6	粘土	あり	あり にぶい黄褐色(10YR7/4)土が多く混じる
前V	5a	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり 丸片が多く混じる
前V	5b	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり
前V	6	明黄褐色	10YR6/6	粘土	あり	あり
前V	7	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり

第772図 E北面基部 D区土層断面図



第773図 E北面基部 D区旧石材検出状況(西から)



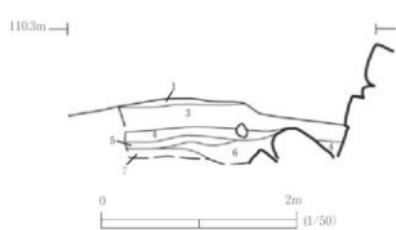
第774図 E北面基部 D区旧石材検出状況(上が南)



第775図 E北面基部 D区旧石材(北西から)  
切石は旧石材に乗らない



第776図 E北面基部 D区土層断面(南から)



第777図 E北面基部 E区土層断面(南から)

大別層	層名	土色	土性	しまり	粘性	特徴
前Ⅱ	1	黒褐色	10YR3/1	シルト	よわい	ややあり 下部に黄色・白色粘土ブロックが混じる
	3	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり 径10cm以下の玉石・削石が多く混じる
	4	明黄褐色	10YR6-6	粘土	あり	径10cm以下の玉石・削石が少量混じる
	5	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり 瓦片が多く混じる
	6	明黄褐色	10YR6-6	粘土	あり	あり 径10cm以下の玉石・削石が多く混じる
	7	灰黄褐色	10YR5/2	粘土質シルト	ややあり	あり 瓦片が多く混じる

第778図 E北面基部 E区土層断面図



第779図 E北面基部 E区土層断面(南西から)



第780図 E北面基部 E区南壁付近(北西から)



第781図 E北面基部 E区土層断面(北から)  
南壁



第782図 E北面基部 E区土層断面(北から)  
南壁



第783図 E北面基部 E区旧石材検出状況(西から)



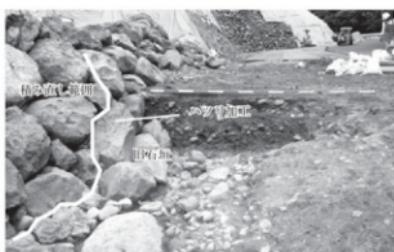
第784図 E北面基部 E区旧石材検出状況(南から)



第785図 E北面基部 E区旧石材検出状況(北西から)  
切石が旧石材にのる



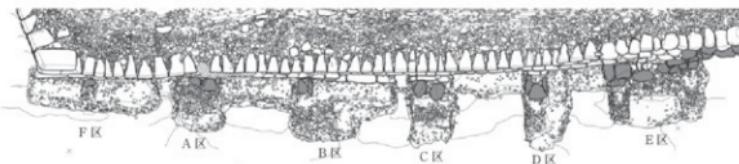
第786図 E北面基部 E区旧石材検出状況(北西から)



第787図 E北面基部 E区旧石材のハツリ加工(北から)  
積み直しの際に面を揃えるためハツリ加工をしたとみられる  
(積み直し範囲は旧石垣より勾配が急)



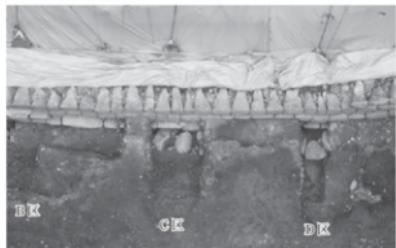
第788図 E北面基部 E区旧石材のハツリ加工(北から)  
積み直しの際に面を揃えるためハツリ加工をしたとみられる



第789図 E北面基部 旧石材の位置



第790図 E北面基部 旧石材検出状況(西から)



第791図 E北面基部 旧石材検出状況(西から)



第792図 E北面基部 旧石材検出状況(西から)



第794図 E北面基部 旧石材検出状況(北から)

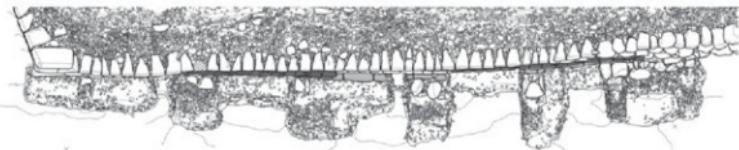


第793図 E北面基部 旧石材検出状況(西から)

第795図 EF角石の加工(西から)  
角石EF-11は上端のみ精加工



第796図 E北面基部 セッタックの位置(立面図)



第797図 E北面基部 セッタックの位置(平面図)



第798図 E北面基部 切石のセッタック状況(北から)



第799図 E北面基部 切石のセッタック状況(北から)



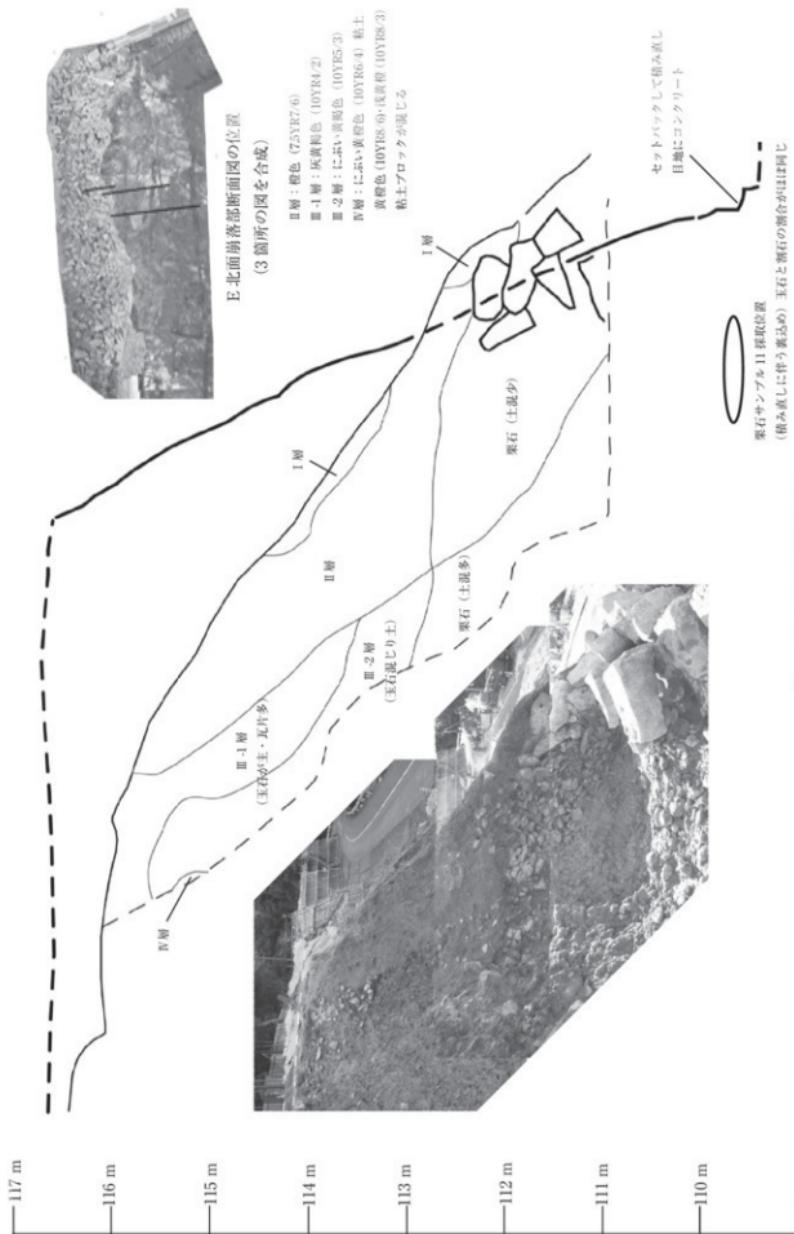
第800図 E北面基部 切石のセッタック状況(北から)



第801図 E北面基部 切石のセッタック状況(北から)



第802図 E北面基部 切石のセッタック状況(南から)



第803図 E北面崩落部断面図



第804図 E北面崩落部土層 上部(北から)



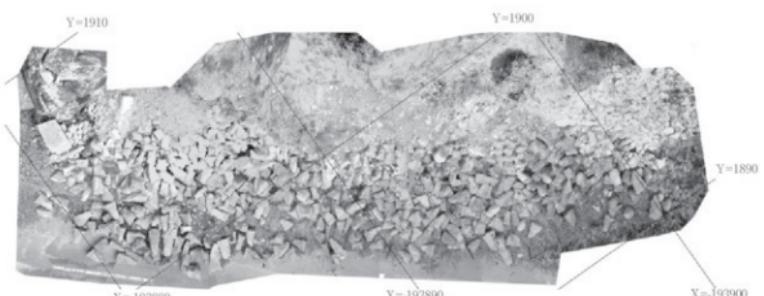
第805図 E北面崩落部土層 上部(北から)



第806図 E北面崩落部土層 中部(北から)



第807図 E北面崩落部土層 下部(北から)



第808図 E北面崩落部平面オルソフォト



第809図 E北面崩落状況上から(上が東)



第810図 E北面崩落状況上から(上が東)



第811図 E北面崩落状況(北から)



第812図 E北面崩落状況(北から)



第813図 E北面崩落状況(西から)



第814図 E北面崩落状況(南西から)



第815図 E北面崩落状況(西から)



第816図 E北面崩落状況(南から)



第817図 E北面崩落石の移動(1)(北から)



第818図 E北面崩落石の移動(2)(北から)



第819図 E北面崩落石の移動(3)(北から)



第820図 E北面崩落石の移動(4)(南から)



第821図 E北面崩落石の移動(5)(北から)



第822図 E北面崩落石の移動(6)(北から)



第823図 E北面崩落石の移動(7)(南から)



第824図 E北面崩落石の移動(8)(南から)



第825図 E北面崩落石の移動(9)(南から)



第826図 E北面崩落石材移動作業

## E面の修復勾配の設定について

E面は、被災前にレーザー測量を実施していた。ただ、石垣面の清掃は行わずに測量したため、植物に覆われた部分の石積みの様相は図化していない。しかし、石垣全体の勾配や通りについては確認できるため、今回の復旧にあたっては、被災前の記録に基づき、解体前の測量成果や現況を踏まえて勾配や通りを設定した。

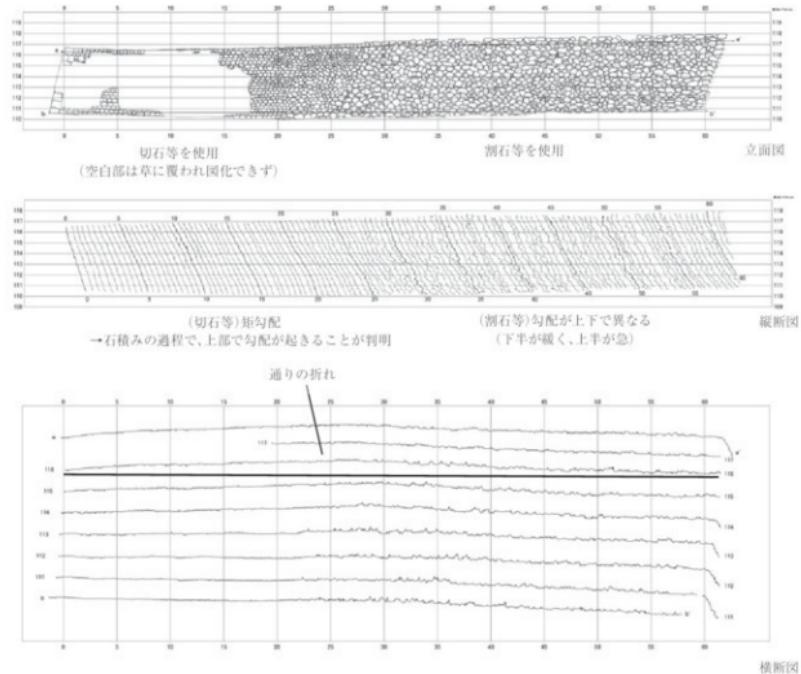
E面は切石等を使用する部分と、割石等を使用する部分に大別される。前者は短勾配であり、隅角部付近の勾配に比べ、南側の勾配のほうがやや緩くなる。後者は、石積みの中段付近で勾配が変化する。D-E入角部では、上半と下半で石積みの様相が異なることが観察される(第827図)。

天端付近の通りは、石積み変換部で「く」字状に折れている。これは、切石等部分の勾配が割石等部分の勾配より急である結果生じたものとみられる。

切石等を使用する部分は、当初矩勾配として積み上げを行っていたが、角石の上から4段目から勾配が大きくなり始めたため、角石の勾配変化に合わせて丁張りを調整しながら積み上げた。



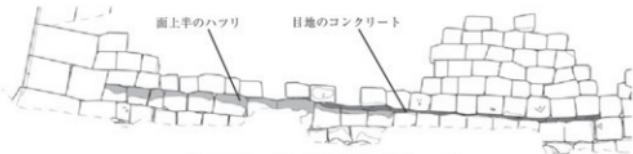
第827図 DE入角部の石積み



第828図 E面被災前測量図

## E 北面基部の石積み

E 北面基部で、目地にコンクリートが詰められている部分が確認された。過去の修復痕跡を示すものと考えられる。その下の石材が前のめりに変形しており、そのまま上の石を積むと十分な石同士の接点が確保できないため、一部については傾に長い石材に交換し、安定した接点を確保した。



第829図 E北面基部の立面図(1/100)



第830図 E北面基部解体前(西から)

第831図 E北面基部解体前(南西から)  
セットバックし目地にコンクリートが入れられている

第832図 E北面基部コンクリート上の石材解体前(南から)



第833図 E北面基部コンクリート上の石材解体後(南から)

第834図 E北面基部コンクリート除去後(南から)  
石材が前傾している



第835図 E北面基部コンクリート細部(西から)



第836図 E北面基部コンクリート細部(北から)



第837図 E北面基部 面のハツリ(南西から)



第838図 E北面基部 面のハツリ(北西から)



第839図 E北面基部 仮積み状況(西から)



第840図 E北面基部 石積み状況(西から)  
○は新補石材



第841図 E北面基部石積み状況(北から)  
セットバックして石積み



第842図 E北面基部 新補石材(東から)



第843図 E北面基部E-788石積み(西から)  
旧石材を使用するが、下の石の加工・はさみ石で対応



第844図 E北面基部E-788下石材の再加工(西から)  
下の石の石尻が高いため、一部削った



第845図 E北面基部E-789仮積み(西から)  
下の石と安定した接点が確保できないため新補石材に交換



第846図 E北面基部E-789下石材の再加工(西から)  
下の石の石尻が高いため、一部削った



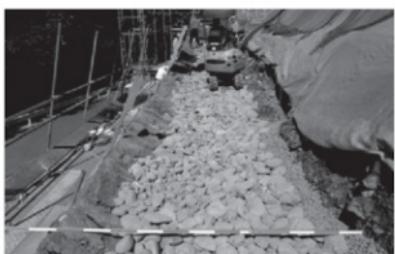
第847図 E北面基部E-789石積み(西から)  
旧石材より縦に長い新補石材に交換



第848図 E北面角石EF-7上段石積み(東から)  
崩落部の石積み状況



第849図 E北面角石EF-7上段石積み(東から)



第850図 E北面角石EF-5下段裏込め(南から)



第851図 E北面角石EF-5上段石積み(東から)



第852図 E北面角石EF-3上段石積み(東から)



第853図 E北面角石EF-3上段石積み(東から)



第854図 E北面角石EF-3上段石積み(東から)



第855図 E北面角石EF-1中段裏込め(南から)



第856図 E北面18段石積み(東から)



第857図 E北面13段石積み(東から)



第858図 E北面13段石積み(東から)



第859図 E北面13段裏込め(北から)



第860図 E北面8段石積み(東から)



第861図 E北面8段石積み(東から)  
自然石E-381をそのまま復旧



第862図 E北面谷落し積み部分(西から)



第863図 E北面3段裏込め(北から)



第864図 E北面E-281破損状況(東から)



第865図 E北面E-281交換後(東から)



第866図 E北面E-631・632・633破損状況(西から)



第867図 E北面E-631・632・633交換後(東から)

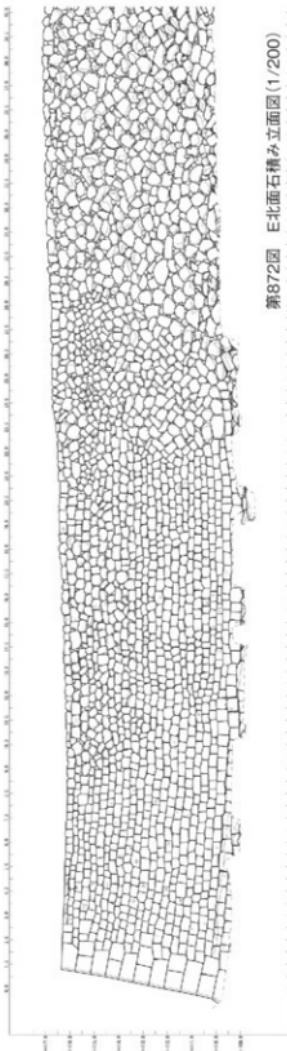


第868図 E北面E-631・632・633交換後(西から)



第869図 E北面E-631・632・633交換後(東から)

第870図 E北面E-286周辺の詰石(北から)  
割栗石を配置第871図 E北面崩落部石積みの検討  
被災前写真と見比べる



第872図 E北面石積み立面図(1/200)



第873図 E北面石積み立面オルソフォト



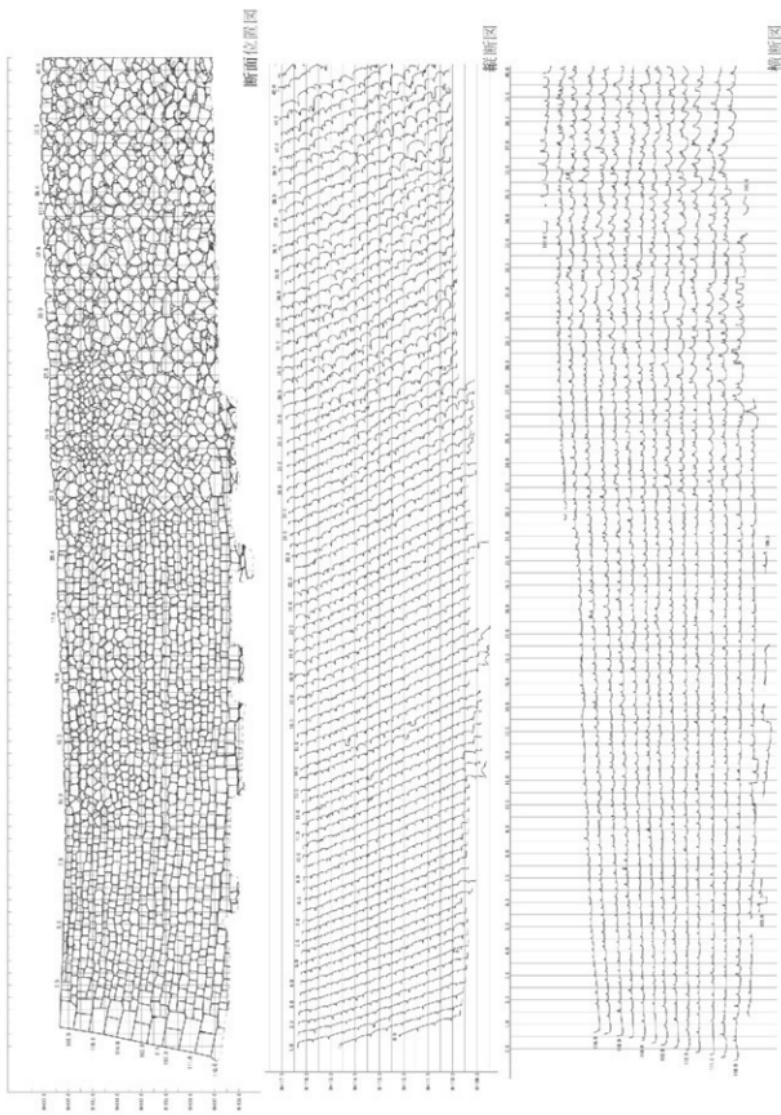
第874図 E北面石積み全景(南西から)



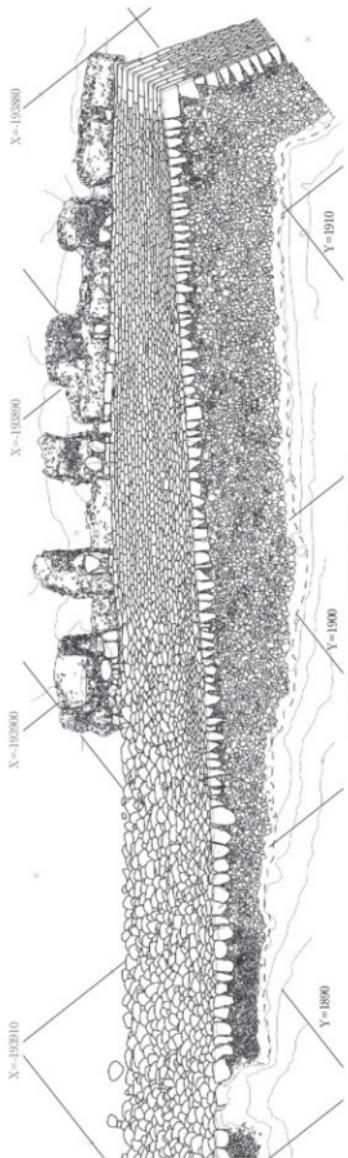
第875図 E北面石積み全景(南西から)



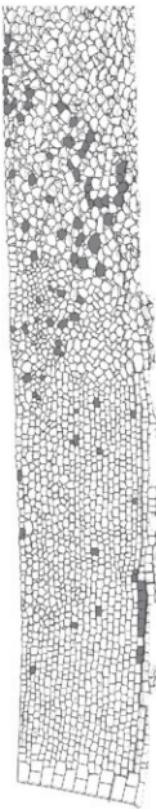
第876図 E北面石積み全景(北から)



第877図 E北面石積み断面図(1/200)



第879図 E北面石積み平面図オルソフォト



第880図 E北面新補石材の位置

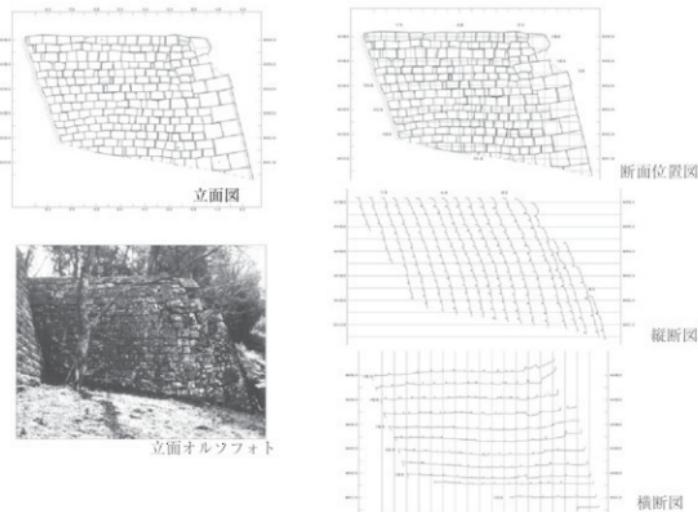


第881図 E面天端盛土状況(南から)



第882図 E面天端盛土状況(北から)

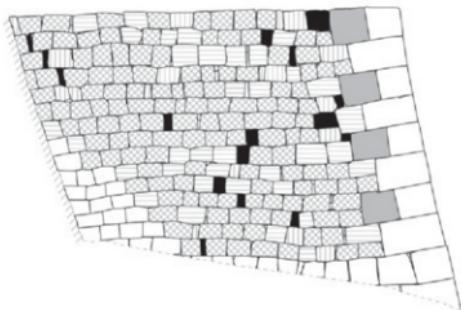
#### ④ F面の修復



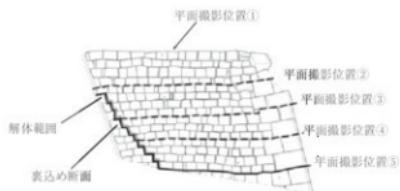
第883図 F面解体前立面図等(1/200)



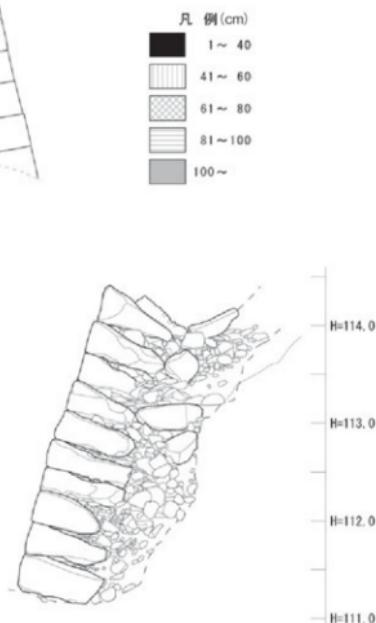
第884図 F面石材番号図



第885図 F面控え長分布図



第886図 F面解体範囲



第887図 F面裏込め断面図(1/50)



第888図 F面裏込め断面オルソフォト



第889図 F面裏込め断面(1)(西から)



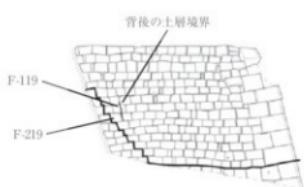
第890図 F面裏込め断面(2)(西から)



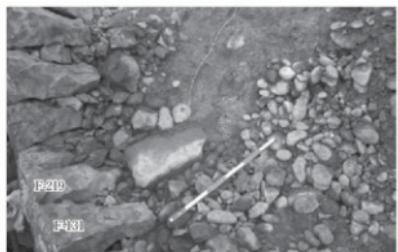
第891図 F面背後の土層(1)(北から)

第892図 F面背後の土層(2)(西から)  
F-119とF-217の間から西は隙間に玉石、東は木端石

第893図 F面背後の土層(3)(上が北)



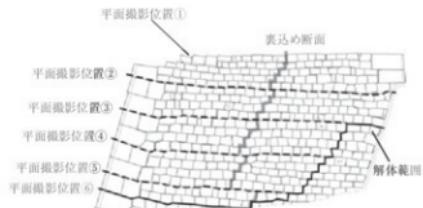
第894図 F面背後の土層境界

第895図 F面背後の土層(4)(北西から)  
F-219と131の間に境界

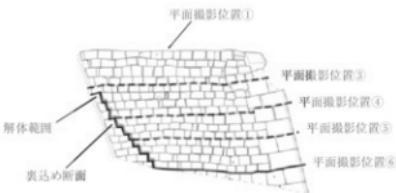
第896図 F面背後の土層(5)(北東から)



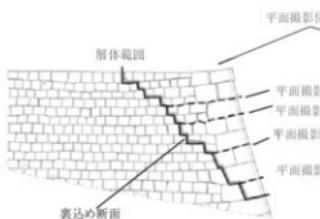
第897図 F面背後の土層(6)(上が北)



第898図 G面解体範囲



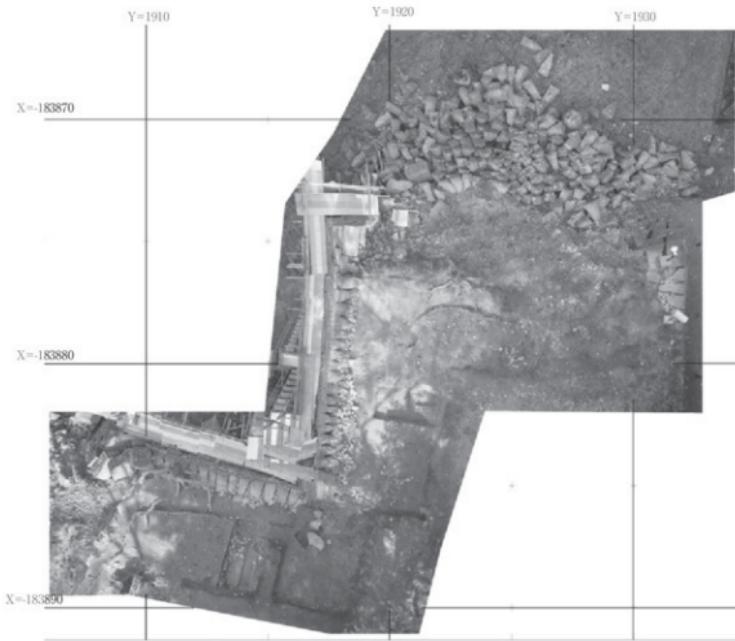
第899図 F面解体範囲



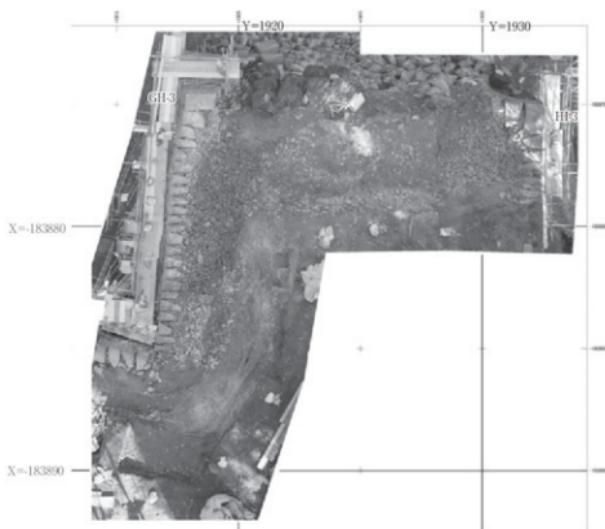
第900図 I面解体範囲



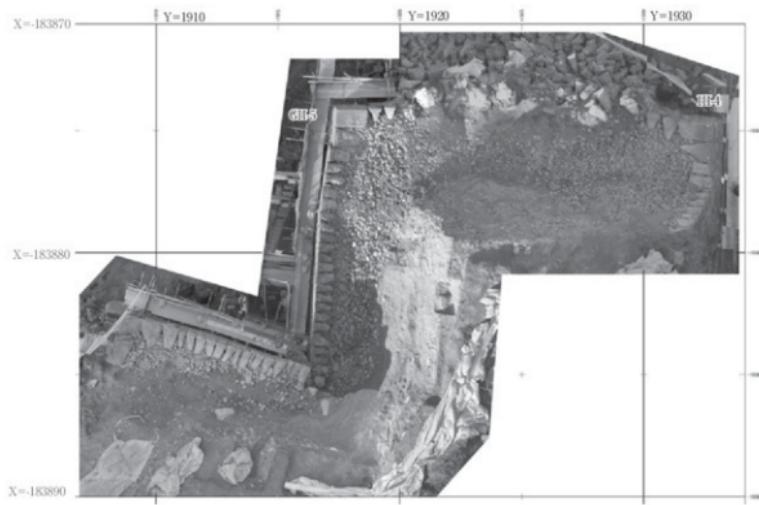
第901図 H面解体範囲



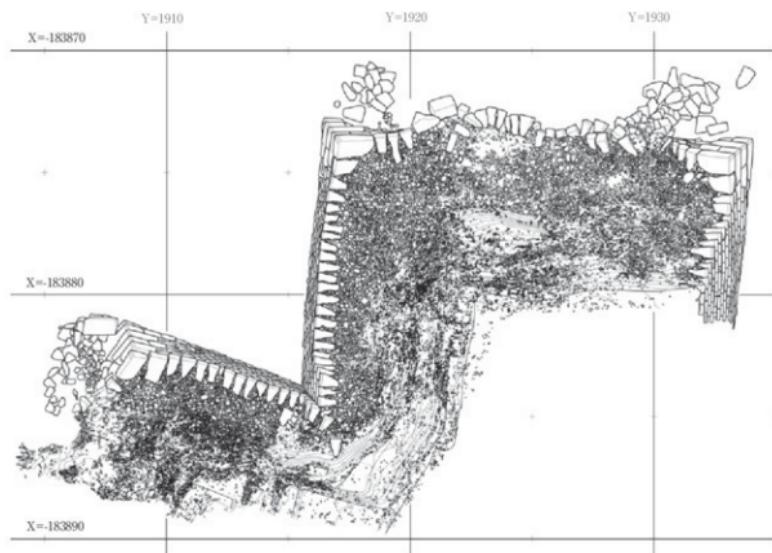
第902図 FGH面天端平面オルソフォト(1/200)



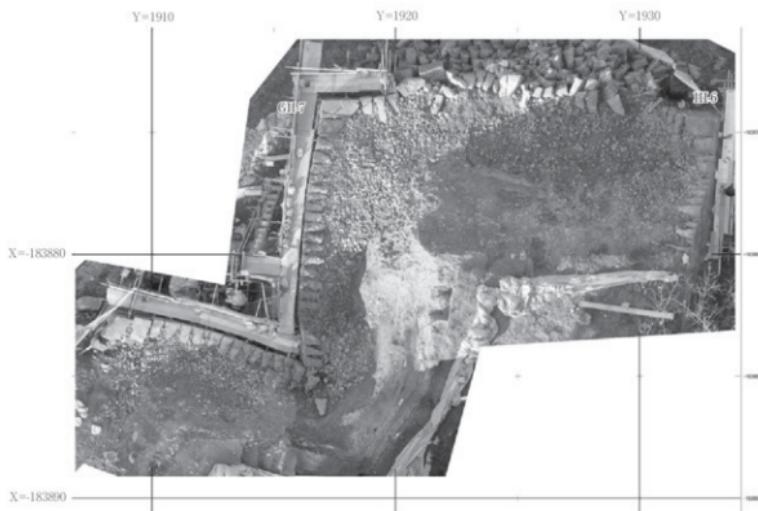
第903図 GHI面解体2回目平面オルソフォト(1/200)



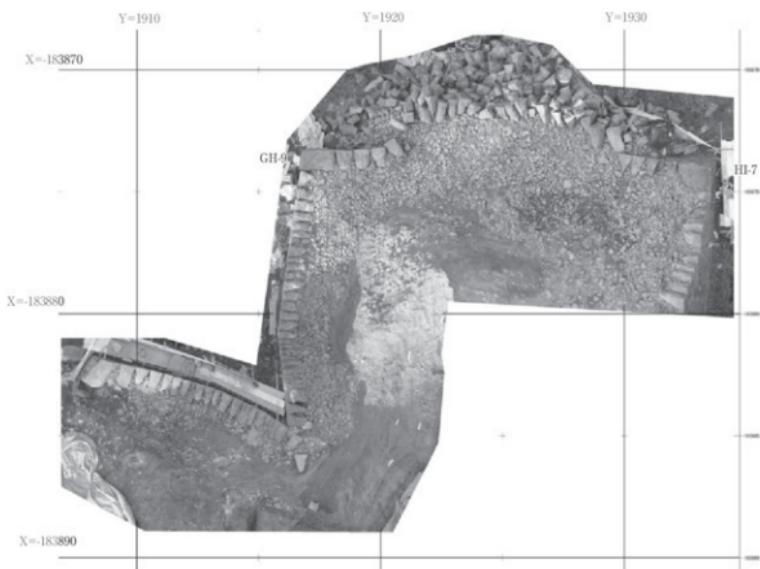
第904図 FGHI面解体3回目平面オルソフォト(1/200)



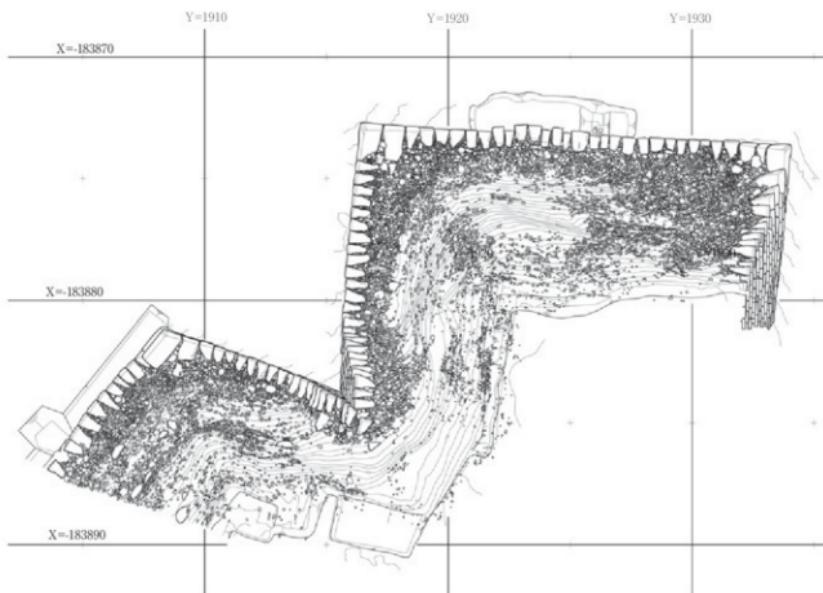
第905図 FGHI面解体4回目平面図(1/200)



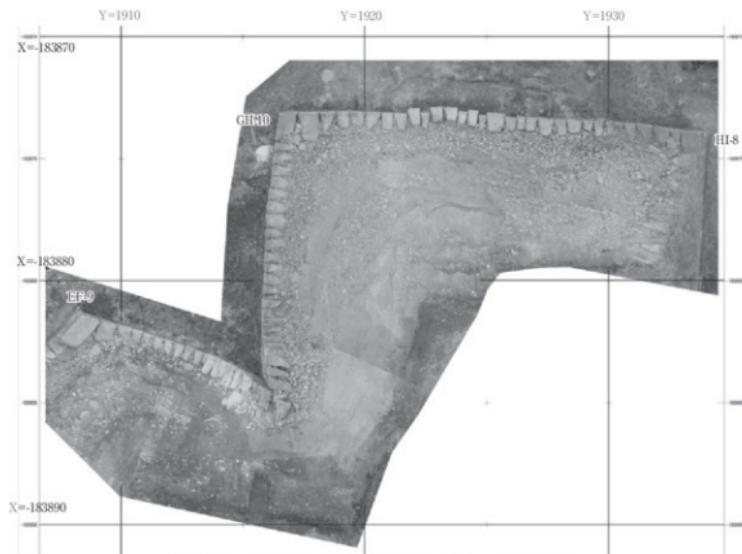
第906図 FGHI面解体4回目平面オルソフォト(1/200)



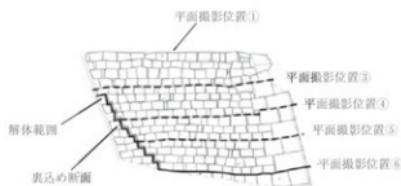
第907図 FGH面解体5回目平面オルソフォト(1/200)



第908図 FGH面解体6回目平面図(1/200)



第909図 FGHI面解体6回目平面オルソフォト(1/200)



第910図 F面解体範囲



第911図 F面解体前(北から)



第912図 F面解体完了(北から)



第913図 F面解体完了(北西から)



第914図 FG入角EF-1上段(南から)



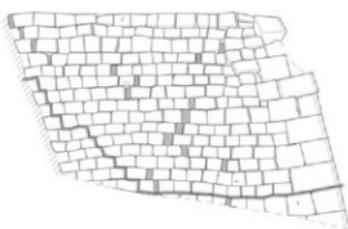
第915図 FG入角EF-1下段(南から)



第916図 FG入角EF-2上段の補強石(東から)



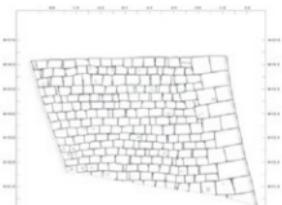
第917図 FG入角EF-3下段背後の捨石(西から)



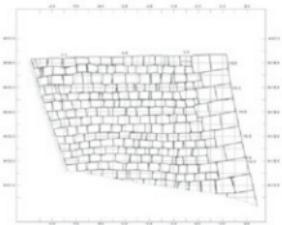
第918図 F面縦長の石材の分布



第919図 F面F-54(南から)  
縦長の石材



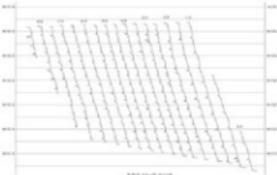
立面図



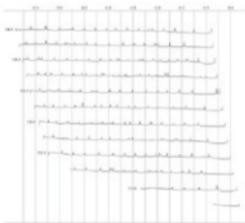
断面位置図



立面オルソフォト

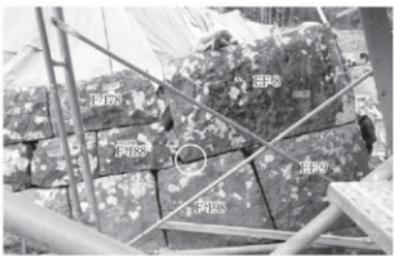


縦断図



横断図

第920図 F面石積み立面図等(1/200)



第921図 F面EF-8仮積み状況(北から)



第922図 EF-9・F-198上面の再加工(南から)

【問題点】

- ・○印で EF-8 と F-198 が当たらない
- ・角石と築石との間に隙間が開く

【原因】

EF 角部が沈下しているが、角石と角脇石の沈下量が異なっているのではないか

【対策】

- ・EF-8 の位置を写真左手にセットバック
- ・EF-9 と F-198 の上面の一部を再加工し、EF-8 の勾配を調整
- ・隙間には間詰め石を施工



第923図 EF-8据え付け後(北から)



第924図 EF-8セットバック(北から)  
2cm移動



第925図 EF角部の石積み(北から)



第926図 F面EF-7の段石積み(東から)



第927図 F面EF-3の段石積み(東から)



第928図 F面天端石積み(東から)



第929図 F面天端盛土(東から)



第930図 F面石積み完了(北から)



第931図 F面石積み完了(北から)  
天端付近



第932図 F面石積み完了(北から)



第933図 F面石積み完了(北から)



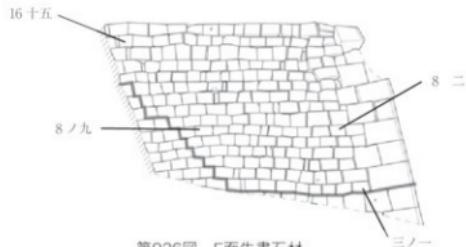
第934図 F面石積み完了(北西から)  
手前は道路造成時の擁壁



第935図 FG入角部石積み完了(北西から)

#### F面石材の朱書

- ・アラビア数字又は漢数字+漢数字・・・下からの段数と EF 角からの順番
- ・下面に書かれる例が多い。
- ・縦長の石材にも書かれる。



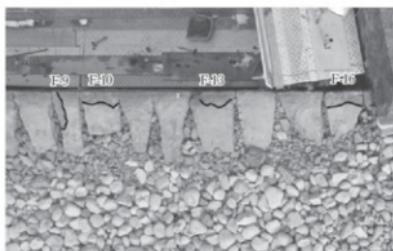
第936図 F面朱書石材



第937図 F面天端石の通り(西から)

#### F面天端石の再加工

一部の天端石の上面に再加工が確認された。過去の修理の際に行われたものとみられ、天端の高さを揃えるために加工した可能性が考えられる。



第938図 F面天端石の再加工(上が北)



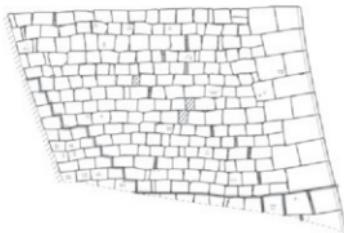
第939図 F面天端石の再加工(上が北)



第940図 F面天端石の再加工(上が北)

## F 面目地の開き

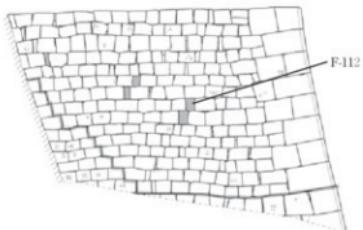
石積みを行う過程で各段で目地の開きが確認されたが解消されなかつたため、間詰め石や、新補石材への交換などで対応した。開き幅は3.5cmから9cmであり、平均5.7cmである。

第941図 F面 目地が開く箇所  
灰色:間詰め 斜線:石を交換

第942図 F面F-38・39間の開き



第943図 F面F-38・39間の間詰め



第944図 F面新補石材の箇所

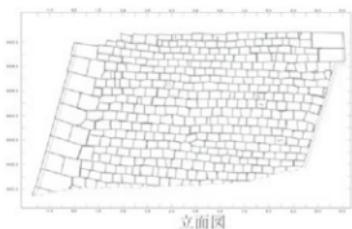


第945図 F面F-112交換前  
縦長石材の位置で目地が開くため、幅の広い石に交換



第946図 F面F-112交換後  
面に刻字「十八」のあるE-787を再利用

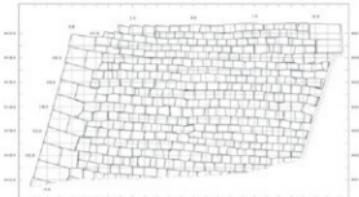
### ⑤ G面の修復



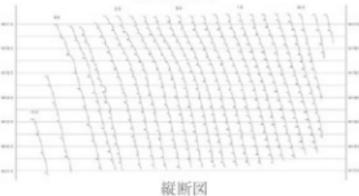
立面図



立面オルソフォト



断面位置図

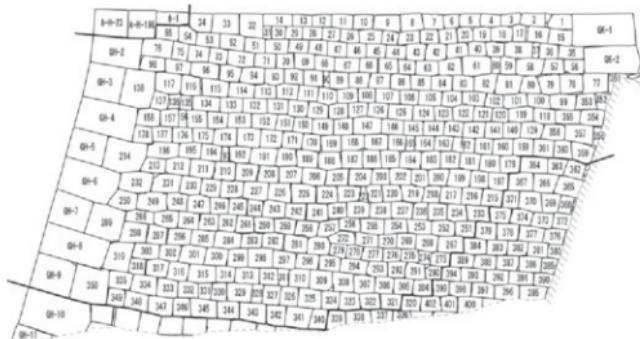


縦断図

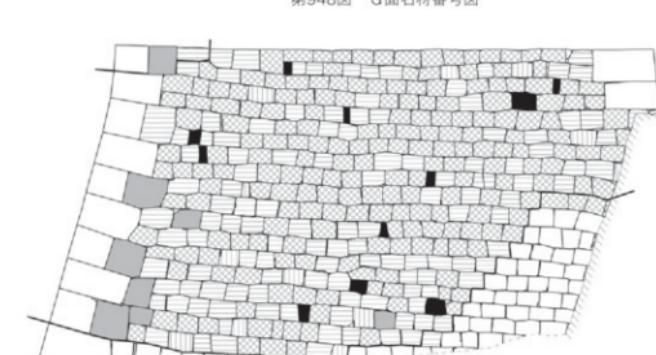


横断図

第947図 G面解体前立面図等(1/200)



第948図 G面石材番号図



凡例(cm)

1~40

41~80

81~100

100~



第950図 G面解体前(西から)



第951図 G面解体前(北西から)



第952図 G面裏込め断面図(1/50)



第953図 G面解体範囲



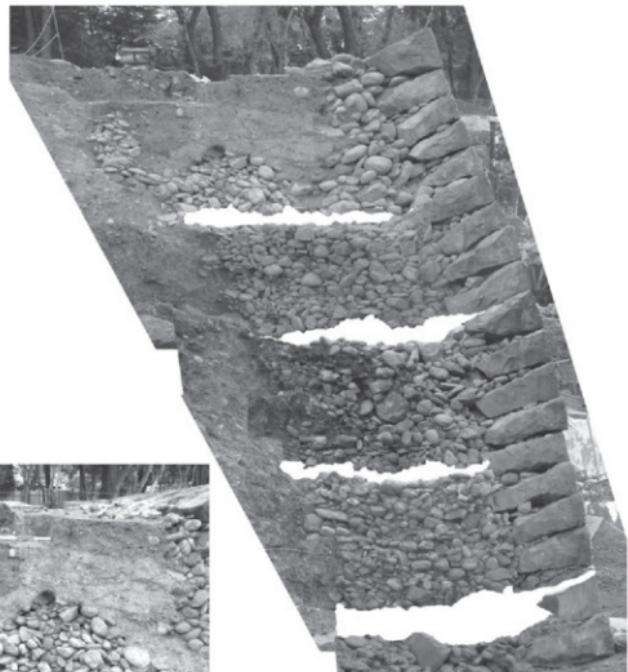
第954図 G面裏込め断面①(北から)



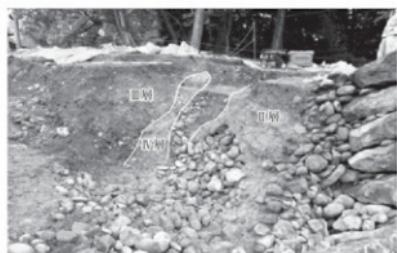
第955図 G面裏込め断面①(北から)



第956図 G面裏込み断面①(北から)



第957図 G面裏込み断面オルソフォト



第958図 G面裏込み断面①(北西から)



第959図 G面裏込み断面①(北から)



第960図 G面裏込め断面②(北から)



第961図 G面裏込め断面②(北から)



第962図 G面裏込め断面②(北から)  
詰石が抜けている



第963図 G面裏込め断面③(北から)



第964図 G面裏込め断面③(北西から)



第965図 G面裏込め断面③(北から)  
土の混入が多い部分



第966図 G面裏込め断面④(北から)



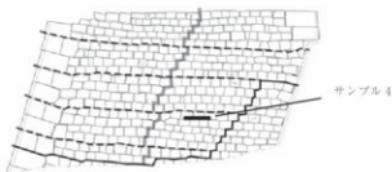
第967図 G面裏込め断面④(北西から)



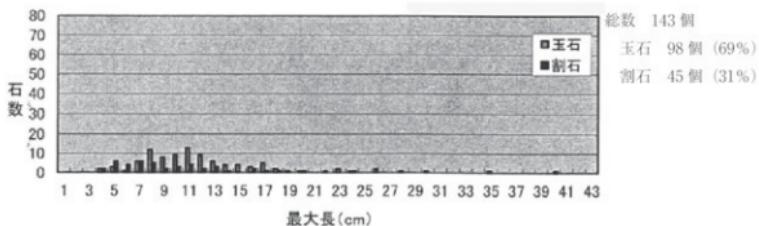
第968図 G面裏込み断面④(北から)  
詰石が抜けている



第969図 G面裏込み断面⑤(北から)



第970図 G面 裏込みサンプル位置



第971図 G面 裏込みサンプル4グラフ



第972図 G面 裏込みサンプル4



第973図 G面 裏込みサンプル計測作業

FG面背後の土層

石垣背後の掘削法面に、石垣構築に伴う盛土層および地山が確認された。



第974図 G面背後土層(西から)



第975図 G面背後土層(上が東)

- I層：表土
- II層：近代修復に伴う盛土（黄褐色粘土）
- III層～V層：近世の盛土
- VI層：城郭造成以前の旧表土
- VII層：自然堆積層（地山）



第976図 G面背後土層(南から)



第977図 G面背後土層(北東から)



第978図 G面背後土層(西から)  
VII層:地山



第979図 G面背後土層(北から)



第980図 G面解体前(西から)



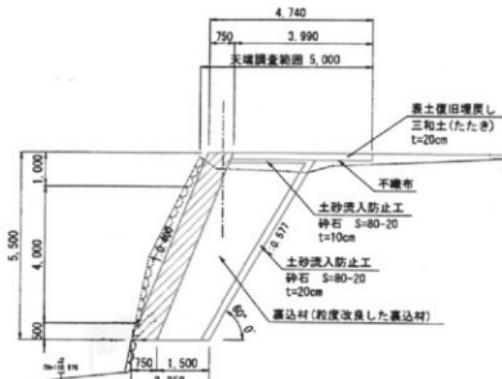
第981図 G面解体完了後(西から)



第982図 G面解体完了後(西から)



第983図 G面解体作業  
裏込めの清掃



第984図 G面石積み工標準断面図



第985図 G面角石GH-9仮積み(西から)  
目地が開くため、角石GH-9を1.5cm南に寄せた



第986図 G面角石GH-9のセットバック(西から)



第987図 G面角石GH-9のセットバック(西から)  
1.5cm移動



第988図 G面角石GH-9・10のセットバック(西から)  
GH-10は未解体だが、セットバックされている



第989図 G面角石GH-10のセットバック(北から)  
3.5cm移動



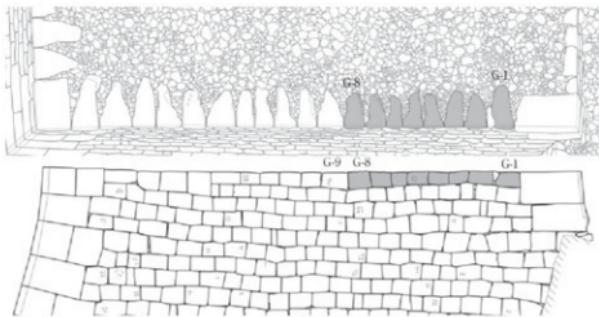
第990図 G面角石GH-3の段石積み(南から)



第991図 G面天端裏込め(南から)



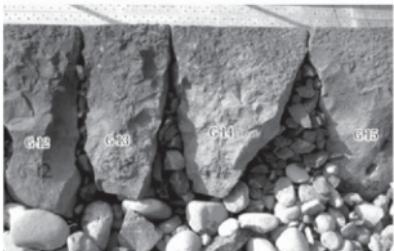
第992図 G面天端石(南から)



第993図 G面天端石の上面加工の違い  
灰色の石材G-1～G-8は、上面にノミ加工がない



第994図 G面天端石の上面加工の違い  
G-7・8は、上面にノミ加工による平坦面がなくハツリがみられる



第995図 G面天端石の上面加工の違い  
G-9以北は、上面にノミ加工により平坦にされている



第996図 G面天端石G-9正面  
上縁が直線



第997図 G面天端石G-8正面  
上縁が波打つ



第998図 G面天端石の上面加工の違い(北から)



第999図 G面天端盛土完了(南から)



第1000図 G面石積み完了(西から)



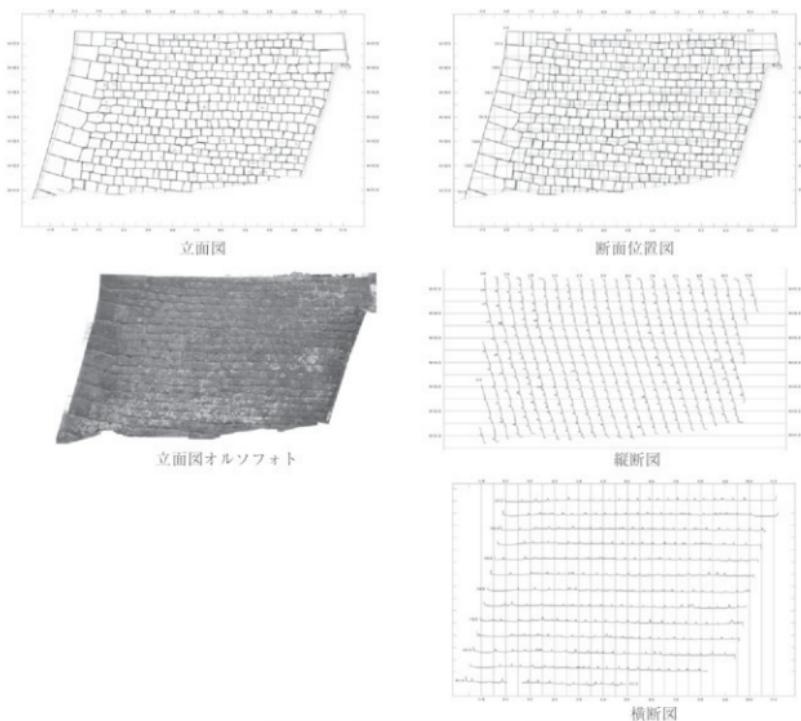
第1001図 G・H面石積み完了(北西から)



第1002図 G面石積み完了(西から)



第1003図 G面石積み完了(南西から)



第1004図 G面石積み立面図等(1/200)

## G面敷金使用部分の石積み

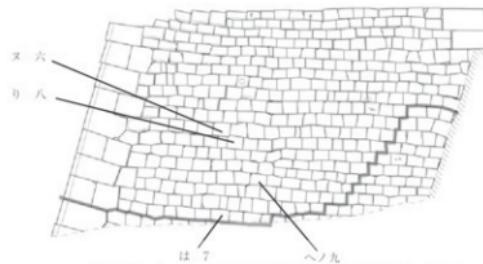
敷金が使用されていた部分は、孕み出しを解消するように勾配を調整して積み直したところ、敷金を使用しなくとも築石同士の接点が確保された。

しかし、隙間が解消できない部分については詰石で対応した。

第1005図 G-188解体前  
上下の目地に敷金第1006図 G-188石積み  
目地の隙間が解消された

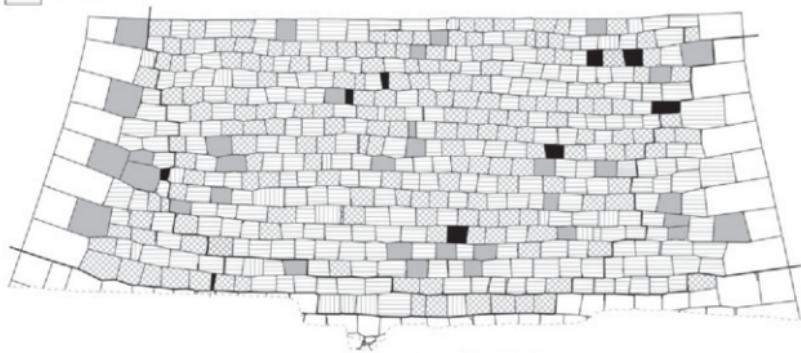
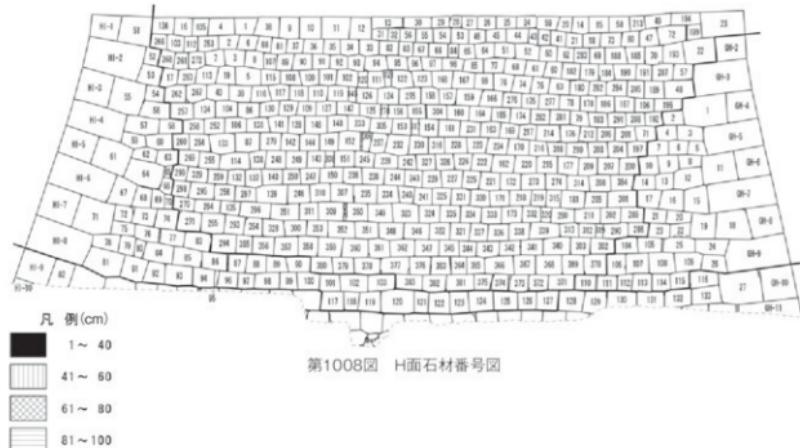
## G面石材の朱書

- ・イロハ+漢数字又はアラビア数字・・・下からの段数とGH角からの順番
- ・石材の下面に書かれる例が多い。

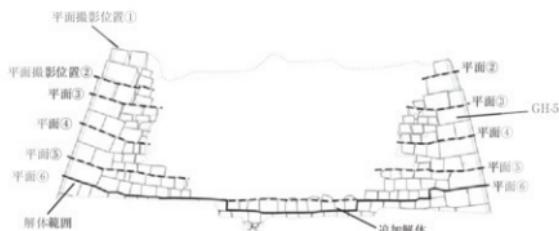


第1007図 G面の朱書き石材(解体時に確認したもの)

## ⑤H面の修復



第1009図 H面控え長分布図



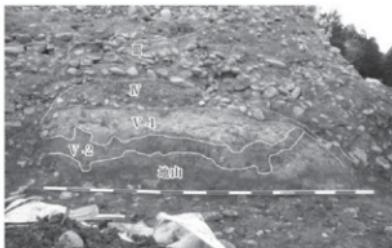
第1010図 H面解体範囲と平面記録位置



第1011図 H面背後の土層(GH-5の段)(西から)



第1012図 H面背後の土層(GH-5の段)(西から)



第1013図 H面背後の土層(GH-5の段)(北から)



第1014図 H面解体平面6回目後(北から)



第1015図 H面解体平面6回目後(北から)



第1016図 H面解体平面6回目(上が北)



第1017図 H面追加解体前(北東から)



第1018図 H面追加解体後(北東から)



第1019図 H面追加解体前(東から)



第1020図 H面追加解体後(東から)



第1021図 H面追加解体前(北から)



第1022図 H面追加解体後(北から)

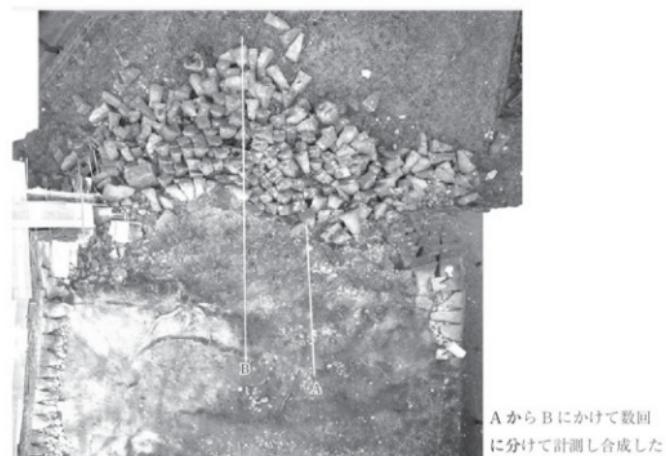


第1023図 H面追加解体前(東から)

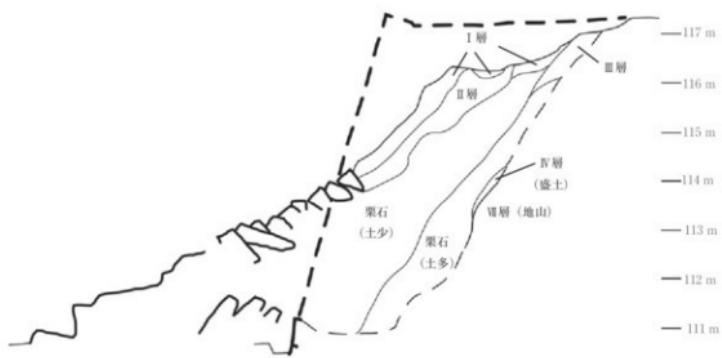


第1024図 H面追加解体後(東から)  
築石背後に押石

H面崩落部



第1025図 H面崩落部断面計測位置(上が北)



第1026図 H面崩落部断面図(1/100)



第1027図 H面崩落部合成写真



第1028図 H面崩落部断面①(西から)



第1029図 H面崩落部断面①(北西から)



第1030図 H面崩落部断面②(西から)



第1031図 H面崩落部断面②(西から)



第1032図 H面崩落部断面②(北西から)



第1033図 H面崩落部断面③(西から)



第1034図 H面崩落部断面③(北西から)



第1035図 H面崩落部断面④(西から)



第1036図 H面崩落部断面④(西から)



第1037図 H面崩落部断面④(西から)



第1038図 H面崩落部断面⑤(西から)



第1039図 H面崩落部断面⑤(西から)



第1040図 H面崩落部断面⑥(西から)



第1041図 H面崩落状況(北から)



第1042図 H面崩落状況(北から)



第1043図 H面崩落状況(東から)



第1044図 H面崩落石材(南から)



第1045図 H面崩落石材(南から)



第1046図 H面崩落石材(南西から)

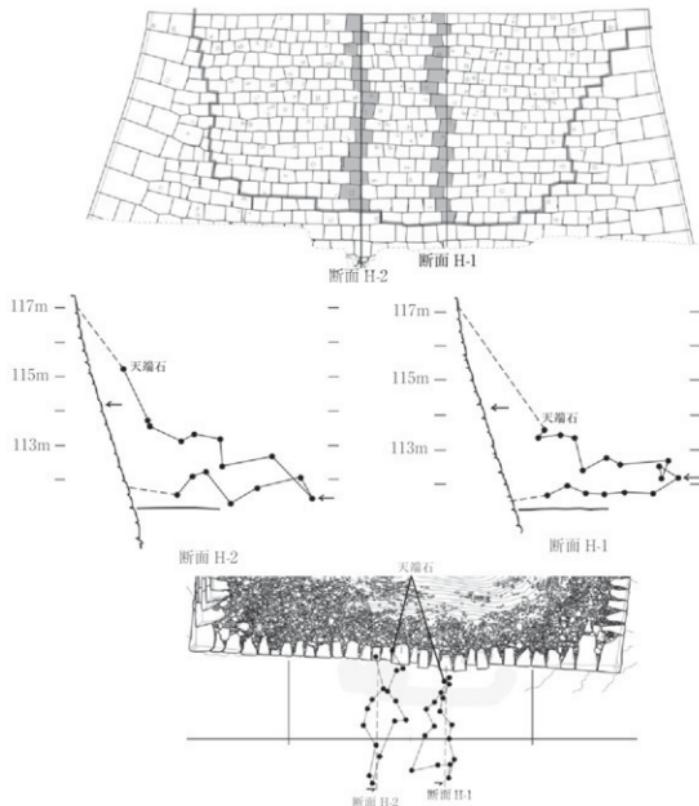


第1047図 H面崩落石材(北東から)

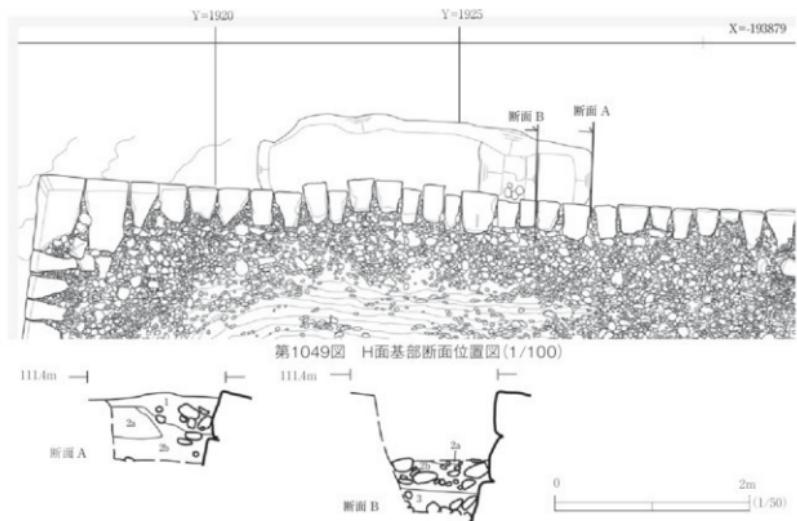
## H面崩落石材の挙動

石積み後、崩落石の位置から崩落時の挙動を再現した。

平面的には、隣同士の位置関係は乱れることなく、前面に崩落している。断面で見ると、中段よりやや下の石材が一番遠くまで飛び出している。崩落石の断面位置は、「く」字状になっている。



第1048図 H面崩落石材の挙動



第1050図 H面基部断面図



第1051図 H面基部トレンチ(北西から)



第1052図 H面基部前面の土層(西から)



第1053図 H面基部前面 断面A(西から)



第1054図 H面基部前面 断面B(西から)



第1055図 H面基部の石積み(北から)  
切石の下に野面(?)石

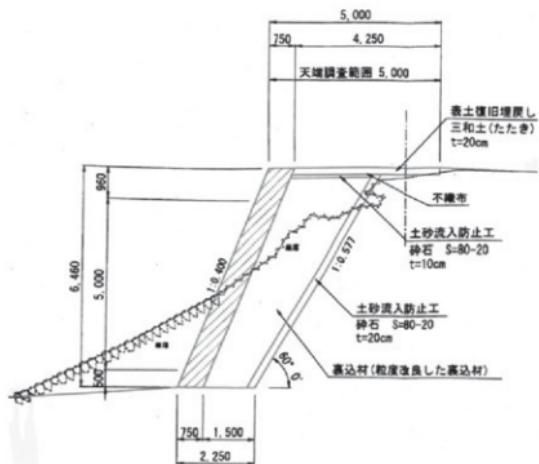


第1056図 H面基部の石積み下部(北から)  
自然面にハツリ痕

#### H面の石積み

崩落石材の位置は、被災前の写真や古写真を参考に特定した。写真に写っていない部分は、仮積みを繰り返して石材を特定した。H面の築石は加工精度が高いため、周りの石材との接点の関係から石材が特定できた。

修復勾配は、現況測量図から隅角部の勾配を読み取り、現地の丁張りで微調整を行い、1:0.31 ( $73^\circ$ ) で積み上げた。角石を積み上げていった結果、上の3石で勾配を起こしている事が分かったため、築石も途中から勾配を起こしている。



第1057図 H面石積み工標準断面図



第1058図 H面被災前(西から)



第1059図 H面被災前(北から)



第1060図 H面古写真  
絵葉書(仙台市博物館所蔵)



第1061図 H面GH-10 の段石積み(南から)  
写っている角石はGH-9



第1062図 H面GH-10 の段裏込め施工状況(西から)



第1063図 H面GH-9の段石積み(南から)



第1064図 H面GH-7の段石積み(南から)



第1065図 H面GH-3の段石積み(南東から)



第1066図 H面天端裏込め施工状況(西から)



第1067図 H面天端石(東から)



第1068図 H面小さい石材の補強(a-H-18 南から)  
控えの短い石だが、補強石を置いて元に戻した



第1069図 H面天端仕上げ工(西から)  
碎石の敷設



第1070図 H面天端仕上げ工(南から)  
不織布の敷設と盛土(三和土)



第1071図 H面天端仕上げ完了(南から)



第1072図 H面天端仕上げ完了(西から)



第1073図 H面石積み完了(北から)



第1074図 H面石積み完了(北から)  
中央部



第1075図 H面石積み完了(北から)  
中央部



第1076図 H面石積み完了(北西から)



第1077図 H面石積み完了(北西から)



第1078図 H面石積み完了(北東から)



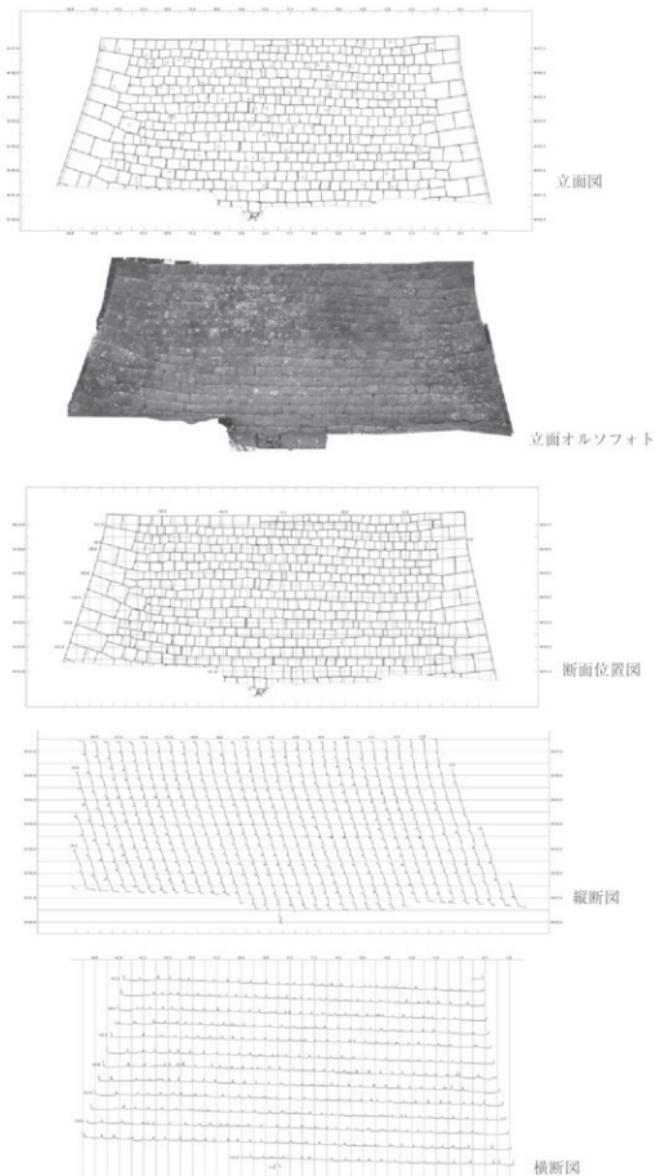
第1079図 H面石積み完了(北東から)



第1080図 H面石積み作業状況



第1081図 H面石積み作業状況



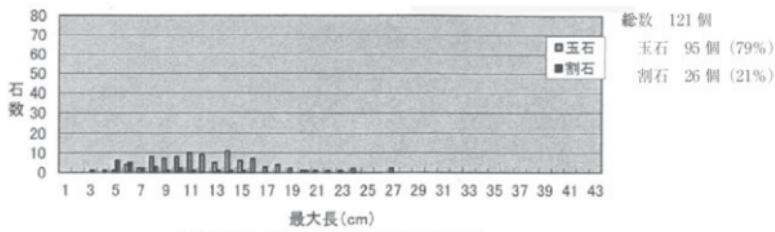
第1082図 H面石積み後立面図等(1/200)

## 栗石の特徴

1箇所でサンプリングを行った。玉石が主体であり、最大長8～16cmが多い。  
HI角部の角石HI-8付近では、目視での観察であるが木端石が多く混じっている。



第1083図 H面 裏込めサンプル位置

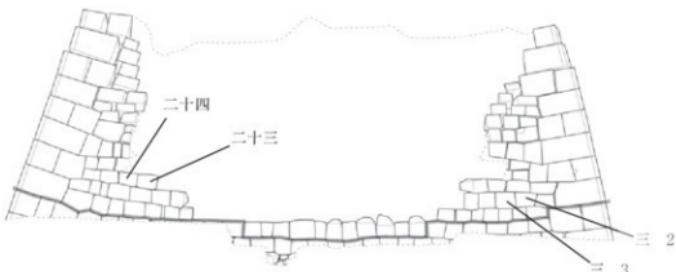


第1084図 H面 裏込めサンプル5グラフ

## 石材の朱書き

朱書きのある石材が確認されている。

- ・漢数字+漢数字又はアラビア数字の組み合わせ・・・下からの段数と GH 角からの順番
- ・下面に書かれる例が多い。



第1085図 H面朱書き石材(解体時に確認したもの)

## H面の新補石材への交換

角石 HI-5、角脇石 H-61、茱石 H-64 が大きく西に傾斜しているため荷重が H-68・69 などの石材にかかるが、隙間が開いており、荷重を受け止めるには不安定と考えられる。そのため、石同士の接点が確保できるよう大きめの石材に交換した。ほかにも、石材が小さく石同士の接点が確保できない場所について、石材を交換した。

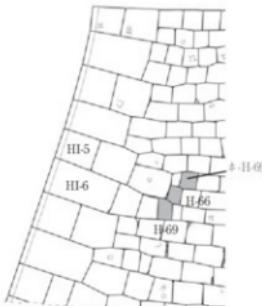
- H-69 上の石との間に隙間が開くことから、旧石材より縦に長い石材に交換した。
- H-66 隣の石との間に隙間が開くことから、旧石材より幅の広い長い石材に交換した。
- 本-H-299 隣の石との間に隙間が開くことから、旧石材より幅の広い石材に交換した。
- 本-H-317 縦長石材だが、隣の石との間に隙間が開くため、旧石材より幅の広い石材に交換した。



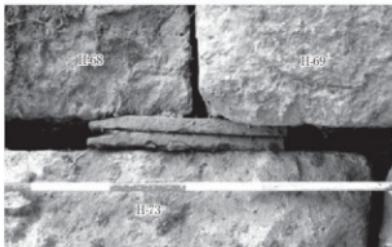
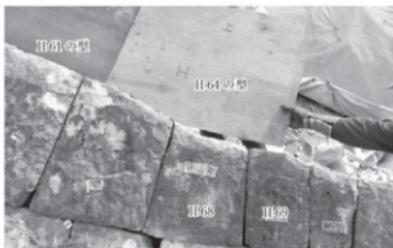
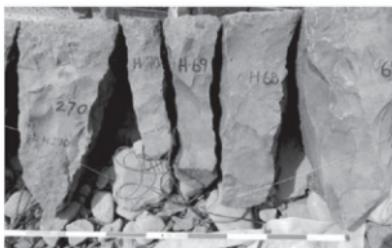
第1086図 H面解体前立面図



第1087図 H面解体前(北から)



第1088図 H面石積み立面図

第1089図 H-68・69解体前  
石材の下に隙間があり敷金を挟み込んで調整している第1090図 H-68・69解体前敷金  
板状の敷金を2枚重ねている第1091図 H-68・69仮積み(北から)  
上のH-64の形状を板に写し仮置き→隙間が開く

第1092図 H-68・69仮積み(南から)



第1093図 H-66仮積み(北から)  
隣のH-64の形状を板に写し仮置き→隙間が開く



第1094図 本-H-299仮積み(北から)  
隣の石との間に隙間が開く



第1095図 本-H-299仮積み(南から)  
控えの短い石材



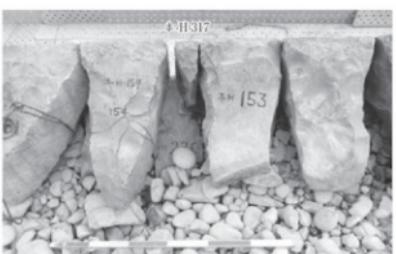
第1096図 石材交換後(北から)



第1097図 石積み後(北から)



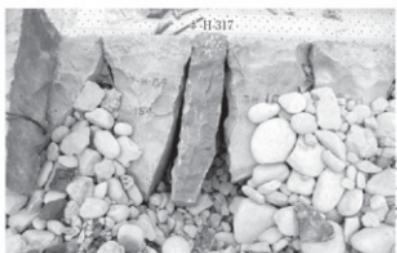
第1098図 本-H-317仮積み(北から)  
隣の石との間が開く



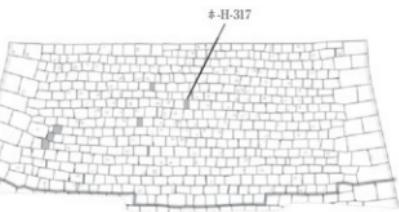
第1099図 本-H-317仮積み(南から)  
隣の石との間が開く



第1100図 本-H-317交換後(北から)  
旧石材より面の幅の広い石材に交換



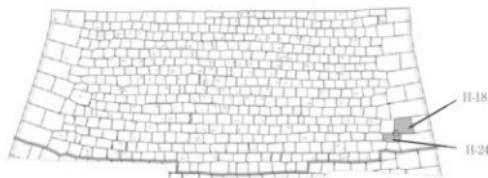
第1101図 H-H-317交換後(南から)  
旧石材より控えの長い石に交換



第1102図 H面新補石材の位置

H面の新規敷金

H-18とH-24の間に非常に狭い空隙が生じたため、新たに敷金を1個敷設した。



第1103図 H面新規敷金の位置

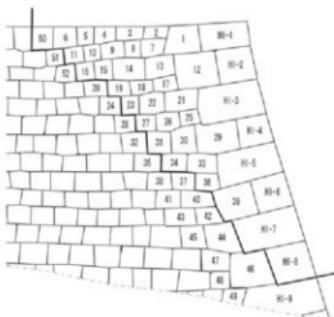


第1104図 H面新規敷金の位置  
H-18とH-24の間

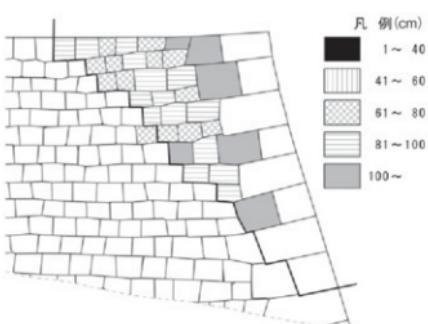


第1105図 H面新規敷金

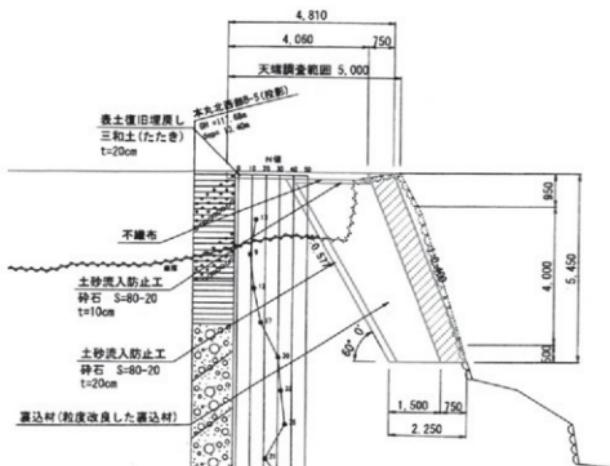
⑥ I面の修復



第1106図 I面石材番号図(I-1～)



第1107図 I面控え長分布図



第1108図 I面石積み工標準断面図



第1109図 I面解体完了(東から)



第1110図 I面石積み完了(東から)



第1111図 I面解体解体前(東から)



第1112図 I面解体完了(東から)



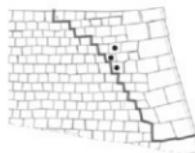
第1113図 I面石積み完了(東から)



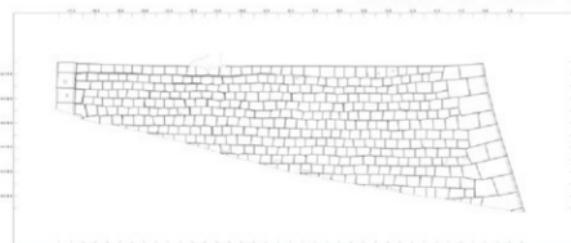
第1114図 H・I面石積み完了(東から)

## 近現代の痕跡

- 角石4段目より上で、築石にコンクリートが付着している。
- 角石3段目の裏込め中にレンガが混じっている。



第1115図 I面 コンクリート付着石材の位置(●)

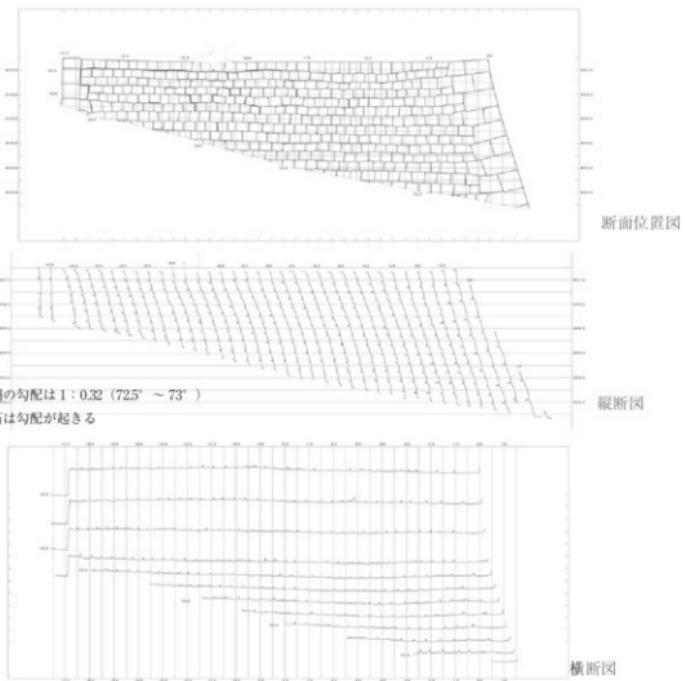


石積み立面図



立面オルソフォト

第1116図 I面石積み立面図等(1/200)



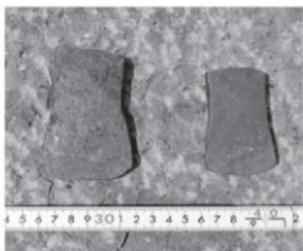
第1117図 I面石積み立面図等(1/200)

#### 新規敷金の設置

I-12 の下で下の石との間にわずかな隙間があり接点が不十分なので、新たに敷金を設置した。



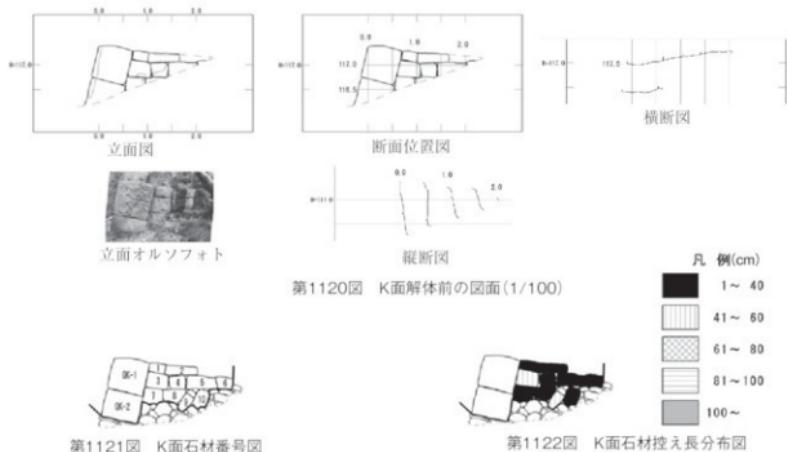
第1118図 I面I-12下の敷金の位置(東から)



第1119図 新たに設置した敷金

## ⑦K面の修復

○ K-7～10下は大きめの玉石を配置している。積み直しの際は、元の玉石は使用せず、栗石中の大きめの石を選択して使用した。



第1123図 K面解体前(南から)



第1124図 K面解体前(南西から)



第1125図 K面解体前(西から)



第1126図 K面解体前(南から)



第1127図 K面解体前(西から)



第1128図 K面解体前(南から)  
F面との接点



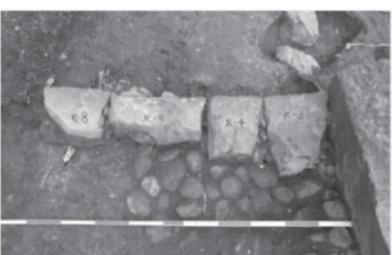
第1129図 K面解体前(南から)



第1130図 K面解体前(南西から)



第1131図 K面解体前(北から)  
天端石と裏込め



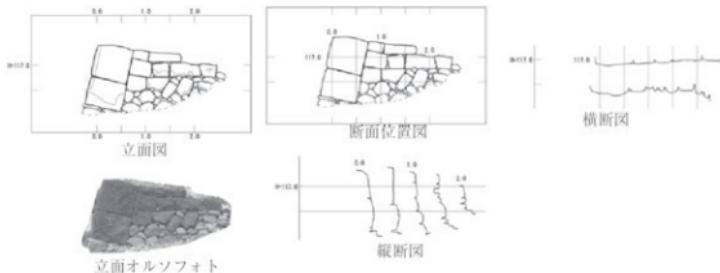
第1132図 K面解体状況(北から)  
2段目の平面



第1133図 K面解体状況(北から)  
角石GK-2下の詰石



第1134図 K面解体状況(南から)  
棊石下の玉石配置状況



第1135図 K面石積み図面(1/100)



第1136図 K面石積み(南から)

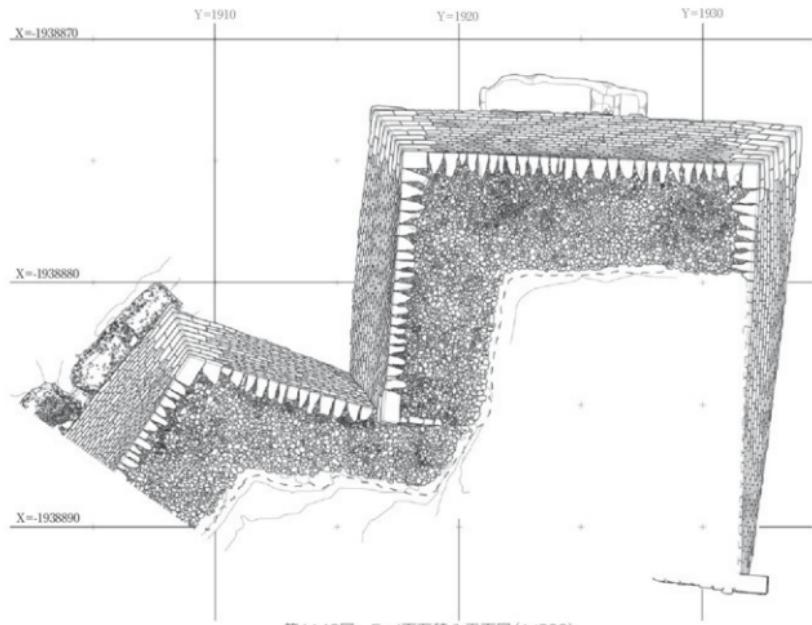


第1137図 K面石積み(南西から)

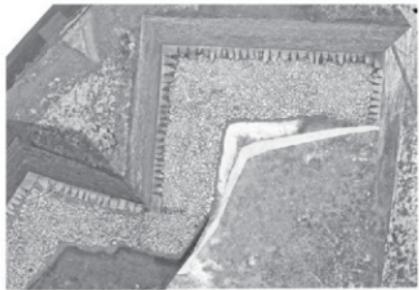


第1138図 K面石積み(西から)

第1139図 K面石積み(上が南)  
天端石の平面第1140図 K面石積み(南から)  
盛土後第1141図 K面石積み(南西から)  
盛土後



第1142図 F～I面石積み平面図(1/200)

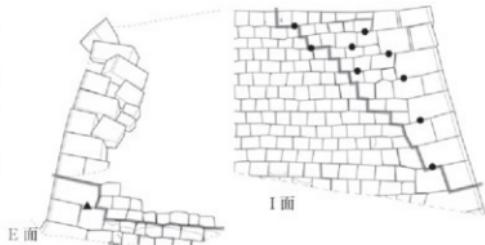


第1143図 F～I面石積み平面オルソフォト

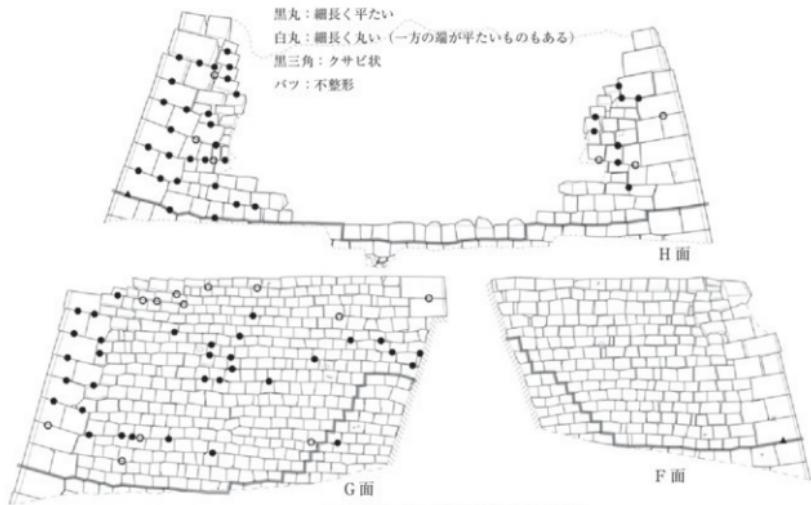
## 第12節 E～I面の敷金

E～I面で敷金が検出されている。特にG、H、I面で検出される。形状で最も多いものは、細長い板状の金属で、次に棒状（一方の端が平たいものもある）のもので、石材間の面付近に置かれる例が多い。

厚手のクサビ状のものも、EF角部とHI角部で1点ずつ検出される。



第1144図 E～I面の敷金出土位置(1)



第1145図 E～I面の敷金出土位置(2)



第1146図 G面G-118上の敷金

第1147図 G面G-118上の敷金  
控え方向に直交して置く第1148図 G面G-144下の敷金  
控え方向と平行に置く第1149図 G面G-188・189下の敷金  
控え方向と直交に置く



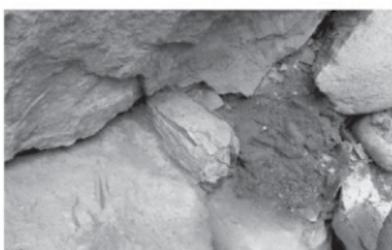
第1150図 H面HI-3、H-55上の敷金

第1151図 G-29上の敷金  
棒状で一方の端が平ら第1152図 G-118上の敷金  
長方形で一方の端が薄い

第1153図 H面HI-9上の敷金

第1154図 H面HI-9上の敷金  
クサビ状

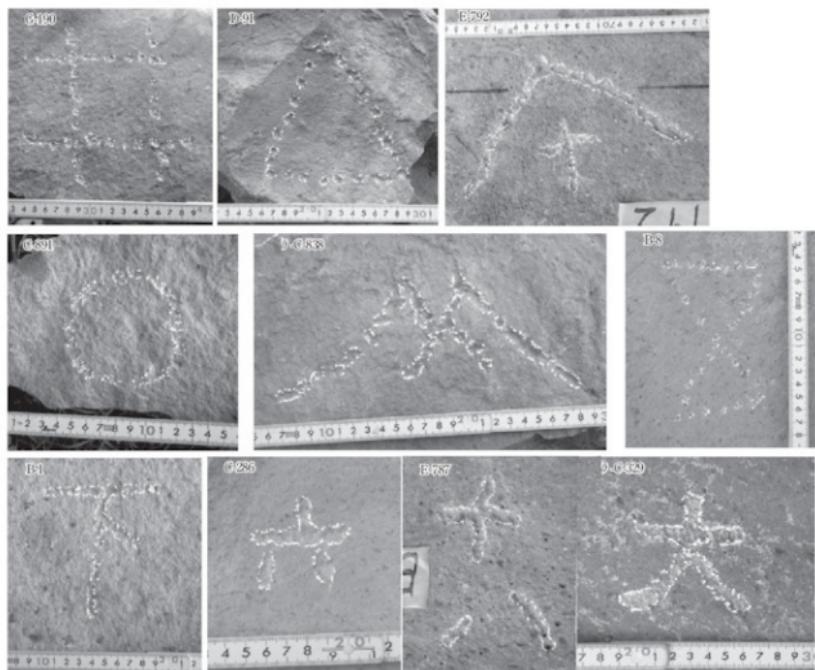
第1155図 E面EF-9下の敷金

第1156図 E面EF-9下の敷金  
クサビ状

第8表 刻印集計表

#	#	△	△	+	○	○	ℳ	ℳ	ℳ	ℳ	今	⑩	他	計
B面	1										1	1		3
C面	29	8	12	3	10	14	4	5	1	4	1	48	139	
D面	3	2	2		1	1	1					2	12	
E面	11	7	9	5	8	3	5	2	4	2		28	84	
F面	9	6	6	1	3			1			1	6	33	
G面	21	3	6	1	10	7	1	4			1	3	18	75
H面	48	16	15	3	12	4	10		2	1	3	29	143	
I面		2		1	1						1	5		
K面											2	2		
CD角石		1										1		
EF角石	1											1		
GH角石	1											1		
HI角石	2											2		
計	126	41	52	15	44	30	11	23	1	11	7	61	134	501

刻字の種類  
(文字) 元文・寛・下・上か・ホ・今  
(数字) 一・三・六・七・十一・十六・  
十八・廿・六十一



第1157図 刻印の写真

第9表 繕石(切石)の矢穴間口幅集計表

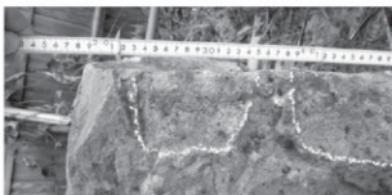
開口幅	B面	C面	D面	E面	F面	G面	H面	I面	K面	計
30 ~ 34		1							1	2
35 ~ 39					3	1				4
40 ~ 44			6		19		2	4		31
45 ~ 49			7		17	1		3		28
50 ~ 54		42	1	51	18	18	10	2	1	143
55 ~ 59		23	7	41	9	9	27			116
60 ~ 64	1	91	9	81	22	47	39	3	1	294
65 ~ 69	1	54	6	36	11	12	26			146
70 ~ 74	3	60	7	35	7	19	24	1		156
75 ~ 79		14		9	4	3	6			36
80 ~ 84		19	1	15	1	3	8			47
85 ~ 89		6	2	9	1					18
90 ~ 94		7		7	1	1				16
95 ~ 99		3		2	1	1				7
100 ~ 104		4	1	6	1		1			13
105 ~ 109			2							2
110 ~ 114	1				3	1			5	
115 ~ 119					1					1
120 ~ 124				1						1
125 ~ 129										
130 ~ 134										
135 ~ 139										
140 ~ 144										
145 ~ 149										
150 ~ 154										
155 ~ 159										
160 ~ 164		1								1
165 ~ 169										

第10表 繯石(割石)の矢穴間口幅集計表

開口幅	D面	D面未解体部	E面	計
50 ~ 54				
55 ~ 59				1
60 ~ 64				
65 ~ 69			1	1
70 ~ 74	1			1
75 ~ 79				
80 ~ 84				
85 ~ 89				
90 ~ 94	1			1
95 ~ 99				
100 ~ 104			1	2
105 ~ 109			2	3
110 ~ 114	3		8	11
115 ~ 119	2		1	2
120 ~ 124			2	2
125 ~ 129			2	2
130 ~ 134	1		5	6
135 ~ 139			1	1
140 ~ 144			1	1
145 ~ 149				
150 ~ 154				
155 ~ 159				
160 ~ 164				
165 ~ 169				

第11表 角石の矢穴間口幅集計表

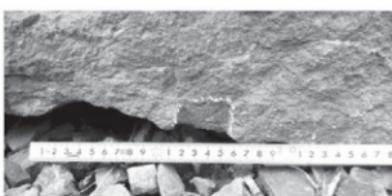
開口幅	BC角石	CD角石	EF角石	FG角石	GH角石	GK角石	HI角石	計
50～54								4
55～59		1	2	1				4
60～64	1	1		1	1	1	1	6
65～69		1	1			2	1	5
70～74				1	1		2	4
75～79							1	1
80～84	1		1					2
85～89								
90～94								



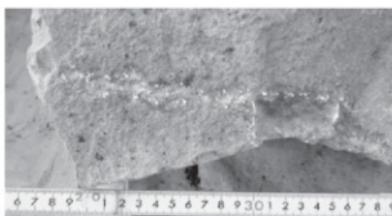
第1158図 E-619(割石)矢穴 [大]



第1159図 G-155(切石)矢穴 [中]



第1160図 E-204矢穴 [小]



第1161図 E-792矢穴と分割線

第12表 解体石材数集計表

面	石材数	小計	
		1	2
B面	22	残存部	2813
C面	925		
D面	458		
E中・南面	147		
E北面	563		
F面	206		
G面	357		
H面	102		
I面	33		
K面	10		
BC角	5	崩落部	2847
CD角	6		
EF角	5		
GH角	8		
HI角	8		
GK角	2		34
C面崩落部	951		2449
D面崩落部	4		
E面崩落部	1110		
H面崩落部	384		
CD角	3		7
EF角	3		
GH角	1		
合計			5303

第13表 石積み面積集計表

面	石積み面積 (m <sup>2</sup> )
B面	7.1
C面	2545
D面	921
E面	296
F面	37.8
G面	629
H面	1028
I面	148
K面	23
合計	8703

第14表 交換石材数集計表

面	交換石材数	集石の数	交換割合	購入石H
C面	34	1876	18%	0
D面	45	462	97%	34
E中・南面	35	147	238%	32
E北面	85	1663	51%	78
F面	5	206	24%	0
G面	1	357	0.3%	0
H面	6	102	59%	0
計	211	4813	44%	144

## 第13節 出土遺物

遺物は、各調査段階で瓦や陶磁器、金属製品などが出土し、そのうちの413点を図示した。遺物の大半は瓦であり、特に石垣背面から大量の瓦が出土した。また、陶磁器についても石垣背面の盛土から出土したものが多い。

### 第1項 陶磁器

本丸北西石垣では、陶磁器が総点数で270点、土師質土器が146点出土した。

出土傾向について見ていくと、陶磁器では磁器が陶器よりもおよそ2倍出土し、表土を除くとⅢ層からが最も多く、次いでⅡ層や裏込めからの出土が多い。出土磁器の年代については、16世紀末～17世紀前葉の青花がⅢ層から多く出土しているが、他の層位でも青花の出土が多い傾向が見られる。陶器については、裏込めからの出土が最も多く、次いでⅡ層やⅢ層からの出土が多い。また、Ⅳ層からの陶器の出土はなかった。年代については、18世紀以降のものが多いが、突出して多く出土する層は見られない。土師質土器については、出土したものの大半が盛土からであり、特にⅢ層からの出土が57点と多くを占めている。

### 第2項 瓦

総点数で約2万点の瓦が出土したが、およそ半数がⅢ層と裏込めから出土している。それらの瓦は、大半が平瓦と丸瓦であり、その他の瓦は全体の出土量の10%程度である。

軒瓦については、軒丸瓦では九曜文や三巴系の文様が多く、三引両文は数量的に非常に少ない。軒平瓦では箋文が多く、滴水瓦も4点出土している。また、今回の調査では金箔瓦が2点出土した。いずれの金箔瓦も鬼瓦や蟻瓦などの飾瓦であり、軒瓦では金箔瓦は見られなかった。

### 第3項 金属製品

本丸北西石垣で出土した金属製品には釘や煙管、古銭、飾金具などがある。また、敷金については後述するため、本項ではそれ以外の金属製品について扱う。金属製品は、敷金を除くと、およそ80点出土しているが、錆や腐食により不明なものが多く、種類が判明するものでは、釘や古銭が多い。

古銭では寛永通宝が多く、特にⅣ層では古寛永だけが出土した。また、Ⅳ層からは北宋銭も出土している。

飾金具は、E前面面の表土から1点出土した。表面と考えられる面には魚々子が施され、両面ともに金鍍金が一部残っていることから、本来は全面金鍍金で覆われていたと考えられる。

### 第4項 敷金

本丸北西石垣では、205点の敷金が出土しており、大半が石垣解体に伴って石材間から検出されている。

敷金は、形態の特徴から6種類に分類することができ、A～F類とした。A類は厚手でクサビ状のものである。全部で12点出土し、特にB C面の隅角部からの出土が多い。B類はカスガイ状のものであり、2点出土しているが、敷金として使用された状態で出土したものは1点だけである。C類は細長い棒状のものである。4点が出土し、その内の3点がD面で使用されている。D類も細長い棒状で断面が四角いものであるが、一方の端部が細くなり平爪状となるものである。135点出土しており、大半がG面とH面から出土した。E類は断面が丸い棒状で、一方の端部が平らになるものである。24点出土しているが、D類と同様にG面とH面から大半が出土している。F類は不定形のもので、1点だけ出土している。

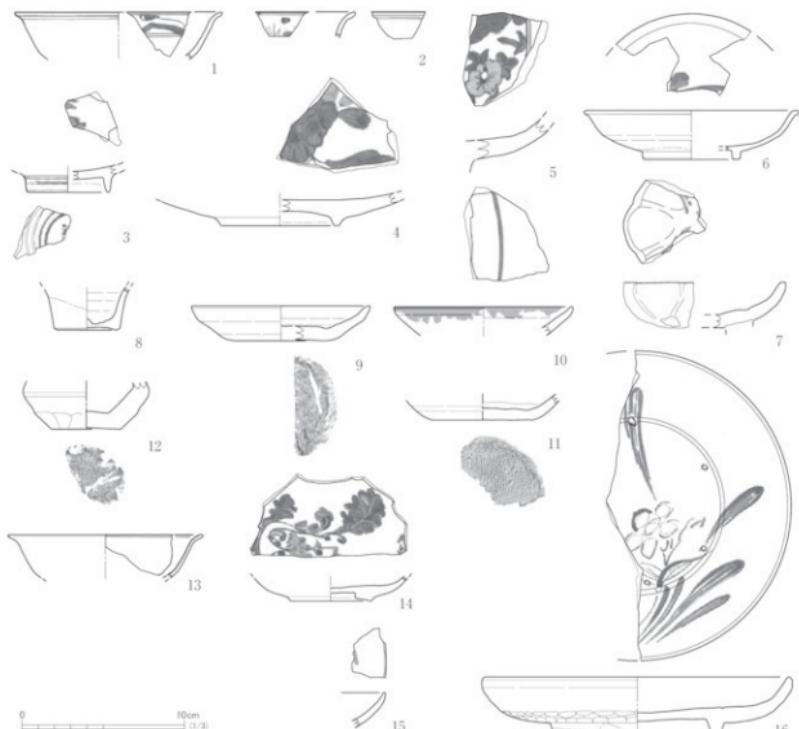


図 番号	遺物 種別	種別	区	遺構・層位	種類	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)			器高 (mm)			底径 (mm)			文様等	備考	写真 図版
									口徑 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	軸高 (mm)	軸径 (mm)	底径 (mm)						
1 0042	磁器	1	I層	青花	中国	黒	碗	16c末~ 17c初	(128)	-	(27)	-	-	-	-	-	-	1		
2 0030	磁器	1	Ⅱ層	青花	中国	折線波か 跡	碗	16c末~ 17c初	-	-	(16)	-	-	-	-	-	-			
3 0068	磁器	1	Ⅱ層	青花	中国	碗	16c末~ 17c初	-	(52)	(17)	高台に飾あり	-	-	-	-	-	-	1		
4 0078	磁器	1	Ⅲb層	染付	肥前	中黒	碗	17c中~後 期	-	(72)	(20)	草花文、蓋付に移付有	肥前(Ⅲ~Ⅳ期) 中黒 (直径20cm以上)	-	-	-	-	1		
5 0028	磁器	1	Ⅲb層	青花	中国(津 州窯)	黒	碗	16c末~ 17c初	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
13 0148	磁器	3B	Ⅲb層	青花	中国	折線波	碗	16c末~ 17c初	(120)	-	(27)	-	-	-	-	-	-			
14 0214	磁器	3B	Ⅳ層	青花	中国	黒	碗	16c末~ 17c初	-	(50)	(15)	野菜文	-	-	-	-	-	1		
15 0252	磁器	3A	Ⅳ層	染付	肥前	黒	碗	17c代	-	-	(21)	-	-	-	-	-	-			

図 番号	遺物 種別	種別	区	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)			器高 (mm)			底径 (mm)			軸高・文様等	備考	写真 図版
							口徑 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	軸高 (mm)	軸径 (mm)	底径 (mm)	軸高 (mm)	軸径 (mm)	底径 (mm)			
6 0084	陶器	1	Ⅲb層	大腹相馬	黒	19c後葉	(132)	(60)	(30)	鉄芯無	-	-	No.23と複合	-	-	1		
7 0120	陶器	1	Ⅲ層	志野	向付	17c裡	-	-	-	鉄芯	-	-	脚付変形瓶	-	-			
8 0075	陶器	1	Ⅲb層	大腹相馬	油浸黒	19c後葉	-	49	(26)	船軸	-	-	-	-	-	-		
16 0104	陶器	3C	Ⅲb層	大腹相馬	黒	19c中頃	(190)	(104)	(34)	鉄頭、鉄錐頭、灰被を施し 焼成有り	-	-	-	-	-	-	1	

図 番号	遺物 種別	種別	区	石川	遺構・層位	口径 (mm)			器高 (mm)			底径 (mm)			備考	写真 図版
						口徑 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	軸高 (mm)	軸径 (mm)	底径 (mm)	軸高 (mm)	軸径 (mm)	底径 (mm)		
9 0029	土師質土器	黒	1		Ⅲ層	-	(110)	(60)	(21)	-	-	-	-	-		
10 0094	土師質土器	打明頭	1		Ⅲ層	-	(110)	-	(18)	-	-	-	-	-		
11 0095	土師質土器	打明頭	1		Ⅲ層	-	(64)	-	(64)	-	-	内面タール付着	-	-		
12 0059	土師質土器	燒接頭	1		ベルト Ⅲb層	-	(44)	(30)	-	-	-	-	-	-		

第1162図 出土遺物(1)

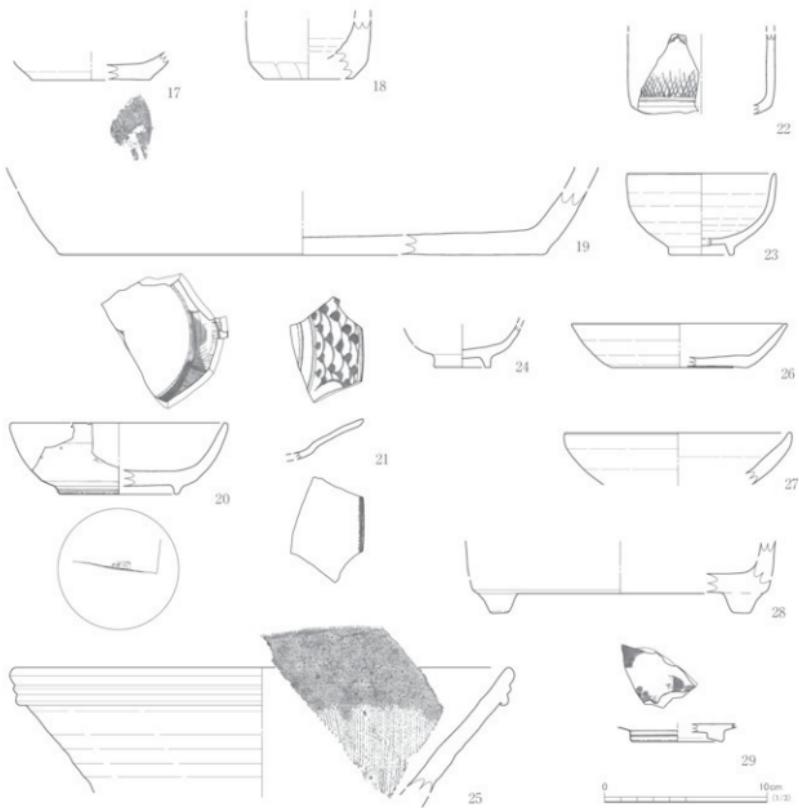


図 番号	遺物 種別	区	道構・層位	種類	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	文様等	備考	写真 図版
20 0225 磁器 4 1層 染付 流萩見 黒 18c代 (134) (74) (44) 山水文 こんなに早く印判 くらわんか手 1													
21 0230 磁器 4 1層 青花 中国 黒 16c末~ 17c前 - - - 流状文 1													
22 0050 磁器 4 1層 染付 流萩見 半筋茶碗 16c後半 - - (49) No.0161と接合													
29 0195 磁器 5 5層 青花 中国 黒 16c~ 17c前 - (98) (11) 山水人物文 1													

図 番号	遺物 種別	区	道構・層位	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	柄葉・文様等	備考	写真 図版
23 0302 陶器 4 1層 大阪相馬 瓢 18c代 (92) (40) (50) 灰釉 No.106-160-179と接合 1												
24 (0231) 陶器 4 1層 大阪相馬 瓢 18c後 (35) (26) 白釉輪 1												
25 0226 陶器 4 在地か すり跡 18c13段 (310) - (77) 鉄輪												

図 番号	遺物 種別	種別	器種	区	石垣	道構・層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	備考	写真 図版
17 0259 土師質土器 黒 3C 古層 - (74) (17)											
18 0115 土師質土器 梅鉢型 3C 旧1層 - (56) (36)											
19 0262 瓦質土器 3C 古層 - (300) (39) 江戸手											
26 0182 土師質土器 黒 4 開ヘルト-古層 (132) (80) (280) No.204-285-290と接合											
27 0305 土師質土器 黒 4 古層 - (140) - (32) 江戸手											
28 0280 土質土器 足付鉢 4 古層 - (182) (44) 江戸手											

第1163図 出土遺物(2)

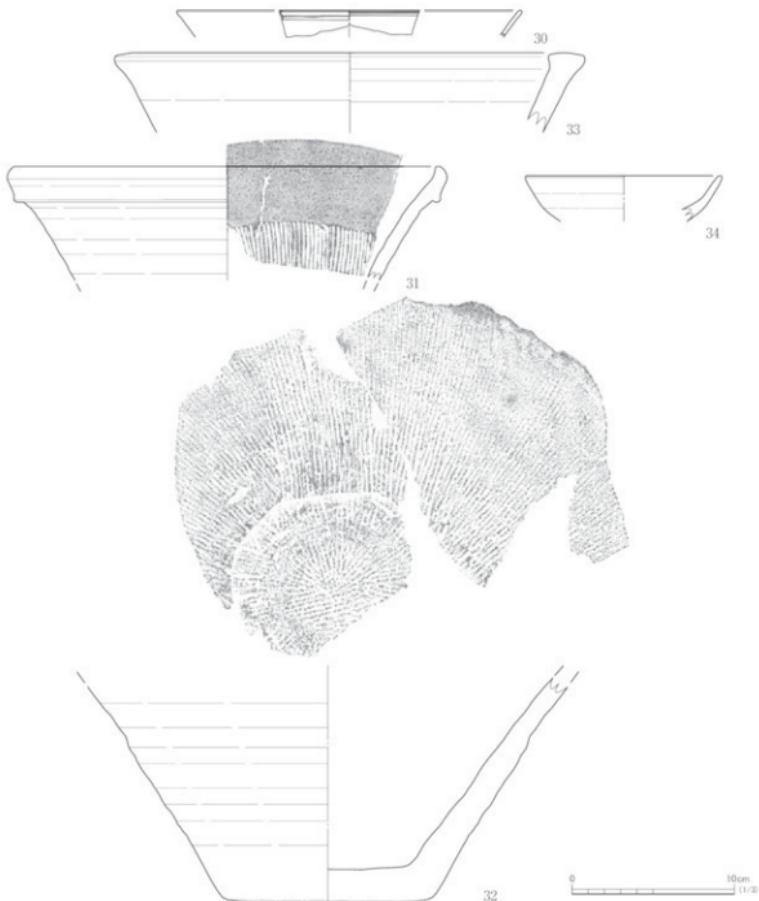


図 番号	種別	石灰	造構・層位	種類	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	文様等	備考	写真 図版
30 1774	磁器	C面 前面	1T 旧表土	青花	中国	碗立鉢		(212)	-	(17)			

図 番号	種別	石灰	造構・層位	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	釉薬・文様等	備考	写真 図版
31 1360	陶器	C面 前面	崩落部 壁層	在地か	擂鉢	18c以前	(270)	-	(70)	跳ね	No.1456と接合	
32 1329	陶器	C面 前面	崩落部 壁層	壁	寸り鉢	19c前～中葉	-	(130)	(137)	跳ね 脱色化 全面施釉	No.1468・1566と接合 底部磨耗 系切 窯道具 の痕がある(モミ痕)	1

図 番号	種別	石灰	造構・層位	区	石灰	造構・層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	備考	写真 図版
33 1992	瓦質土器				C面 前面	1T 旧表土	(290)	-	(49)		
34 1358	土師質土器	風			C面	崩落部 壁層	(120)	-	(28)		

第1164図 出土遺物(3)

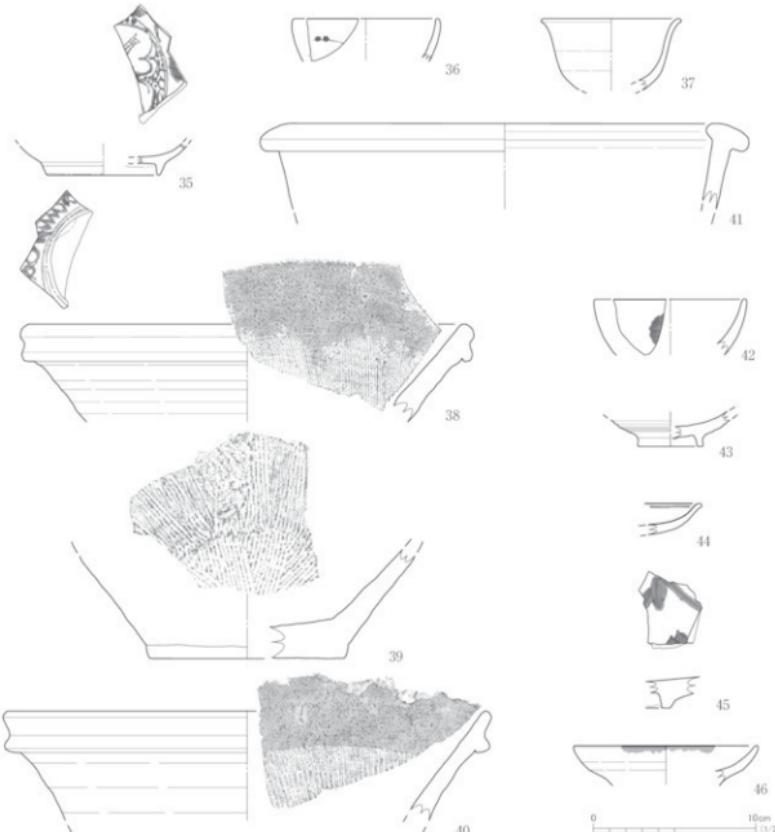


図 遺物 番号	種別	石垣	造構・層位	種類	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	文様等	備考	写真 回版
35 1459	磁器	E面	北面 上段北半裏込	青花	中国	瓶	16c末~17c前	-	(20)	(19)	豊付に砂粒付着		1
36 1569	磁器	E面	表土	染付	波佐見	碗	18c	(90)	-	(26)		くわらんか手	1
42 0330	磁器	F面	角1段裏込	染付	波佐見	碗	18c代	(94)	-	(34)	菊花文	連	1
44 1099	磁器	H面	I層	青花か	中国か	瓶	16c末~17c前	-	-	(20)			
45 0320	磁器	H面	自角 3段裏込	染付	肥前	中瓶	17c中~後	-	-	(19)	草花文 豊付に砂粒付着		

図 遺物 番号	種別	石垣	造構・層位	生産地	器種	製作年代	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	釉素・文様等	備考	写真 回版
37 1349	陶器	E面	崩落部崩落土	大隅相馬	罐反碗	18c後	(86)	-	(44)	白陶釉		1
38 0336	陶器	E面	崩落部 崩落	在地か	寸力鉢	18c以降	(278)	-	(60)	跳釉		
39 1557	陶器	E面	崩落部崩落土	堺	寸力鉢	19c前	(20)	-	(67)	跳釉 全面施釉	系切	
40 1823	陶器	E面	北面中1段 北側 E層	在地	寸力鉢	(300)	-	(67)				1
41 1354	陶器	E面	崩落部崩落土	在地か	堺	18c~19c	(300)	-	(52)	素燒		
43 0331	陶器	G面	角4段裏込	大隅相馬	碗	-	(40)	(21)	折分縫			

図 遺物 番号	種別	器種	区	石垣	造構・層位	口径 (mm)	器高 (mm)	底径 (mm)	備考	写真 回版
46 1190	土師質土器	灯明皿		H面	前面 I層	(114)	-	(24)		1

第11165図 出土遺物(4)



図 遺物 番号	種類	文様	区 石垣	遺構・層位	計測値 (mm)	重量 (g)	写真 図版
47 0979	軒平瓦	花菱文	1	II b層	瓦当幅(157) 瓦当厚み18 内区幅(130) 内区高さ33 刻線深さ2 篦 (区右)24	190	2
48 0977	檻丸瓦	菊丸	1	表土	瓦当径(102) 厚さ(20)	50	2
49 0732	丸瓦		1	II a層	瓦当幅(150) 長さ(235) 高さ72 厚み23 玉頭先幅(42) 玉頭長さ (30)	1400	2
50 0743	丸瓦	圓印丸	1	表土	幅(115) 長さ(104) 高さ(56) 厚み2	400	2
51 0970	研瓦	丁字	1	表土	幅90 長さ(110) 厚み47 起点距幅25 宽起部高さ19	300	2
52 0810	研瓦	變半丸	2	表土	幅(110) 長さ(263) 高さ(28) 厚み17 継幅40 継長さ35	860	2
53 0811	研瓦	丸瓦	2	表土	幅(120) 長さ(145) 最大厚み(65) 最小厚み30	740	
54 0812	研瓦	丸瓦	2	表土	幅(53) 長さ(40) 厚み(38)	50 両	2
55 1125	軒平瓦	桔梗文	3B	II b層	瓦当幅(105) 長さ(53) 厚み22 瓦当厚み19 内区幅(91) 内区高さ 33 刻線深さ4	220	
56 0616	檻丸瓦	輪連	3B	ベルト施・苔層	瓦当幅(99) 長さ(114) 高さ(50) 厚み(23)	480	2
57 1124	研瓦	朱虎	3B	苔層	幅(35) 長さ(51) 厚み(13)	30	2
58 0617	研瓦	谷筋瓦	3B	ベルト施・苔層	幅(100) 長さ(128) 厚み(55) 高さ(69) 厚み30	460	2
59 0693	軒丸瓦	九曜文	3C	表土	幅さ(192) 瓦当径(170) 内区径(122) 刻線幅(22) 刻線深さ37 瓦当 厚み20	1370 No.1953と接合	2
60 0263	軒丸瓦	須文三巴文	3C	苔層	瓦当径(147) 周縁幅20 周縁深さ38	550	2
61 0756	軒丸瓦	九曜文	3C	苔層	瓦当径(145) 内区径(100) 周縁幅22 周縁深さ55 瓦当厚み20	390	2

第1166図 出土遺物(5)

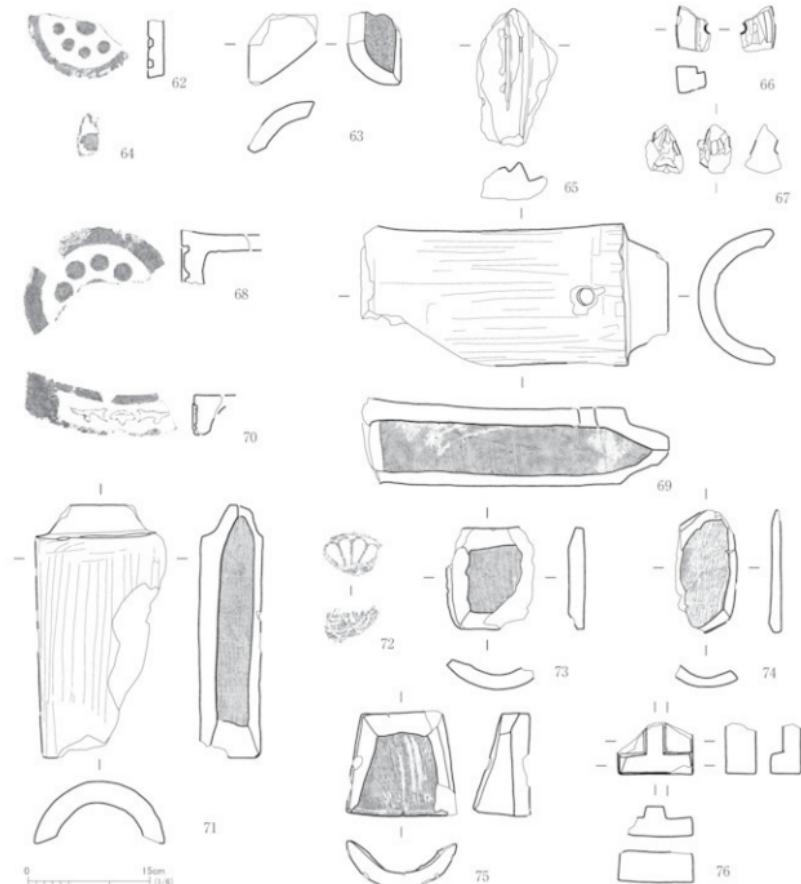


図 番号	遺物 名	種類	文様	区 石垣	造構・崩位	計測値 (mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
62	0822	楕込瓦	九曜	3C	I層	瓦当径(70) 瓦当厚み20 内区幅(57) 周縁幅13 周縁深さ6	180		2
63	0806	楕瓦	谷丸瓦	3C	II層	前幅(88) 後幅(85) 高さ62 厚み20 斜め幅(96)	190		
64	0632	楕込瓦	菊丸	3C	IIb層	瓦当径(28) 高さ(68)	70		
65	0753	瓦	楕丸	3C	Ⅲ層	楕幅(96) 長さ(169) 厚み(45)	500		
66	0651	面瓦		3C	IIb層	幅(14) 長さ(55) 厚み(25)	80		2
67	0631	面瓦	丸瓦	3C	IIb層	幅(38) 長さ(60) 厚み(60)	70		2
68	0773	軒丸瓦	九曜文	4	Ⅲ層	長さ(93) 瓦当径163 内区幅118 周縁幅22 周縁深さ7	620		
69	0792	軒丸瓦	不明	4	拵張部 Ⅲ層	前幅(115) 後幅(173) 長さ(378) 高さ93 厚み22 玉線先幅(85) 玉 縁長さ55	2880		2
70	0750	軒平瓦	菱文(三棱 鏡)	4	Ⅲ層	瓦当幅(185) 長さ(34) 楕深さ(32) 瓦当高さ(82) 瓦当厚み20 内 区幅(140) 内区高さ30 周縁深さ3 周縁幅(77) 玉	360		2
71	0793	丸瓦		4	拵張部 Ⅲ層	前幅(80) 後幅(160) 長さ(201) 高さ76 学み27 玉線先幅(77) 玉 縁長さ40	1600		2
72	0623	楕込瓦	菊丸	4	I層	瓦当径(47) 長さ(18)	60		2
73	0778	楕込瓦	圓瓦	4	Ⅲ層	幅(108) 長さ(126) 高さ(37) 厚み18	340		2
74	0951	楕込瓦	斜面瓦	4	Ⅲ層	幅(75) 長さ(150) 高さ(12) 厚み11 斜め幅(37)	180		2
75	0795	楕込瓦	楕邊	4	拵張部 Ⅲ層	前幅(137) 後幅(95) 長さ(129) 高さ59 厚み20	280		2
76	0298	面瓦	丁字	4	拵張部 Ⅲ層	幅(93) 長さ(63) 厚み37 突起部幅22 突起部高さ15	220		2

第1167図 出土遺物(6)

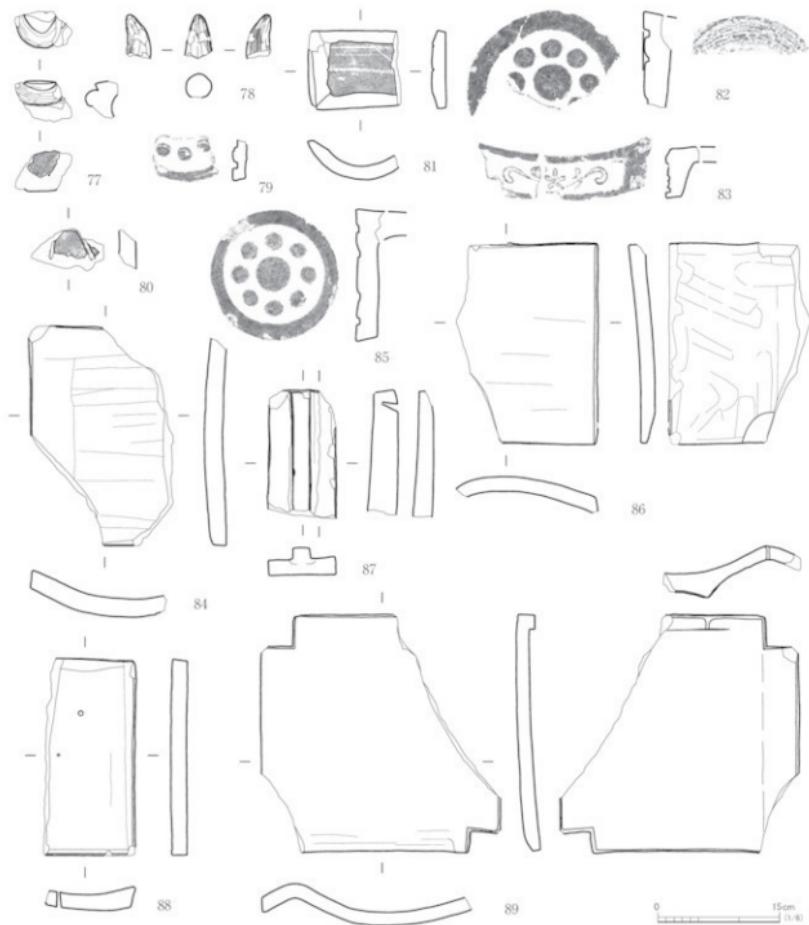


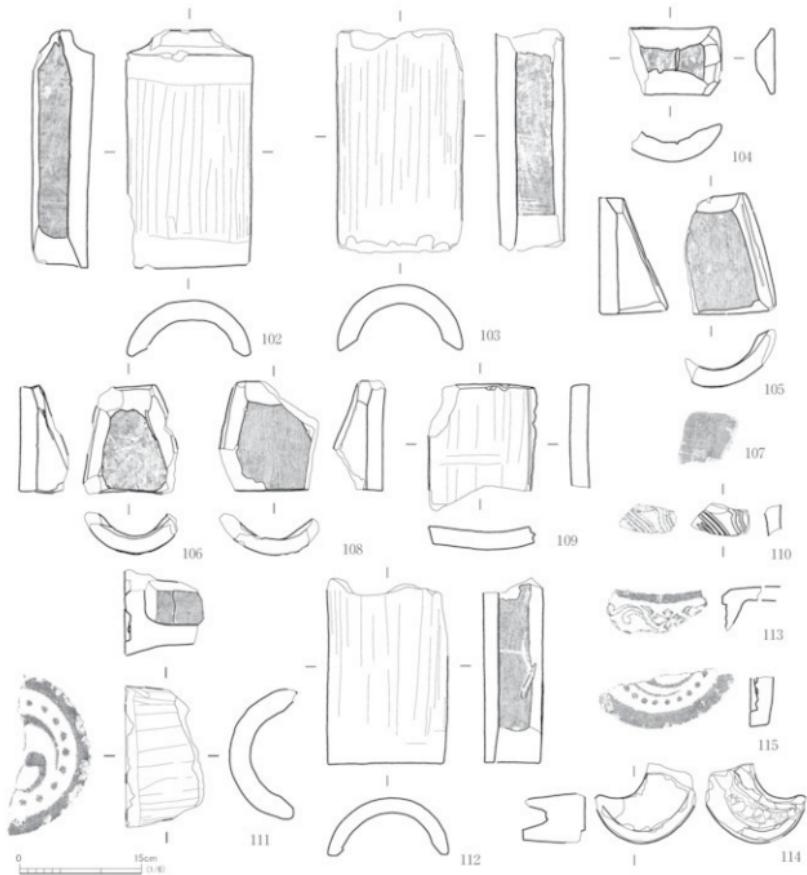
図 遺物 番号	種類	種類	文様	区	石加	遺構・層位	計測値(mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
77 0768	陶瓦	鬼瓦		4		直屋	楕幅(20) 長さ(50) 厚み37	80	羽目か	2
78 0190	陶瓦	鬼瓦		4		直屋	楕(30) 長さ(54) 厚み(29)	40	金箔	2
79 0665	陶瓦丸	丸屋		5		直屋	丸当厚み16 前縁幅14 前縁深さ6	80		
80 0264	陶瓦	鬼瓦		4		直屋	楕(89) 長さ(47) 厚み28	80		2
81 0667	陶瓦丸	面瓦丸		5		直屋	楕(110) 長さ(97) 厚み(48) 厚み16	300		2
82 0613	陶丸瓦	丸屋文		6		丸屋(170) 内区幅120 前縁幅22 前縁深さ7	760	No.664と接合	3	
83 0760	軒平瓦	桔梗		6		1層	瓦当幅(210) 長さ(41) 桔梗(25) 厚み19 瓦当高さ(83) 瓦当厚み19 内区幅(167) 内区高さ35 前縁深さ2 瓦區幅(右)(32)	470	No.1121と接合	3
84 0618	平瓦			6		直屋	楕幅(96) 瓦幅(90) 高さ220 高さ56 厚み22	1350		
85 1294	軒丸瓦	丸屋文				天端 表土	瓦当幅160 内区幅123 前縁幅18 前縁深さ4 丸当厚み26	900		3
86 0967	陶丸瓦	伏岡瓦(玉 縁)				表土	楕(120) 長さ(248) 高さ45 厚み18 玉縁受け楕(28) 玉縁受け長さ(39)	1120		
87 0964	陶瓦	丁字				表土	楕84 長さ(198) 厚み35 実部幅22 実部高さ18	440		3
88 0966	陶丸瓦	伏丸瓦				表土	楕(110) 長さ240 高さ30 厚み19 前縁深さ52	840		
89 0969	枕瓦					表土	楕幅(252) 狹幅(187) 長さ290 高さ50 厚み16 前切り込み幅37 前切り込み長さ26 後切り込み幅(30) 後切り込み長さ37	1860		3

第1168図 出土遺物(7)



図 番号	遺物 番号	種類	文様	区 石垣	造構・層位	計測値(mm)	重量 (g)	参考	写真 図版
90	1976	軒平瓦	無文	A面 前頭	表土	瓦当幅(254) 長さ(158) 壁深さ29 厚み20 瓦当高さ(80) 瓦当厚み18 内区幅152 内区高さ28 周縁深さ4 瓦区幅(右)42 瓦区幅(左)53	1200	3	
91	1877	軒平瓦	雲文(雪待 ち)	C面 前頭	トレンジ 176	瓦当幅(185) 長さ(60) 厚み21 瓦当高さ(25) 瓦当厚み22 内区高さ32 周縁深さ5 施区幅(左)54	480	3	
92	1878	軒平瓦	内区字葉部 (唐草)	C面 前頭	トレンジ 176	瓦当幅(97) 狹さ(85) 厚み20 瓦当厚み20 内区幅(65) 内区高さ31 周縁深さ4-5 施区幅(左)47	300	3	
93	2017	軒丸瓦	三巴文	C面	CD角30段漸次込	瓦当幅(120) 内区幅(100) 周縁幅24 周縁深さ6 瓦当厚み20	300	3	
94	1779	軒丸瓦	三巴文	C面	角9段 石材間 厚み25	長さ(60) 瓦当幅(224) 内区幅(107) 周縁幅(20) 周縁深さ8 瓦当厚み25	440	3	
95	1838	仰瓦	鬼瓦	C面	BC角10段漸次込	幅(89) 長さ(62) 最大厚み(56)	220	日	3
96	1534	軒丸瓦	墨三引画文	C面	崩落部 瓦層	長さ(65) 瓦当幅129 内区幅137 周縁幅16 周縁深さ5 瓦当厚み27	1280	3	
97	1515	軒丸瓦	墨三引画文	C面	崩落部 II-Ⅲ層	瓦内部(140) 内区幅(113) 周縁幅12-15 周縁深さ3 瓦当厚み(24)	580	3	
98	1532	軒丸瓦	九曜文	C面	崩落部 瓦層	長さ(135) 瓦当幅(118) 内区幅(186) 周縁幅23 周縁深さ6	990	3	
99	1647	軒平瓦	無文	C面	崩落部 瓦層	瓦内部(173) 長さ(75) 幅(23) 瓦当高さ(93) 瓦当厚み20 内区幅(100) 内区高さ30 周縁深さ5 瓦区幅(右)48	600	3	
100	1706	軒平瓦	無文	C面	崩落部 瓦層	瓦内部(125) 後輪(225) 長さ(231) 厚み20 瓦当高さ(60) 内区幅(118) 内区高さ29 周縁深さ24	2010	3	
101	1646	隅瓦	軒平 無文	C面	崩落部 瓦層	瓦内部(195) 長さ(146) 狹れ高さ(58) 厚み22 瓦当高さ(68) 瓦当厚み17 内区幅(120) 内区高さ(19) 周縁深さ5 斜め長さ(183)	700	3	

第1169図 出土遺物(8)



団 遺物 番号	種類	種類	文様	区 石加	造形・位相	計測値 (mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
102 1710	丸瓦			C面	崩落部 厚層	前輪(143) 後輪(154) 長さ292 高さ69 厚み24 玉縁先輪(58) 三 輪(130)	2080	3	
103 1709	丸瓦			C面	崩落部 厚層	前輪(151) 後輪(140) 長さ270 高さ81 厚み23	2040		
104 1630	楕円瓦	圓口瓦		C面	崩落部 厚層	輪(113) 長さ84 高さ(41) 厚み24	280	3	
105 1619	楕円瓦	輪底		C面	崩落部 厚層	前輪(107) 後輪(166) 長さ148 高さ20 厚み22	500	3	
106 1645	楕円瓦	輪底		C面	崩落部 厚層	前輪(105) 後輪(58) 長さ133 高さ(52) 厚み22	430	3	
107 1425	楕円瓦	輪底		C面	崩落部 厚層	前輪(165) 長さ(68) 高さ17	90		
108 1681	楕円瓦	輪底		C面	崩落部 厚層	前輪(90) 後輪(34) 長さ134 厚み19	400		
109 1640	楕円瓦	翼斗瓦		C面	崩落部 厚層	輪(127) 長さ(137) 高さ30 厚み22 翼根深55	560	4	
110 1651	飾瓦	不明		C面	崩落部 厚層	最大輪(21) 最大長さ(37) 厚み19	50	4	
111 1432	軒丸瓦	珠文三巴文	D面	角1-2段裏込		長さ(96) 高さ(82) 厚み25 丸当(173) 内区(径)(130) 周縁輪17	940	4	
112 1536	丸瓦		D面	角1-2段裏込		前輪(143) 長さ(228) 高さ70 厚み18	1150		
113 1435	軒平瓦	花菱文	D面	角1-2段裏込		瓦当輪(108) 長さ(49) 厚み16 内区(幅)(120) 内区(高さ)(31) 周縁深 さ5	200	4	
114 1999	飾瓦	不明	D面	角1-2段裏込		輪(123) 長さ(97) 厚み(最大)76 厚み(最小)50	750	4	
115 1995	軒丸瓦	珠文三巴文	E面	トレーン区 盛土		瓦当輪(61) 内区(幅)(40) 周縁輪20 周縁深59 丸当厚み24	260	4	

第1170図 出土遺物(9)



図 遺物 番号	種類	様式	区 石垣	造構・層位	計測値(mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
116 1994	軒丸瓦	珠文三巴文	E面 前面	トレンチ E14 盛土	瓦当径(80) 内区径(26) 周縁幅22 周縁深59 瓦当厚み28	180		
117 1891	軒丸瓦	三巴文	E面 前面	トレンチ E14 盛土	瓦当径(90) 内区径(73) 周縁幅(20) 瓦当厚み(30)	340		
118 2020	軒丸瓦	三巴文	E 前面	トレンチ E14 5層	瓦当径(150) 内区径(127) 周縁幅20 周縁深57	500		4
119 1982	軒丸瓦	三巴文	E面 前面	トレンチ E14 5層	瓦当径(110) 内区径(90)	390	No.1981と接合	
120 2019	軒丸瓦	三巴文	E 前面	トレンチ E14 5層	長さ(217) 高さ(70) 厚み23	840		
121 1873	軒丸瓦	聖三引弓文	E面 前面	トレンチ 盛土	瓦当径(70) 内区径(52) 周縁幅18 周縁深56 瓦当厚み28	140		4
122 1903	軒丸瓦	九曜文	E面 前面	崩落部前面 表 土	長さ(118) 瓦当径(76) 内区径(53) 周縁幅23 周縁深57	820		4
123 1985	軒平瓦	内区子葉部 (唐草)	E面 前面	A区 V層	瓦当径(110) 長さ(40) 瓦当厚み18 内区幅(48) 内区高さ28 周縁 深55 隅区幅(右)58	260		
124 1852	軒平瓦	内区子葉部 (唐草)	E面 前面	表土	瓦当幅(145) 長さ(380) 厚み21 瓦当高さ(22) 内区幅(92) 内区 高さ(9) 周縁深56 隅区幅(左)57	1000		
125 2020	軒平瓦	菊花文	B 前面	トレンチ E14 盛土	瓦当幅(57) 長さ(36) 内区幅(72) 内区高さ(40)	110		4
126 2022	棟込瓦	面ワ瓦	E面 前面	トレンチ E14 5層	幅(107) 長さ(91) 高さ(25) 厚み15	220		
127 1898	棟込瓦	面ワ瓦	E面 前面	トレンチ E14 盛土	幅(65) 長さ(86) 厚み(18)	120		4
128 1965	棟込瓦	面ワ瓦	E面 前面	表土	幅(91) 長さ(129) 高さ(38) 厚み21	335		4
129 1972	棟込瓦	伏開瓦(箱 冠)	E面 前面	表土	幅(93) 長さ(160) 高さ(64) 厚み23	460		
130 1681	軒丸瓦	三巴文	E面 前面	北半 中1 段裏込	長さ(200) 高さ80 厚み21 瓦当径(160) 内区径(110)	1370		4

第1171図 出土遺物(10)



図 遺物 番号	種類	文様	区	石垣	造機・層位	計測値(mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
131 1957	軒丸瓦	丸曜文	E面	北面	下段薙込	長さ(155) 高さ(83) 厚み22 瓦当径168 内区幅(1159) 刷縞幅22	1460		4
132 1959	軒丸瓦	唐文三巴文	E面	北面	下段薙込	瓦(80) 内区徑(62) 刷縞幅20 刷縞深さ6 瓦厚み24	250		
133 1958	軒丸瓦	丸曜文	E面	北面	下段薙込	瓦(80) 内区徑(60) 刷縞幅25 刷縞深さ6 瓦厚み25	300		
134 1614	軒丸瓦	丸曜文	E面	北面北半	上段	瓦(530) 瓦当径(70) 内区幅(60) 刷縞幅20 刷縞深さ4	600		
135 1718	軒平瓦	花文(朝 榮)	E面	北面上段	薙込	瓦(180) 長さ(118) 厚み19 瓦当高さ(56) 内区幅(122) 内区 高さ(11) 刷縞深さ2 施墨幅(右)(48)	700		4
136 1734	滴水瓦	菊花文	E面	北面北半	中2段	瓦(107) 瓦当高さ(60) 瓦当厚み16 内区幅(107) 内区高さ (46)	130		4
137 1732	隅瓦	谷丸瓦	E面	北面北半	上段 Ⅱ層	前幅(147) 長辺(245) 高さ67 厚み22 斜め幅(165)	1080	刷印 不明	4
138 1983	棟込瓦	面凹瓦	E面	前面	トレンチ Ⅱ層	幅(94) 長さ(86) 高さ(29) 厚み(18)	150		
139 1605	棟込瓦	面凹瓦	E面	北面	上段 Ⅲ層	幅(78) 長さ(104) 高さ(30) 厚み20	170	刷印 丸(二ヶ所 に切れ目)に「一」 か	4
140 1713	棟込瓦	面凹瓦	E面	北面	上段薙込	幅(99) 長さ(117) 高さ(36) 厚み(28)	310		4
141 1699	飾瓦		E面	北面	Ⅱ層	幅(97) 高さ(136) 厚み(最大)65 厚み(最小)21	610		4
142 2034	飾瓦	不明	E面	北面	中1段北側 Ⅲ層	幅73 長さ(133) 厚み44	440		4
143 1731	飾瓦		E面	北面北半	上段 Ⅲ層	幅(98) 長さ(146) 厚み(最大)77	970		4

第1172図 出土遺物(11)

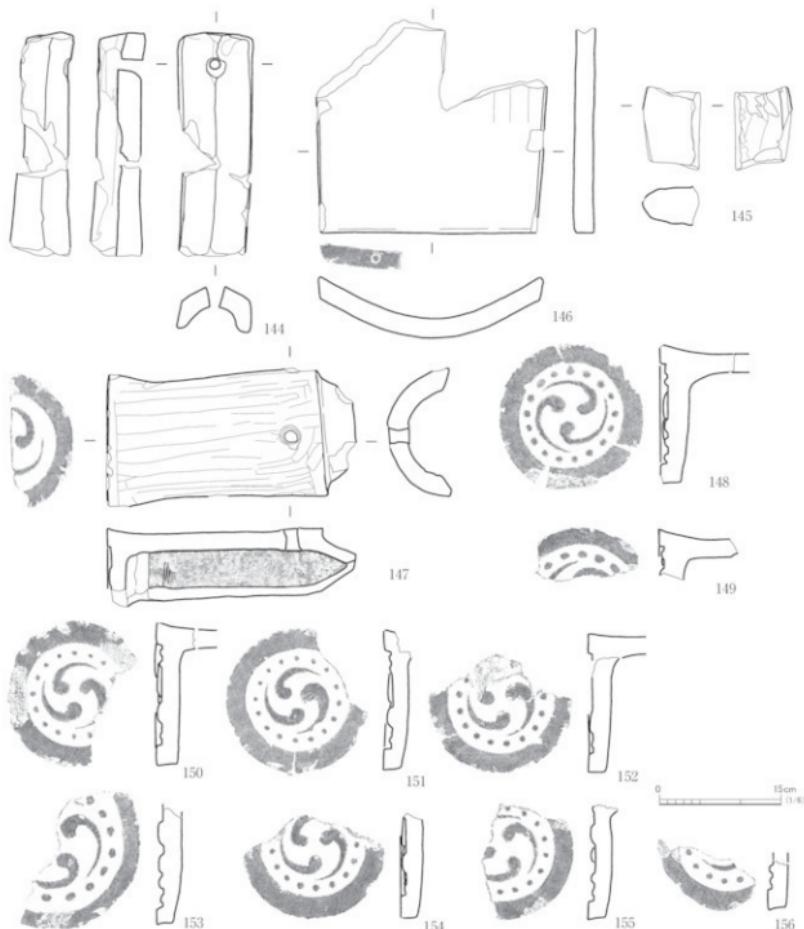


図 遺物 番号	種類	文様	区 石垣	造構・層位	計測値(mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
144 1740	軒瓦	胸巴	E面	北面北平上段 玉崩	幅(92) 長さ(275) 高さ(3) 57 高5(4) 62 最小脛の厚み29	1080	打穴	4
145 1895	軒瓦		E面	北面 北側上段 裏凸	幅(70) 長さ(93) 厚み47	380		
146 2032	平瓦		E面	中面 上段裏凹	幅(267) 長さ(261) 高さ75 厚み23	2560	削印 丸	5
147 1115	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	周縁(154) 扱き(300) 高さ77 厚さ23 玉先幅(47) 玉縁長540 瓦当幅(160) 内区径(115) 周縁幅23 周縁深58	2580		5
148 1019	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(170) 内区径(122) 周縁幅23 周縁深58 瓦当厚み27	1490		5
149 1024	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(56) 内区径(35) 周縁幅20 周縁深56	500		
150 0860	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(75) 内区径(52) 周縁幅26 周縁深52 瓦当厚み26	850		5
151 1527	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(171) 内区径(120) 周縁幅20 周縁深59 瓦当厚み23	780		5
152 1955	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(170) 内区径(124) 周縁幅22 周縁深55 瓦当厚み24	660		5
153 1093	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(184) 内区径(144) 周縁幅18 周縁深58 瓦当厚み21	570		5
154 1020	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(170) 内区径(122) 周縁幅26 周縁深56 瓦当厚み22	620		5
155 1528	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼崩	瓦当幅(110) 内区径(85) 周縁幅24 周縁深55 瓦当厚み21	440		5
156 1591	軒丸	唐文三巴文	E面	前落部 翼7-8段 裏凸	周縁幅(60) 内区径(33) 周縁幅23 周縁深55 瓦当厚み21	220		

第1173図 出土遺物(12)

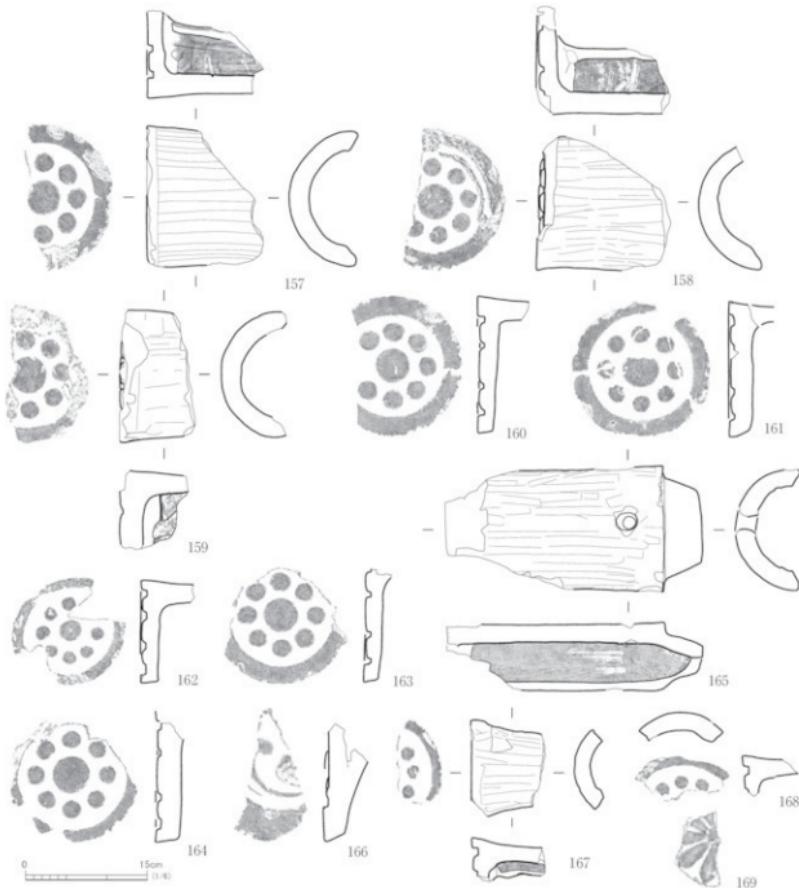
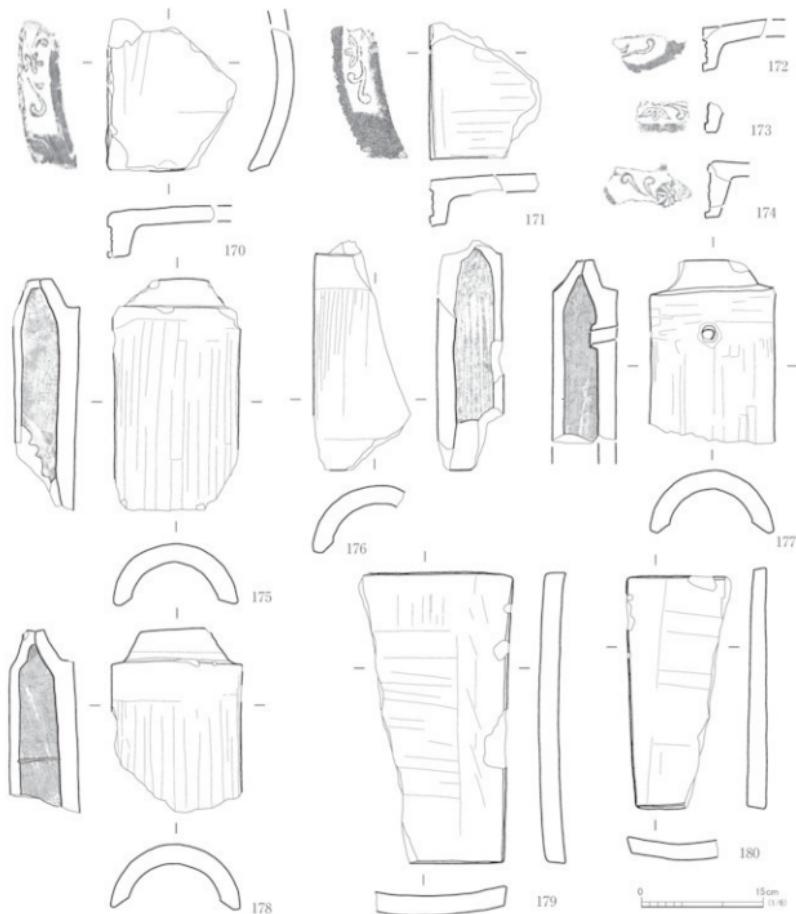


図 遺物 番号	種類	文様	区	石垣	遺構・層位	計測値(mm)		重量 kg	備考	写真 図版
						長さ	高さ			
157 1028	軒丸瓦	丸堀文	E面	崩落部	直縫	長さ(143)	高さ84 厚み25	瓦当径174 内区径(120) 周縁幅24 周縁深28	1290	5
158 1378	軒丸瓦	丸堀文	E面	崩落部	直縫	長さ(164)	高さ(77)	厚み24 瓦当径(150) 内区径(120) 周縁幅22 周縁深38	1350	5
159 1589	軒丸瓦	丸堀文	E面	崩落部	裏凸	長さ(95)	厚み24	瓦当径162 内区径(115) 周縁幅20 周縁深34	1070	5
160 1006	軒丸瓦	丸堀文	E面	崩落部	直縫	瓦当径168	内区径(121)	周縁幅22~23 周縁深39 瓦当厚み20	900	No.1008と複合 5
161 1002	軒丸瓦	丸堀文	E面	崩落部	直縫	瓦当径(162)	内区径127	周縁幅20 周縁深57 瓦当厚み26	1160	No.1014~1017と 複合 5
162 1367	壁丸瓦	丸堀	E面	崩落部	直縫	瓦当径26	瓦当厚み(20)	内区径103 周縁幅10 周縁深37	460	No.1368と複合 5
163 1365	軒丸瓦	丸堀文	E面	崩落部	直縫	瓦当径(140)	内区径(120)	周縁幅22 周縁深39 瓦当厚み17	450	5
164 1245	軒丸瓦	丸堀文	E面	崩落部	直縫	瓦当径(156)	内区径(130)	周縁幅15 周縁深36 瓦当厚み29	670	5
165 0986	軒丸瓦	不明	E面	崩落部	E-丁角 1-2段直縫	長さ(154)	高さ(316)	高さ79 厚み23 玉縁先幅88 玉縁長さ47	1800	6
166 0851	瓦	鳥伏彌瓦 (三巴文)	E面	崩落部	E-丁角 1-2段直縫	瓦当径(54)	瓦当厚幅(45)	内区径(102) 周縁幅(最大)(42) 周縁深26	520	5
167 1021	棟丸瓦	丸堀	E面	崩落部	直縫	瓦当径(151)	高さ(85)	厚み20 简部高さ35 瓦当厚み14 内区径(80) 周縁幅13 周縁深27	340	6

第1174図 出土遺物(13)



ID	道物 番号	種類	文様	区	石組	道標・屋敷	計測値(mm)			重量 (g)	備考	写真 図版	
							幅	高さ	奥行き				
168	1369	桜吹雪	丸彫	正面	崩落部	直標	瓦当幅(45)	内区幅(32)	側面幅8	周縁深さ27	220		
169	1522	桜吹雪	菊丸	正面	崩落部	崩落土	瓦当幅(45)	瓦高さ16	周縁深さ16		70	5	
170	1117	軒平瓦	枝文(雪待 丸)	正面	崩落部	直標	瓦当幅(185)	長さ(198)	弧溝(11)	厚み22 瓦当高さ(72)	瓦当厚 み(21)	1040	6
171	1298	軒平瓦	枝文(雪待 丸)	正面	崩落部	1~5層	瓦当幅(165)	長さ(125)	厚み22	瓦当高さ110 瓦当厚み20 内区幅 105(内区高さ23) 周縁深さ24 斜面幅(右)57	860	6	
172	1380	油氷瓦	不明	正面	崩落部	直標	瓦当幅(165)	長さ(178)	厚み21	瓦当高さ3(42) 瓦当厚み17 内区幅 100(内区高さ29) 周縁深さ55	350	6	
173	1543	軒平瓦	枝文	正面	崩落部	崩落土	瓦当幅(62)	瓦当高さ15	内区幅(62)	内区高さ(24)	50	6	
174	1446	油氷瓦	菊花文	正面	崩落部	直標	瓦当幅(99)	瓦当高さ(55)	内区幅(99)	内区高さ(44) 周縁深さ3(4)	100	6	
175	1112	丸瓦	正面	崩落部	直標	玉緑色	側面幅(97)	側面高さ(148)	長さ(285)	高さ26 厚み22 玉緑光沢(65)	2040	6	
176	1113	丸瓦	正面	崩落部	直標	玉緑色	側面幅(30)	側面高さ(57)	長さ(282)	高さ28 厚み22 工程長さ(18)	1120		
177	0987	丸瓦	正面	崩落部	E-角 1~2段3層	側面幅(155)	長さ(226)	高さ277	厚み23 玉緑光沢(85)	玉緑長さ33	1500	6	
178	1258	丸瓦	正面	崩落部	直標	側面幅(160)	長さ(126)	高さ28	厚み24 玉緑光沢(85)	玉緑長さ38			

第1175図 出土遺物(14)

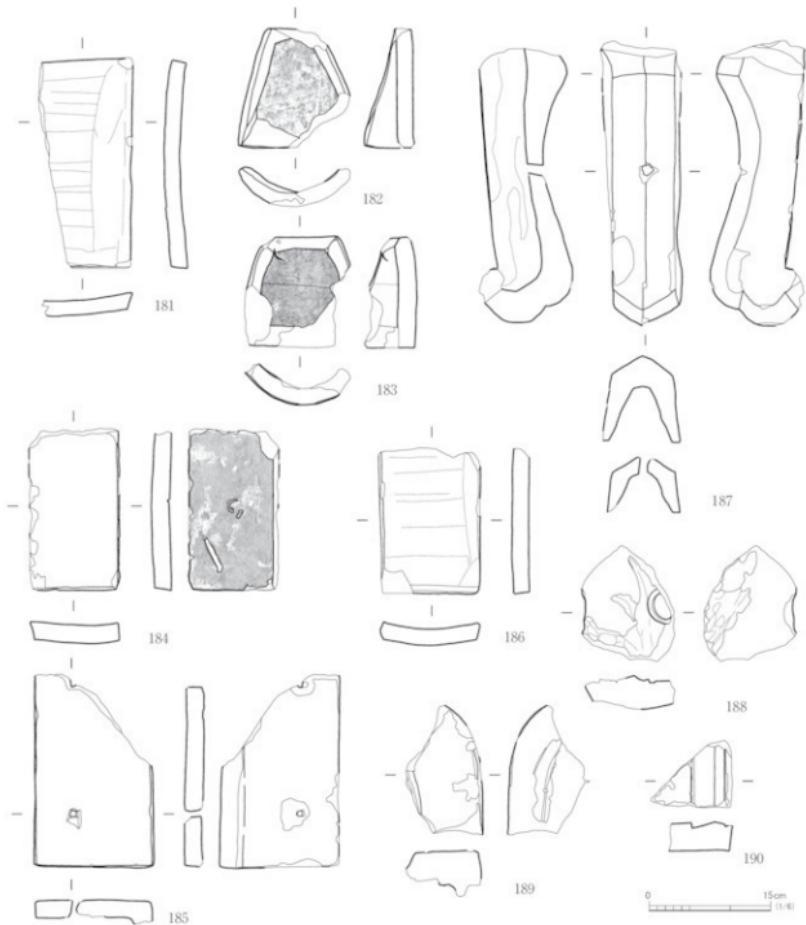


図 遺物 番号	種類	文様	区	石垣	造機・層位	計測値 (mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
179 0852	平瓦		E面	崩落部 E-2角 1-2段目等	前幅(115) 後幅(189) 長さ358 高さ(37) 厚み24	2200		6	
180 1224	平瓦		E面	崩落部 蓋縫	前幅(64) 後幅(128) 長さ287 高さ(28) 厚み20	1000			
181 1016	平瓦		E面	崩落部 蓋縫	前幅(77) 後幅(114) 長さ226 高さ(29) 厚み18	850		6	
182 1004	楕込瓦	輪連	E面	崩落部 蓋縫	前幅(74) 後幅(32) 長さ16 高さ49 厚み16	540		6	
183 1660	楕込瓦	輪連	E面	崩落部 角7-8段 裏込	前幅(105) 後幅(76) 長さ135 高さ(50) 厚み(20)	500		6	
184 1510	楕込瓦	雙牛瓦	E面	崩落部 蓋縫	幅(110) 長さ(199) 高さ27 厚み23	790	複刻一	6	
185 0854	石瓦		E面	崩落部 蓋縫	幅(147) 長さ(236) 厚み(22)	1080		6	
186 1114	楕込瓦	雙牛瓦	E面	崩落部 蓋縫	幅(123) 長さ(178) 高さ28 厚み20	720			
187 1228	崩瓦	獅子	E面	崩落部 蓋縫	幅(97) 長さ(350) 高さ(1)(110) 高さ(2)(106 最大膏の厚み47 最 小膏の厚み24	2180	釘穴1	6	
188 1448	施瓦	兔瓦	E面	崩落部 蓋縫	幅(113) 長さ(134) 最大等み(41) 最小等み29	550		6	
189 1253	崩瓦	兔瓦	E面	崩落部 蓋縫	幅(91) 長さ(158) 最大等み(56)	620		6	
190 1439	施瓦	蛇瓦	E面	崩落部 蓋縫	幅(99) 長さ(62) 厚み(34)	250			

第1176図 出土遺物(15)

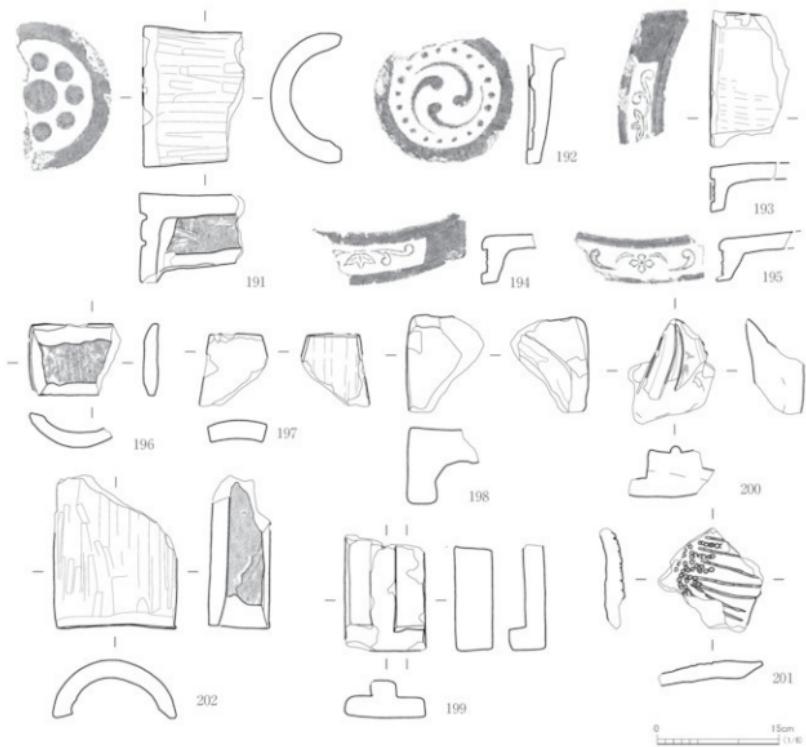


図 遺物 番号	種類	文様	区 石垣	造形・崩位	計測値 (mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
191 0992	軒丸瓦	九曜文	EF 面	角1-2段直崩	長さ(129) 高さ87 厚み24 瓦当径(171) 内区幅(125) 周縁幅24 周縁深さ8	1510		7
192 0892	軒丸瓦	芦文三巴文	F面	角3上段直崩	瓦当幅69 内区幅130 周縁幅18 周縁深さ5 丸当幅み18	880		7
193 0991	軒平瓦	菱文(尚持 ち)	EF 面	角1-2段直崩	瓦当幅(168) 長さ(96) 孔深(33) 厚み23 瓦当厚み20 内区幅(67) 内区幅(97) 内区高さ28 周縁深さ4 斜区幅(左)5(67)	610		7
194 0990	軒平瓦	菱文(尚持 ち)	EF 面	角1-2段直崩	瓦当幅(160) 長さ(65) 厚み17 瓦当厚み20 内区幅(105) 内区高 さ27 周縁深さ7 斜区(右)50	610		7
195 0608	軒平瓦	花文(朝 雲)	EF 面	角1-2段直崩	瓦当幅(157) 長さ(91) 厚み19 瓦当厚み19 内区幅(145) 内区高 さ29 周縁深さ58	480		7
196 0887	棟込瓦	面凹瓦	F面	EF角3段直崩凸	幅(112) 長さ87 高さ(42) 厚み18	240		
197 1277	棟込瓦	差し込み 瓦	EF 面	直崩	後幅(75) 長さ(88) 厚み23	180		
198 1278	筒瓦	鬼瓦	EF 面	直崩	幅(94) 長さ(120) 最大厚み93 最小厚み40	740		
199 1151	筒瓦	T字	F面	角石波目直崩	幅(98) 長さ(142) 厚み46 突起部幅31 突起部高520	700		
200 0607	筒瓦	鬼瓦	F面	EF角石波目直 崩	幅(105) 長さ(130) 厚み(62)	500	金箔 瓦少	7
201 1177	筒瓦	鬼瓦	F面	角1-2段直崩	幅(129) 長さ(125) 厚み(最大)25	280		7
202 0998	丸瓦		PG 面	背後 直崩	前幅(146) 長さ(185) 高さ72 厚み22	960		
203 0997	棟込瓦	輪連	PG 面	背後 直崩	前幅(128) 後幅(48) 長さ146 高さ(62) 厚み19	540		

第1177図 出土遺物(16)



図 遺物 番号	種類	文様	区 石垣	造様・位	計測値 (mm)	重量 (g)	備考	写真 図版
204 1143	施瓦		FGH 面	裏込	横幅(130) 長さ(89) 最大厚み37 最小厚み20	390		
205 1169	軒丸瓦	珠文三巴文	G面	角1段裏込	瓦当径(164) 内区幅(130) 周縁深さ(15) 瓦当高さ(9)	850	No.1185と接合	7
206 1118	軒丸瓦	三巴文	G面	角1-2段裏込	瓦当径(166) 内区幅(120) 周縁深さ(22) 瓦当厚み28	1130		7
207 1167	軒丸瓦	九曜文	G面	角3-4段裏込	瓦当径(140) 内区幅(111) 周縁深さ(57) 瓦当厚み21	620		7
208 1292	軒丸瓦	九曜文	G面	角7-8段石材埋 長さ(40)	瓦当径(143) 内区幅(122) 周縁深さ(55) 瓦当厚み25	480		7
209 1145	軒丸瓦	不明	G面	背後角1-2段裏込	横幅(134) 後幅(156) 長さ(323) 高さ83 厚み23	2450		7
210 1171	軒平瓦	桔梗文	G面	角6段裏込	瓦当幅(180) 長さ(73) 厚み18 瓦当高さ(90) 内区幅(132) 内区 高さ30 周縁深さ3 築区(左)48	520		7
211 1105	軒平瓦	三引両文	G面	角1-2段裏込	瓦当幅(147) 長さ(52) 厚み23 瓦当高さ(75) 内区幅(94) 内区高 さ(29) 周縁深さ(3) 築区(左)151	600		7
212 1173	軒平瓦	花葉文(朝 慶)	G面	角4裏込	瓦当幅(148) 長さ(60) 厚み18 瓦当高さ(71) 瓦当厚み(7) 内区 幅(90) 内区高さ32 周縁深さ(4) 築区幅(右)54	320		7
213 1123	丸瓦		G面	角3段裏込	前幅(132) 後幅(157) 長さ(290) 高さ70 厚み20 玉筋長さ(25)	1480		
214 0879	丸瓦		GH 面	角1-2段裏込	前幅(113) 後幅(121) 長さ253 高さ65 厚み21 玉筋長さ(63) 上 縁高さ20	1490		7
215 1103	楕丸瓦	輪連	G面	角1-2段裏込	前幅(84) 後幅(91) 長さ176 高さ57 厚み25	800		

第1178図 出土遺物(17)

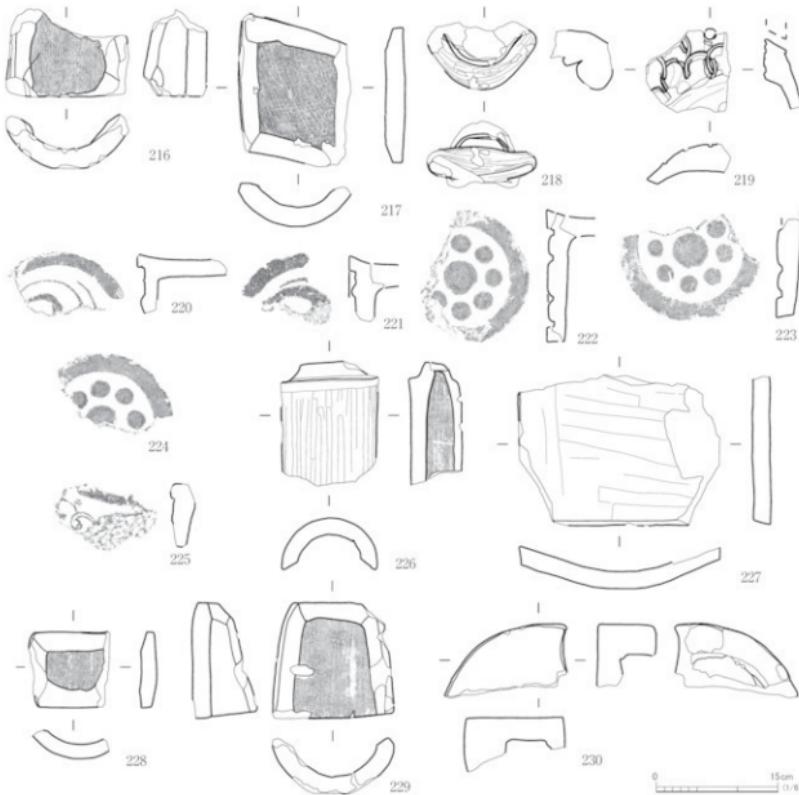


図 番号	遺物 番号	種類	文様	区	石垣	造形・層位	計測値 (mm)	重量 (g)	参考	写真 図版
216	1102	輪造瓦	輪造	G面	角1-2段裏込	前幅(146) 後幅(42) 長さ(107) 高さ(66) 厚み25	540			
217	1119	輪造瓦	三巴文(斜 面)	G面	角1-2段裏込	幅(134) 長さ(188) 高さ(53) 厚み23 斜め幅(137)	870		7	
218	1092	陶瓦	鬼瓦	G面	角8-9段裏込	幅(134) 長さ(73) 厚み44	290	昭和から暮部分	7	
219	0368	陶瓦	蛇瓦	GH 面	角3-4段裏込	横幅(104) 長さ(86) 厚み(最大)35	880		7	
220	1409	軒丸瓦	三巴文	H面	角7-8段裏込	長さ(110) 周縁幅(17) 周縁深さ9	450		7	
221	0877	軒丸瓦	三巴文	H面	GH角3-4段裏込	瓦当幅(120) 内区幅(62) 周縁幅18 周縁深さ8	260			
222	1195	軒丸瓦	九字文	H面	屋根瓦	瓦当幅(163) 内区幅(18) 周縁幅(20~22) 周縁深さ8 瓦当厚み(22)	510		7	
223	1183	軒丸瓦	九字文	H面	GH角3-4段裏込	瓦当幅(170) 内区幅(20) 周縁幅24 周縁深さ6 瓦当厚み22	620			
224	0871	軒丸瓦	九字文	H面	角3段石材間	長さ(51) 瓦当幅(96) 内区幅(70) 周縁幅20 周縁深さ7	400			
225	1410	滴水瓦	花妻文(削 妻)	H面	角7-8段裏込	瓦当幅(125) 長さ(37) 瓦当高さ(78) 瓦当厚み(11) 内区幅(125)	230		7	
226	1391	丸瓦		H面	角7-8段裏落土	角幅(120) 長さ(158) 高さ63 幅さ19 玉頭先幅(68) 玉頭長320	750			
227	1186	平瓦		H面	角6段崩落部	前幅(167) 長さ(184) 高さ50 厚み21	1340			
228	1394	輪造瓦	面凹瓦 裏込	H面	角7段目前崩部	幅(99) 長さ95 高さ35 厚み17	230			
229	1388	輪造瓦	輪造	H面	前面崩落土	前幅(186) 後幅(86) 長さ141 高さ68 厚み(19)	700		7	
230	0869	陶瓦	鬼瓦	H面	角3-4段裏込	幅(150) 長さ(77) 最大厚み73 最小厚み27	640		7	

第1179図 出土遺物(18)

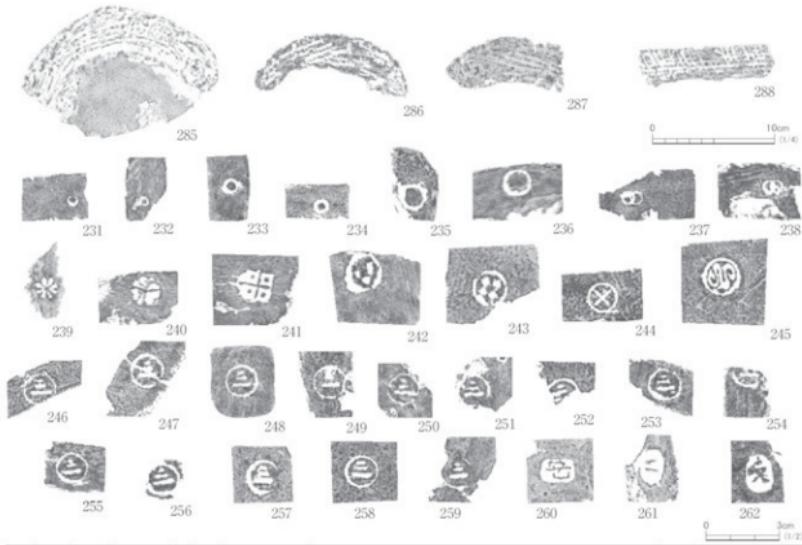


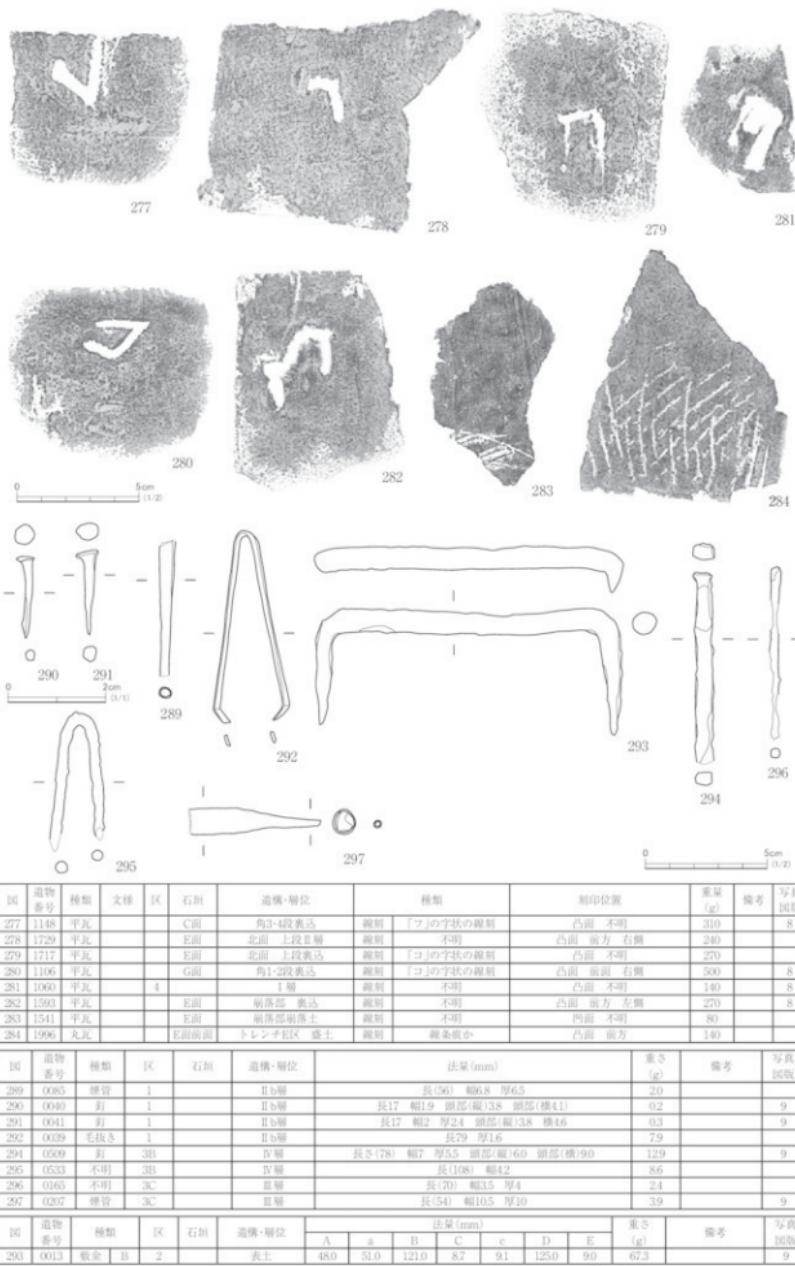
図 遺物 番号	種類	文様	区	石垣	造機・層位	計測値 (mm)	重量 (g)	備考	写真 160X
285 0690	軒丸瓦	丸彫文	C面	1-4段裏込	長さ(33) 真当幅(135) 内区幅(117) 周縁厚22 周縁深24	380			
286 1101	楕円瓦	丸し込み	G面	角1-2段裏込	長さ(32) 幅み(22)	310			
287 1270	楕円瓦	丸し込み	G面	角9段裏込	長さ(35) 幅み(21)	240			
288 1152	軒平瓦	捺文(青荷 色)	E面	崩落部 EF角1	真当幅(111) 長さ(74) 瓦当高さ(23) 内区幅(106) 内区高さ(10) 2段裏込	200			
図 遺物 番号	種類	文様	区	石垣	造機・層位	種類	刺印位置	重量 (g)	備考
231 1894	平瓦		E面	北面 北側上段裏込	刺印 杓(小)	前面 中央	380		
232 0883	丸瓦		GK面	角2段	刺印 丸(小) 二つ割か	凸面 後方(玉縁との境) 不明	200	8	
233 0999	丸瓦		G面	角2段裏込	刺印 丸	凸面 後方(玉縁との境) 右側	300		
234 0959	平瓦		3B1	1層	刺印 丸	前面 石側	160	8	
235 1153	平瓦		EF面	角1-2段裏込	刺印 丸	前面 左側	110	8	
236 0838	丸瓦		E面	崩落部 Ⅲ層	刺印 丸	凸面 後方(玉縁との境) 右側	380	8	
237 0643	平瓦		3B1	1層	刺印 二つ違い輪	前面 左側	200		
238 1373	平瓦		E面	崩落部 Ⅲ層	刺印 二つ違い輪	前面 左側か	580	8	
239 0984	丸瓦		E面	崩落部 E-F角1-2段裏込	刺印 菊花文(六弁)	凸面 後方(玉縁との境) 左側	980	8	
240 1140	平瓦		F面	角1-2段裏込	刺印 花文か	前面か 不明	160	8	
241 0886	丸瓦		F面	EF角1-2段裏込	刺印 四つ葉文に丸か	凸面 中央(鉤穴開)	140	8	
242 1011	丸瓦		E面	崩落部 Ⅲ層	刺印 丸に二つ割か	凸面 後方(玉縁) 中央	420	8	
243 1007	丸瓦		E面	崩落部 Ⅲ層	刺印 丸に四つ花文	凸面 後方 中央	660	8	
244 0684	平瓦		4	IIb層	刺印 丸に「十」か	前面 石側	360	8	
245 1805	丸瓦				刺印 不明	凸面 後方 中央	340	8	
246 1063	平瓦		4	1層	刺印 丸に「三」	前面 左側	210		
247 0679	平瓦		4	Eb層	刺印 丸に「三」	前面か 不明	160		
248 0709	丸瓦		4	直層	刺印 丸に「三」	凸面 後方 中央	600	8	
249 0766	平瓦		4	直層	刺印 丸に「三」または「二」	前面 左側	290		
250 0767	平瓦		4	直層	刺印 丸に「三」	前面 左側	700		
251 1601	平瓦		E面	北面 上段直層	刺印 丸に「三」	前面 左側	230		
252 1884	丸瓦		E面	北面 北側上段直層	刺印 丸に「三」か	凸面 後方 中央	240		
253 1013	平瓦		E面	崩落部 Ⅲ層	刺印 丸に「三」	前面 不明	100	8	
254 1225	平瓦		E面	崩落部 Ⅲ層	刺印 丸に「三」か	前面 石側	160		
255 1149	平瓦		F面	角2段裏込	刺印 丸に「三」	前面 左側	280		
256 0606	平瓦		G	角1-2段裏込	刺印 丸に「三」	前面か 不明	120		
257 1273	丸瓦		G面	角7段裏込	刺印 丸に「三」	凸面 後方 中央	280	8	
258 1191	丸瓦		H面	背後 直層	刺印 丸に「三」	凸面 後方 中央	520	8	
259 1155	平瓦		EF面	角1-2段裏込	刺印 丸に「三」	前面 左側	900		
260 0676	軒平瓦 不明	4	Eb層	刺印 丸に「十」か	前面(瓦当部) 前面 石側	200	8		
261 0686	丸瓦		4	Eb層	刺印 様円に「八」または「二」	凸面 後方(玉縁との境) 右側	40	8	
262 2011	丸瓦		C面	CD角10段裏込	刺印 「一」	凸面 後方 中央	730	8	

第1180図 出土遺物(19)



図 番号	遺物 番号	種類	文様	区	石垣	造様・層位	種類	刻印位置	重量 (g)	参考	写真 図版
263	1503	研瓦		E面	崩落部 崩壊	継割	「大」、「三」	下面	1450	8	
264	1690	平瓦		E面	崩落部 角9段裏込	継割	「右ノ斜」か	凸面 不明	400	8	
265	1678	平瓦		E面	崩落部 崩壊	継割	「一」か	凸面 後方 不明	50		
266	1639	平瓦		C面	崩落部 崩壊	継割	「一」か	凸面 不明	70	8	
267	1586	平瓦		E面	崩落部 崩壊	継割	「一」か	凸面 後方 右側	220		
268	1598	平瓦		E面	崩落部 崩壊	継割	「一」か	側面 前方 右側	410		
269	0975	石明	1		表土	継割	二条の横線	凸面 不明	60		
270	0299	平瓦	4		上層	継割	「十」か	凸面 不明	210	8	
271	1064	平瓦	4		上層	継割	十字または人」か	凸面 不明	310		
272	0695	種込瓦 縦手瓦	4		下層	継割	十字	凸面 不明	160		
273	1005	平瓦		E面	崩落部 崩壊	継割	十字	凸面 不明	200	8	
274	1142	平瓦		FGH面	裏込	継割	十字	凸面 中央か	690		
275	0985	平瓦		E面	崩落部 E-F角1-2段裏側	継割	十字か	凸面 前方 中央	670		
276	1122	平瓦		G面	角2段裏込	継割	「！」か	凸面 不明	160	8	

第1181図 出土遺物(20)



第1182図 出土遺物(21)

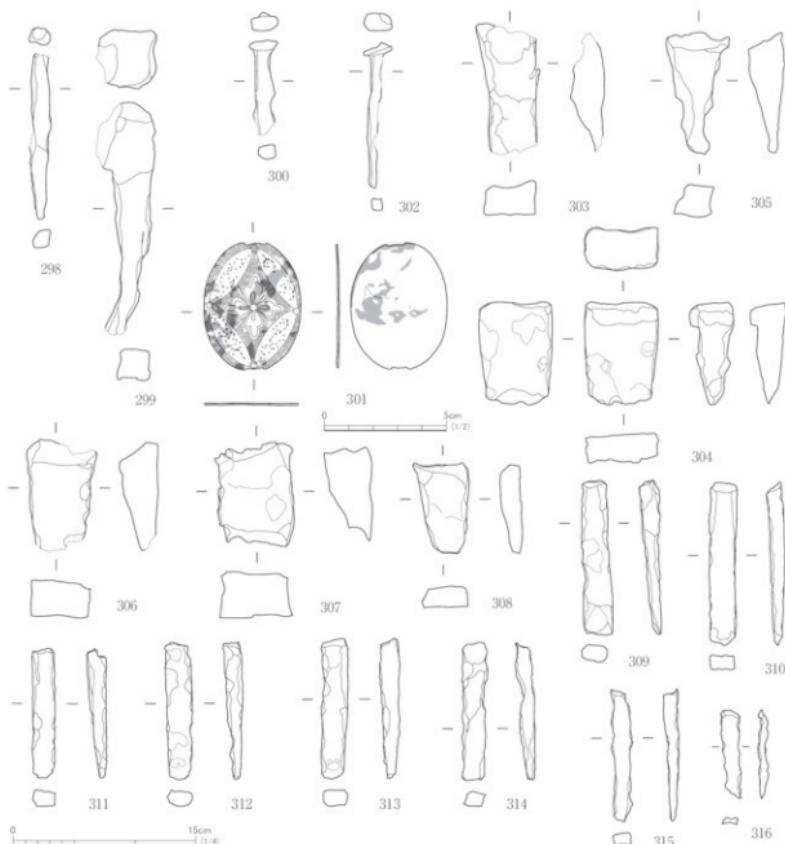


図 番号	遺物 番号	種類	区	石垣	道構・部位	法量(mm)					重さ (g)	備考	写真 図版
						A	B	C	D	E			
298	0516	刃	Ⅳ		直削	長67	幅7.3	厚6.0			75		
299	0503	刃か	Ⅳ		直削	高さ(95)	幅14.7	厚13.9			746		
300	0518	刃	Ⅳ		直削	長(38)	幅5.4	頭部(縦)15.5	頭部(横)11.5		37		
301	1762	施金具	E面前面	表土		長51	幅39	厚1.2			159	無キ子	9
302	1560	刃		D面	角7段突出	長60	幅(47)	厚32	頭部(縦)7.2	頭部(横)11.9	38		9

図 番号	遺物 番号	種類	区	石垣	道構・部位	法量(mm)					重さ (g)	備考	写真 図版
						A	B	C	D	E			
303	0463	施金	A	B面	B-024の上	(107.0)	(490)	-	-	(380)	4765	未接合	9
304	0458	施金	A	BC面	BC-041(上北)	84.0	56.5	28.0	16	51.0	5947		9
305	0464	施金	A	BC面	BC-041上(南)	99.5	51.0	28.0	6.0	16.0	3182		9
306	1544	施金	A	C面	BC-006の上	(92.0)	(560)	31.0	(12.0)	(40.0)	5734		9
307	1545	施金	A	C面	C-440の上(東)	85.0	63.5	34.0	15	49.0	7900		9
308	1546	施金	A	C面	C-440の上(西)	74.0	45.0	7.5	6.5	16.0	2116		9
309	1552	施金	D?	C面	C-802上(崩落部)	126.5	22.5	15.5	-	-	160.7		
310	1563	施金	D?	C面	C-806の上	133.5	22.0	13.0	-	-	185.3		
311	1346	施金	D?	C面	C-801とCD-005の間	106.5	18.0	15.5	-	-	130.8		
312	1551	施金	D?	C面	CD-006-C-802間	112.0	21.0	14.0	-	-	129.6		
313	1345	施金	D?	D面	CD-005の上	115.0	21.5	15.0	-	-	171.4		
314	1564	施金	D?	D面	CD-007の上	112.5	20.0	13.5	-	-	109.0		
315	1565	施金	C	D面	CD-007の上	108.0	16.0	11.0	-	-	73.6		
316	1555	施金	C	D面	D-238上(南無)	72.5	15.0	7.0	-	-	20.1		9

第1183図 出土遺物(22)

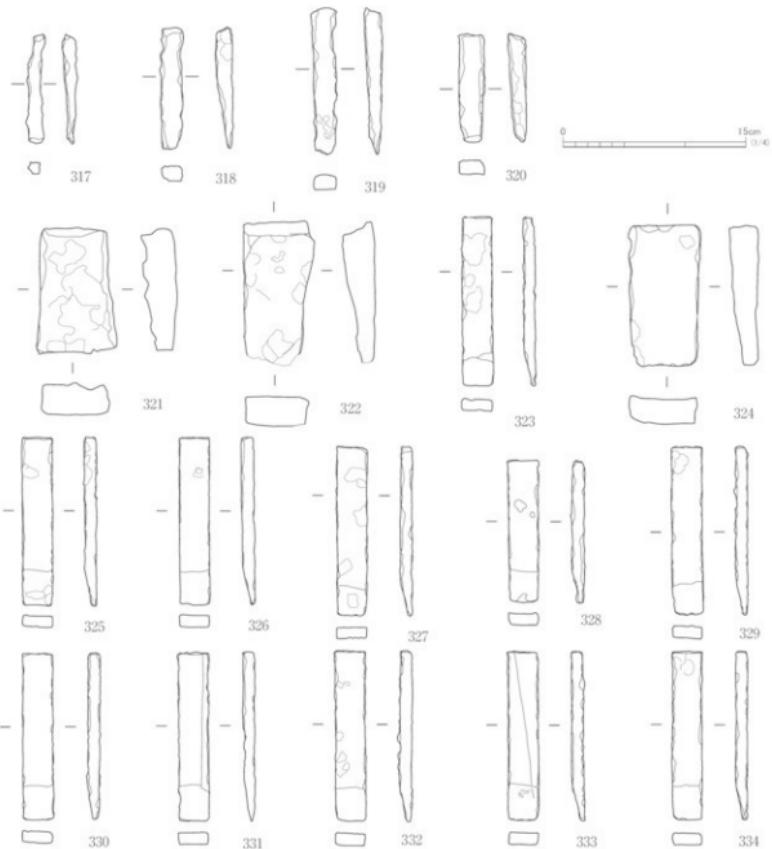


図 番号	遺物 番号	種類	区	石碑	道標・層位	法量(mm)					重さ (g)	参考	写真 版
						A	B	C	D	E			
317	1596	金	C	D面	D-238上(北側)	89.0	130	110	-	-	39.0	9	
318	1553	金	D?	D面	D-240上	99.0	180	135	-	-	94.3		
319	1561	金	D?	D面	D-286の上	120.0	200	140	-	-	141.4	9	
320	1561	金	D?	D面	D-287上	89.0	210	130	-	-	123.3	9	
321	0459	金	A	F面	F-0457左(裏右中)	103.0	510	255	125	65.0	822.2	9	
322	0465	金	A	F面	F-0457右(裏右中)	118.0	575	250	(75)	(420)	661.3	9	
323	0375	金	D	G面	G-3199の上	138.0	250	95	-	-	181.5	9	
324	0356	金	A	G面	G-3109の上	116.0	520	120	90	47.5	838.0	9	
325	0452	金	D	G面	G-688の上	138.0	250	95	-	-	204.3	10	
326	0400	金	D	G面	G-120の上	137.0	245	95	-	-	211.0		
327	0405	金	D	G面	G-248の上	138.0	250	90	-	-	189.2		
328	0441	金	D	G面	G-150の上	116.0	250	95	-	-	165.4	10	
329	0399	金	D	G面	G-169の上	138.0	250	100	-	-	201.1		
330	0409	金	D	G面	G-171の上	136.0	250	95	-	-	199.1	10	
331	0424	金	D	G面	G-188の上	138.0	250	95	-	-	206.1	10	
332	0442	金	D	G面	G-188の上	139.5	250	95	-	-	214.1		
333	0422	金	D	G面	G-206の上	138.0	250	95	-	-	211.2		
334	0460	金	D	G面	G-224の上	137.5	245	95	-	-	200.9		

第1184図 出土遺物(23)

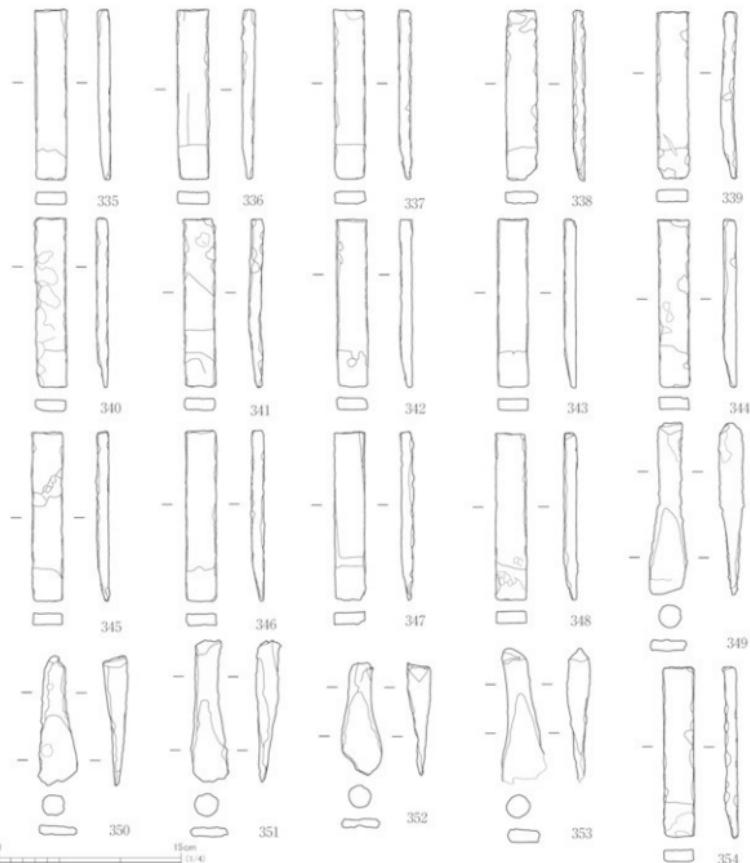


図 遺物 番号	遺物 種類	区	石垣	造形・部位	計量(mm)					重さ (g)	備考	写真 図版
					A	B	C	D	E			
335 0410	敍金	D	G面	G-232の上.	1390	250	9.5	-	-	2207		
336 0417	敍金	D	G面	G-232の上.	1380	260	10.0	-	-	2145		10
337 0418	敍金	D	G面	G-232の上.	1380	250	9.5	-	-	2078		
338 0481	敍金	D	G面	G-246の上.	1385	255	9.5	-	-	1867		10
339 0482	敍金	D	G面	G-247の上.	1365	250	9.5	-	-	2130		
340 0475	敍金	D	G面	G-289の上から	1380	245	9.5	-	-	1892		
341 0476	敍金	D	G面	G-289の上から	137.5	250	9.5	-	-	1949		
342 0548	敍金	D	G面	G-301の上.	137.0	250	10.0	-	-	2106		
343 0549	敍金	D	G面	G-301の上.	137.5	240	9.5	-	-	2116		10
344 0545	敍金	D	G面	G-302の上.	137.5	245	9.5	-	-	2098		
345 0546	敍金	D	G面	G-302の上.	138.5	250	9.5	-	-	2132		
346 0597	敍金	D	G面	G-358の上.	139.5	250	9.5	-	-	2108		
347 0598	敍金	D	G面	G-359の上.	138.0	250	9.5	-	-	2049		10
348 0426	敍金	D	G面	G-359の上.	136.5	250	9.5	-	-	2118		
349 0428	敍金	E	G面	G-269の上.	140.0	180	180	30	30.0	209.2		10
350 0429	敍金	E	G面	G-263の上.	105.5	180	190	20	30.0	155.8		
351 0427	敍金	E	G面	G-674の上.	115.5	190	180	10	30.0	180.1		10
352 0437	敍金	E	G面	G-082の上.	91.5	180	180	20	32.5	133.5		10
353 0547	敍金	E	G面	G-301の上.	(110.0)	190	185	-	(35.0)	162.4		
354 0579	敍金	D	G面	GH-007とG-269の間	139.0	250	9.0	-	-	204.9		

第1185図 出土遺物(24)

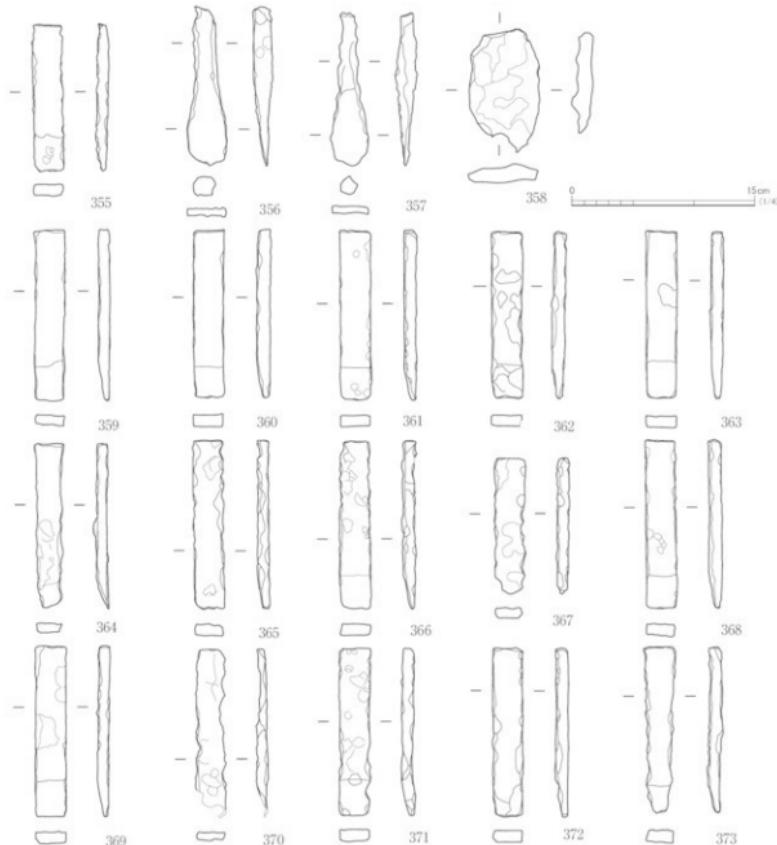
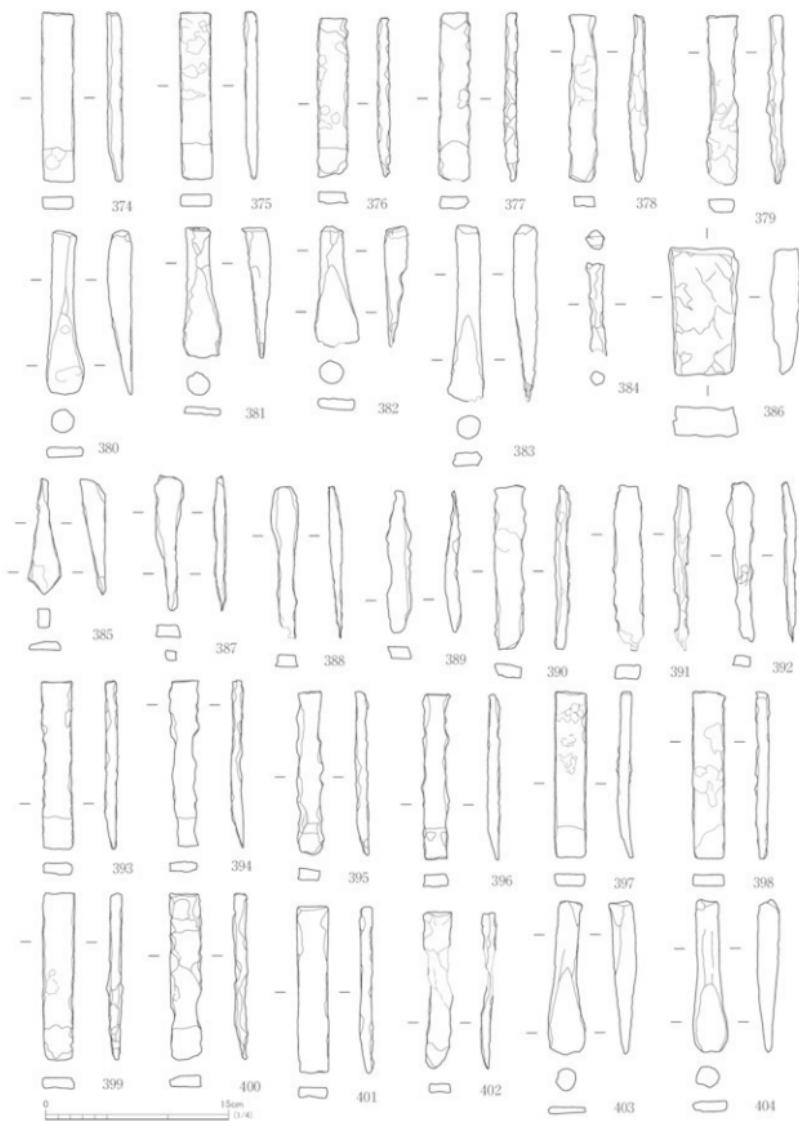


図 番号	遺物 番号	種類	区	石標	遺構・層位	法量(mm)					重さ (g)	参考 図版
						A	B	C	D	E		
355	0395	鍍金	D	GH	GH-004の側面	120.5	24.5	9.5	-	-	150.3	10
356	0380	鍍金	E	GH面	GH-008の上	130.0	180.5	15.5	14.0	32.0	174.2	10
357	0490	鍍金	E	H面	GH-006+H-008の間	125.0	140.5	19.5	15	31.0	120.8	
358	0553	鍍金	A?	H面	H-019の上	101.0	35.0	11.5	25	40.5	295.0	10
359	0394	鍍金	D	H面	H-003の裏面中	140.0	24.0	9.0	-	-	180.9	10
360	0388	鍍金	D	H面	GH-005+H-003の間	137.0	25.0	11.0	-	-	209.8	
361	0406	鍍金	D	H面	GH-005+H-003の間	139.0	25.0	9.5	-	-	208.6	
362	0489	鍍金	D	H面	H-014の上	136.0	25.0	10.5	-	-	186.9	
363	0484	鍍金	D	H面	H-016の上から	136.0	25.0	10.0	-	-	202.9	10
364	0473	鍍金	D	H面	H-016-017の間から	134.0	21.0	8.5	-	-	129.1	
365	0385	鍍金	D	H面	H-033の上	138.0	24.0	9.5	-	-	162.4	10
366	0386	鍍金	D	H面	H-033の上	137.5	25.0	9.5	-	-	173.0	
367	0300	鍍金	D	H面	H-054-055の間	111.0	26.0	8.5	-	-	127.0	10
368	0408	鍍金	D	H面	H-055の上	138.0	25.0	9.5	-	-	199.6	
369	0393	鍍金	D	H面	H-056の上	139.5	24.5	9.5	-	-	202.7	10
370	0387	鍍金	D	H面	H-056の上	1138.0	24.0	7.0	-	-	92.9	
371	0381	鍍金	D	H面	H-061の上から	137.0	25.0	10.0	-	-	188.7	
372	0478	鍍金	D	H面	H-060の上	138.0	24.0	9.5	-	-	193.6	
373	0586	鍍金	D	H面	H-071の上	135.5	25.0	10.5	-	-	149.2	10

第1186図 出土遺物(25)



第1187図 出土遺物(26)

図 番号	遺物 種類	区	石期	遺構・層位	法量(mm)					重さ (g)	備考	写真 図版
					A	B	C	D	E			
374	0593	戦金	D	H面	H.073の上	158.5	220	9.5	-	2156		10
375	0594	戦金	D	H面	H.073の上	136.5	250	10.0	-	2054		
376	0585	戦金	D	H面	H.074とH.073の間	(130.0)	240	9.5	-	1635		
377	0562	戦金	D	H面	H.074の上	137.0	250	9.5	-	1781		
378	1216	戦金	D	H面	H.080の下から(楕石)	156.0	220	9.0	-	1538	破片あり	10
379	1218	戦金	D	H面	H.080の上	158.0	230	10.5	-	1581		11
380	1301	戦金	E	H面	H.024-025の間	134.0	180	19.0	20	31.0	227.5	11
381	0391	戦金	E	H面	H.054-055の間	106.0	180	18.0	25	30.0	1628	11
382	0467	戦金	E	H面	H.067の上	98.0	190	18.0	15	35.0	1463	
383	0587	戦金	E	H面	H.072の上	144.0	180	18.0	25	27.0	2429	
384	0549	戦金	C	H面	角58石材の間	(76.0)	104	10.3	-	38.6		
385	0486	戦金	F	H面	H.006の上	94.0	105	18.5	10	36.5	84.1	11
386	1344	戦金	A	H面	H.009の上から	105.0	495	19.0	55	96.0	695.0	11
387	1206	戦金	D	H面	H.100の上	110.0	230	9.5	10	90	720	11
388	0599	戦金	D	H面	H.008の上から	(124.0)	220	9.5	-	75.5		
389	0600	戦金	D	H面	H.008の上から	116.0	195	9.5	-	66.8		11
390	0597	戦金	D	H面	H.008の上から	134.0	250	10.0	-	135.7		11
391	0598	戦金	D	H面	H.008の上から	(135.0)	230	11.0	-	111.3		
392	0456	戦金	D?	I面	I.029の上	130.5	165	7.5	-	76.1		11
393	0460	戦金	D	I面	I.018の上	137.5	250	9.5	-	173.2		11
394	0451	戦金	D	I面	I.027の上	136.0	240	8.5	-	108.1		11
395	0470	戦金	D	I面	I.039の上	133.5	215	9.5	-	116.7		
396	0471	戦金	D	I面	I.039の上	135.0	200	9.5	-	126.4		11
397	1211	戦金	D	H面前面		135.0	250	10.0	-	206.7		
398	1210	戦金	D	H面前面	崩落土	136.0	260	10.0	-	206.1		
399	0580	戦金	D	H面前面	崩落土	136.0	260	10.0	-	189.3		
400	1212	戦金	D	H面前面	崩落土	137.0	250	9.5	-	165.0		
401	1213	戦金	D	H面前面	崩落土	136.0	260	9.5	-	199.3		
402	1214	戦金	D	H面前面	崩落土	127.0	235	11.0	-	82.4		
403	0577	戦金	E	H面前面	崩落土	126.0	180	18.0	25	30.0	196.6	
404	0583	戦金	E	H面前面	崩落土	(125.0)	185	17.0	10	27.5	198.8	

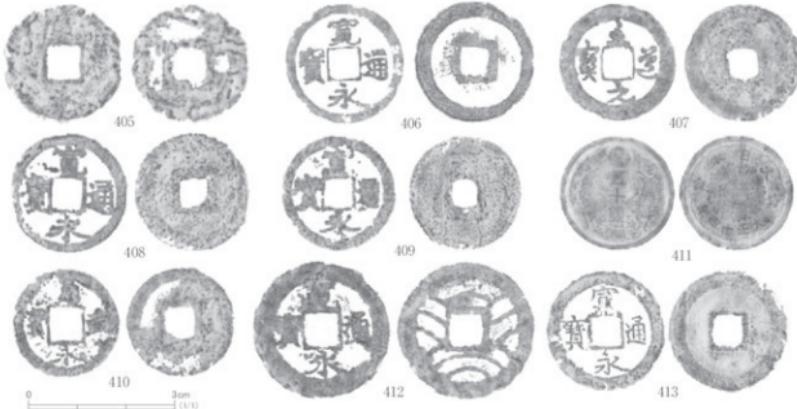


図 番号	遺物 種類	区	石期	遺構・層位	法量(mm)	重さ (g)	備考	写真 図版
405	0167	不明	3B	Ⅲ層	直徑23.8 幸6.4 厚2.3	30	不明	
406	0250	寛永通宝	3B	Ⅳ層	直徑24.5 幸6.5 厚1.4	30	古寛永	11
407	0251	至道元宝	3B	Ⅳ層	直徑23.8 幸6.0 厚1.1	28	(草) 北宋至道元年(995)	
408	0256	寛永通宝	3B	Ⅴ層	直徑24.1 幸5.8 厚1.3	27	古寛永	
409	0257	寛永通宝	3B	Ⅳ層	直徑23.3 幸6.5 厚1.5	33	古寛永	
410	0152	寛永通宝	3C	ⅡⅤ層	直徑22.2 幸6.2 厚1.1	21	不明	
411	0034	五十銭銀貨	3C	表土	直徑23.4 厚1.4	48	小形 大和14年(1925)	
412	0209	寛永通宝	5	Ⅲ層	直徑28.0 幸6.7 厚1.0	40	四文銘 明和6年(1769)	11
413	0338	寛永通宝	G面	G.790の後ろから	直徑24.2 幸6.0 厚1.2	25	新寛永	11

第1188図 出土遺物(27)